令和4年度第2回 寮務委員会

日時:11月10日(木)15:00~15:30

場所: Teams による Web 会議

議題

1. 国際寮の運用について(資料1)

2. その他

香川高専高松キャンパス 国際寮 運営方針案 〈教職員用資料〉

入居資格

対象:留学生,短期留学生,日本人学生(1次募集は寮生に限定)

※日本人学生:4,5年生

TOEIC 受験/結果の記載(参考資料として)

積極的な交流意思のある学生 (コミュニケーション能力・文化交流意識)

通学時間、距離・経済状況は考慮しない

学生指導の有無 (寮務, 学生, 教務主事注意以上)

運営

風呂:原則シャワー(大浴場は制限付き(利用時間の制限等)で使用可)

食事:原則寮食堂で喫食(食事制限留学生(ハラール等)は自炊可)

当直・寮母:なし

点呼:なし(国際棟入口およびユニット入口のカードシステムで管理)

書式:別紙

その他:①ユニットリーダー、②副リーダー、③チューターの配置(ユニット毎)

集会・報告会の実施

ユニット集会 (ユニット毎)

ユニットリーダー報告会(各ユニットリーダー)の実施

掃除・ごみ捨て当番等は各ユニットで管理・運営

国際寮の運用開始までの〈今年度限定〉のプロセス

運営方針素案検討:10/4 寮務小委員会

学科等からの意見集約:10/14まで(10日確保)

運営方針案確定:10/24 寮務小委員会

国際交流室、詫間キャンパス等からの意見集約:11/4まで(2週間確保)

寮務委員会:11/10頃(詫間寮務係への事前予告済み)

運営方針確定:11/15 寮務小委員会

企画運営会議報告:11/24

高松キャンパス教員会議報告:11/30

国際寮周知文:11月下旬~12月上旬(既存棟の留学生には国際寮への入居を依頼)

※これまでは、学生への情報漏洩のないように各所に念押しのこと

国際寮募集(1次募集):12月上旬 募集対象は現在3,4年の男子寮生

国際寮選考・通知(1次):12月下旬(参考 12/6,1/10,1/31,2/21,3/6寮務小委員会)

国際寮募集(2次募集):1月下旬募集対象は現在3,4年の男子学生(通学生含む)

※来年以降に南寮改修工事の可能性もあり、2次募集は必須ではない

国際寮選考・通知(2次):2月上~中旬

国際寮の概要および寮生募集について

香川高等専門学校 高松キャンパス

1. 国際寮

国際寮は、日本人学生と外国人留学生が日常的な交流(英会話)を通じて国際感覚を学び、異文化理解を深めると同時に国際的共通語である英語に慣れ親しむことを目的とする混住型の学寮施設です。各ユニットに備わった交流スペースでの対面コミュニケーションをシェアハウス生活の中心に置くことにより、多様性を尊重しつつ、社会活動におけるレジリエンスを育みます。

2. 寮棟

国際寮1,2,3階(新築):東側と西側あり

3. ユニットの構成

ユニット: 交流スペース周囲に7つの個室(居室)を配し、ユニット毎に出入りカード認証. 総ユニット数: 10(1 階に2 ユニット、 $2\cdot 3$ 階に4 ユニットずつ)

設 備:交流スペース,各個室,トイレ,洗面所,シャワー室,キッチン,ランドリー

4. 居室

すべて個室.

机、椅子、ベッド、本棚設置、

5. 収容人数

男子のみ70名(ただし、西棟1階の1ユニット7名分は短期滞在者向け国際交流用に確保するため、国際寮の実際の収容人数上限は63名)。女子留学生が入学し、かつ、既存女子寮(西寮)居室数が不足した場合は国際寮の運用を見直す予定。

6. 入寮期間

原則1年間とする(年度更新の有無については、留学生人数・国際棟の空室状況・既存棟の改修工事他の状況を総合的に考慮して判断).

7. 寮費等

既存寮(北寮、南寮、西寮)と同様(寮生活のしおり37頁参照)。

8. 寮生活の規則と日課

- (1) 寮生活における規則や日課は、国際寮では点呼がないことや大浴場を利用できないことを除き既存寮と概ね同じ
- (2) 点呼:なし (ユニット入口のカードシステムで管理 [南寮宿直室への報告なし])
- (3)長期休業中は既存寮と同様に各自の荷物はすべて搬出する(留学生は含まない).
- (4) ユニット集会の実施・参加(毎月実施:原則欠席不可) 集会内容:定期交流,運営上の問題点の相談等,報告書作成(議事録)

- 9. 入寮条件
 - (1) これまでに主事注意 (寮務, 学生, 教務) 以上の指導がないこと.
 - (2) 留学生が最優先, 日本人学生 (4, 5年生), 短期滞在者.
 - (3) TOEIC を受験済みであること (日本人学生のみ).
 - (4) 留学生・日本人学生を含め積極的に幅広くコミュニケーションを図る意思があること.
- 10. 日本人寮生募集における注意点
- (1) 混住型国際寮の入寮条件を満たすもので、動機が明確で主体的および積極的にコミュニケーションを図り国際交流に係ろうとする姿勢を持つものを選考する.
- (2) 経済的事情や通学時間・交通機関による事情は考慮しない.
- (3) ユニットリーダー、留学生チューターの希望者を優先的に選考する. Application form for International Mixed Residence Dormitory (入寮願) に希望を記載すること.
- (4) 各役割の主な業務内容
 - 1) ユニットリーダー
 - ・ユニットリーダーの代表者を国際寮長とする.
 - ・ユニットリーダー会議 (毎週) への参加
 - ・下級生への助言と援助、自フロアの美化、防災等の指導・注意
 - ・国際寮共用部の美化・風紀に関する監督(寮生活のしおり14頁参照)
 - ・学習時間中の巡回
 - ・(点呼)、ごみ捨て、清掃等の既存棟と同様の日常的な運営業務を行う。
 - ・閉寮作業の補佐
 - 2) ユニット副リーダー
 - ・ユニットリーダーの補助 (ユニットリーダー不在の場合等)
 - ・ユニットの環境を整える.
 - ・閉寮作業の補佐
 - 3) 留学生チューター
 - ・留学生への学校生活・寮生活および学業面に関する支援
- (5) 入寮後は国際寮の運営に積極的に協力する.
- (6) 食事は原則寮食堂で喫食 (ハラール等の食事制限のある場合を除いて自炊不可)
- 11. その他

上記各項目において、今後の状況に応じた検討により変更となる場合があります。

入寮願(混住型国際寮) この日本語面は申請様式ではない

令和 年 月 日学年・学科氏名

1. TOEIC Score (これまで受験したもので最高点のスコアを記入)

受験日時			Score			
年	月	日	合計	点(リスニング	点/リーディング	点)

□ スコアシートの写しを添付のこと

ユニットリーダー

希望する役割

2. 混在型国際寮への入寮を希望する理由と国際交流経験
(経済的事情や通学時間・交通機関による事情は記載しない)
3. 混在型国際寮であなたが貢献できること、またどのような寮生活を送りたいか.
4. 希望する役割(いずれか一つの番号横に②つける)

留学生チューター

(留学生を含む)

特になし

	Applic	ation form for Int	ernational Mixed Residen	ce Dormit	cory
			Date (dd/mm/		
			Department	:/Grade: _	/
		Name	e (First/Family):		/
. Persona	al Highest	ΓΟΕΙС Score			
	Test date	(dd/mm/yyyy)	Score Total: * * *	(L: * * *	/R: ***)
	/	/	Total:	(L:	/R:)
☐ Chec	k with attac	chment: Requirin	g attachment (copy of Off	ficial Score	Certificate)
Reason	for applica	tion with interna	tional experience		
			ng time and distance from	m vour he	ome, and econor
cumstanc		01 & 00	-6 cime and discurred from	ii your ii	onic, and coons
. Please	describe ho	ow you can contri	bute to the International	dormitory	and how you ma
e dorm life	e satisfying				
. Desired	d job positio	on (Check one of	the jobs below.)		
					3
esired jol	b title	A Unit Leader	A Tutor for	A Ge	eneral Resident
			International Student	inclu	ding International
				Stude	nt)

学科等名:

氏 名:_____

海外渡航届(教職員)

令和 年 月 日

総務課長 殿

入国予定日

出国予定日

下記のとおり海外渡航しますので、届け出ます。					
渡 航 先 国名等					
都市名等					
※経由国がある場合は、記入すること					
経 由 国 国名等					
都市名等					
		学会参加			
		大学•企業等訪問			
		研究(打合せ・資料集等含む)			
用務等内容		学生引率			
(該当する用務に チェックする)		ISATE			
		在外研究員			
		私事渡航			

※私事渡航以外は、全て「安全保障輸出管理に係る事前確認シート」も同時に提出すること。

□ その他(

年

年

月

月

日

日

(西暦)

(西暦)

総務課長	総務課 課長補佐	総務係長 庶務係長	総務係 庶務係

担当係	. 処 理	型欄				
危険情報レベル						
感染症危険情報レベル						
海外渡航情報調査表作成日 (西暦)						
年	月	日				





H31年度ニュージランド Ara海外英語演習

詫間キャンパス英語科



日程

- 8月17日(土) 高松空港午前発 羽田空港着 成田空港午後発 18日(日) クライストチャーチ 午後着 19日(月)~9月13日(金) 語学学校で研修ホームステイ 9月14日(土) クライストチャーチ 早朝発 *運賃等によっては変更の可能性あり
- 研修先: Ara Institute of Canterbury (ニュージーランド クライストチャーチ市)

Araとは

- 正式名称: Ara Institute of Canterbury で、 日本語名はクライストチャーチ・ポリテクニック工科 大学と言います。
- 本校と包括的学術交流協定を結んでいる創立 1906年、学生数25000人の国立教育機関です。
- 主に実践的職業訓練に力を入れている大学で、 キャンパスはクライストチャーチ中心部にあります。
- 学士課程3年、準修士課程1年およびディプロマやサーティフィケートを与えるコースを有しています。

Ara付属語学学校とは

- Araが運営している語学研修センターです。
- ・能力や目的に応じたコースが開設され、1クラスの定員は18名です。
- 本校の学生はIntensive English Courseに配属 され、レベルに応じてBeginerからpreintermediate のクラスに編入されます。
- ・授業は1週間あたり22時間で、曜日によって異なりますが、午前中3時間午後2時間の授業です。

ホームステイについて

- 本校の学生はAraが斡旋するホームステイプログラムを利用します。
- すべてのホストファミリーは大学近郊の家庭から 厳選され、大学により指導を受けています。
- 学生には個室が与えられ、1日2食付きです。各家庭から学校までは公共のバスを利用します。

クライストチャーチについて

- クライストチャーチ (Christchurch) は、ニュージーランド第三の都市であり、南島最大の都市です。庭園の美しい都市として知られており、別名「ガーデン・シティ」。市内には600ヵ所以上の公園があります。
- 治安は良いのですが、日本より安全ということはありませんので、置き引きや夜間の行動には気をつけないと行けません。また市内中心部には震災(2011年2月)の影響で立ち入り禁止の場所(レッドゾーン)もあります。

研修料

• 前納金 52万円程度 [(a)と(b)の合計]

学費: NZ\$1580 + NZ\$250= NZ\$1830

宿泊費: 約NZ\$ 1080(ホームステイ4週間3食付)

+ NZ\$250(手配料)= NZ\$1,330

保険 (Araの強制加入): NZ\$ 63

下線部の合計=NZ\$3223×80円=(a)277840円

(1NZ\$=80円で計算*72.39円)

航空運賃: (b)25万円程度

上記以外に、現地バス代、旅行保険料、小遣い等(5万円), 土産代が必要です。 またパスポートの取得などは各自で行います。

• 学校からの補助金制度あり

*参加人数が少ない場合は実施されない可能性があります。

語学研修安全管理体制

緊急時連絡フロー

- 事件•事故第一報 → 情報入手者
 - → 現場責任者 → 危機管理本部
 - → 派遣者保護者

CPIT語学研修危機管理本部

香川高専国際交流室 担当者

引率者

香川高専 学務課 学生課

Ara International Training Programmes 担当者

医療サービスについて

- 本と同様のサービスを受けることは難しいので、常備薬を携行する必要があります。
- 万が一事故に遭遇した場合、数千万円単位の 高額医療費を請求されるケースがあるため、参 加者には必ず旅行保険への加入を義務づけて います。

本研修のメリット

- 本校と交流協定を結んでいる学校である
- 日本人スタッフや日本語ができる教員が常駐している
- 学校からの補助金がある
- 色々な国の学生と一緒に勉強できる
- 一般家庭にホームステイできる
- 欧米の文化に触れることができる

本研修のデメリット?

- それほど観光地ではない
- 地震の影響が残っている場所もある
- クライストチャーチまでの直行便がない
- 勉強以外にあまり遊べない
- 事後報告書(A4 2枚くらい)と報告会への参加

申込までの流れ

```
5月20日(月)17:00応募締切
     (詫間C:教務係、高松C:学務係に誓約書を提出)
5月22日(火)~24日(金)(人数等を校長に報告)実施の可否を
連絡
     海外英語演習の履修登録
     アプリケーションフォームの記入
     パスポートの取得
   第一回事前指導
6月
    旅行代理店へチケットの申し込み及び旅費と学費の振込
   第二回事前指導
7月
8月
   出発
   帰国 報告書の提出
9月
   下旬報告会(pptの資料を作成)
                    補助金の申請
10月
   上旬補助金支払い
12月
```

質問は

- ・ 高松キャンパス一般教育科
- 詫間キャンパス一般教育科まで連絡ください。

Araに関しては

をご覧ください。

国際交流活動参加承諾書および同意書

次のとおり、香川高等専門学校の国際交流活動に参加することを承諾します。 また、本活動に参加するにあたり下記事項に同意します。

参加学生	学科・専攻 年 氏名:				
活動内容	Ara 語学・国際交流研修への参加				
活動場所	Ara Institute of Canterbury				
活動期間	令和元年8月17日~9月13日				

記

- 1. 参加学生は、国際交流活動参加中公序良俗に反する行為等をしない事を誓い、訪問国の法律、規則および実務訓練に関する注意事項を遵守し、実習等に関係する指導者に従うこと。
- 2. 参加学生は、本校の国際交流事業の方針及び当該交流活動参加の趣旨を十分に理解し、教育上のすべての監督・指導に従うこと。
- 3. 国内外の移動および会議等参加にかかる費用の一部を保護者または参加学生が負担すること。
- 4. 参加学生は、出発前に渡航期間における海外旅行傷害保険に加入すること。
- 5. 渡航中、被保護者が故意または過失による事故、または疾病、死亡、傷害等あるいは所持 品の損失等対して、参加学生が加入する保険の範囲で賄うこととし、本校は、賠償または その他の責任は負わないこと。
- 6. 航空機事故等、不測の事態や不可抗力の事故について、本校は、その責任を負わないこと。
- 7. 参加学生は、自ら進んで国際交流を行い、学校が開催する事前研修への参加と帰国後報告会での報告を行うこと。

171	1.
$ \cdot $	\vdash

令和	年	月	日			
保	護者氏	名(本)	人自署)			
参	加学生	氏名(ス	本人自署)			

出典 平成31年度ニュージランドAra海外英語演習説明会配布資料

平成31年4月16日配布 提出締め切り4月19日(金)

組

以下は、新学期に実施する、個人面談にて使用いたしますので、可能な限り丁寧な記入の程、お願いします。

(1) 4年次を振り返っての感想

4年は3年生の時といべて、専門科目の数が多くなり、すごく、けがしくなった。 実験内容も 単なる地盤ではなく、構造工学にあける 爻まざまな 梁の もん断力 曲けモメル等を 求める CYになったので 実験を誦してもの料目をより良く 理解してたと考える。しかし、 Atlくなったのでに 自分には教多のことに対しいても計画的に行動する能力が身にかたと 思う。ただし、4年次にあいて一つの反貨点があるのは、創成工学の最終報告書を作った時の cyです。 chらの CYをらまなて 5年で 頑張っていきたいです。

(2) 所属部活動、特別・課外活動 (デザコン、どぼじょなど) 部活・活動名: デザコソ、どばじょ 役職: 部員

(3) 運転免許証を所有していますか?

はい() 面談時に持参、バイク通学者は任意保険のコピー(対人無制限が分かる箇所)持参 免許取得届を提出済みですか? はい() かいえ() 直ちに提出すること いいえ (○) 今年度、免許を取得する場合は、<u>自動車学校入校前</u>に、取得願いを提出のこと

(4) 単位修得状況の確認 以下、表中に記入(4年終了時は、成績表を確認の上、記入)

	一般科目修得単位数(A)	専門科目修得単位数(B)	総計単位数 =(A)+(B)	
4年終了時	sg 35 (+54)	58 44 (+ to)	149 147	
5 年必修単位数	0	14	14	
5 年前期選択履修単位数	0 /	13 / 11/2)	V 13 (+2)	
5 年後期選択履修単位数	I	0		
総合計	90 (75)	74 + 13 (82)	150 + 13 1-27 (167)	

他大学機関の科目を受験の方は、科目名、前期・後期区分、単位数を以下記入

- (5) 今年度の目標を3つ記載してください。
- 1. 全科目で 100% の 出席!!
- 2. 前期未(だけば) |位!また、授業だけではなく、卒研も、頂張って がりれても役に立り結果を出す
- 3. 郊率的应即習惯を朝: Alto CY。新UY CYC 排戰し、COMfort zone 你出るCY!
- (6) 質問や提案、困っていることなどありましたら、自由に記載してください。

ISATE 2022 PAPER PARALLEL SESSIONS (WITH ABSTRACTS)



				agree) relating to the dimensions evaluated. The combination of the activities used and the opportunities for questioning provided in the approach, supported by learning analytics, seems to be the major factor in enhancing the student learning experience. In summary, this study supports the use of learning analytics in offering heightened capability to make immediate diagnosis and pedagogic option generation for feedback responses.
3	S2R1-P3	APPLICATION OF VR TECHNOLOGY TO THE TRAINING OF METAL CASTING FOR JEWELLERY INDUSTRY	Vocational Training Council	Metal casting is a common traditional metalwork process widely used in the jewellery industry. The principle of the process is not too complicated but the operation itself requires a learning curve and it also poses several hazards to the artisans. Unlike many large businesses that have used VR, such as those in the engineering and construction industry, VR-based training is seldom applied in the casting manufacturing process in the jewellery industry. In this paper, a group of project students, with the help of domain specialists, attempt to develop a VR-based training tool for the metal casting practitioners. The content includes the introduction of the benefits in using VR-based training, understanding of the metal casting process, surveying the needs of the practitioner, and investigating the use of VR in the metal casting process. To evaluate the effectiveness of VR-based training tool, feedback is collected from local jewellery companies. The development process of the VR system and the use of it during pandemic will also be evaluated.
4	S2R1-P4	DEVELOPMENT OF TEACHING MATERIALS FOR CUBESAT COMMUNICATION SYSTEM USING AMATEUR RADIO	KOSEN National Institute of Technology	Recently, many universities and the like operate CubeSat (micro-satellite), and several research institutes have proposed teaching materials for training human resources for related to the space. However, most of the communication systems of the education materials are virtual systems which use the ZigBee standard, etc., and there are few that can experience actual amateur wireless communication. In view of these situations, it is very useful to develop hands-on teaching materials that can quickly acquire wireless communication technologies. Specifically, this function



				receives commands from the satellite ground station and transmits them to the OBC (On-Board Computer). And, it has two functions, first one dividing the data acquired by the satellite into packets and second one transmits them. These are all performed by amateur radio packet communication. In the past, packet communication on amateur radio used hardware TNCs (Terminal Node Controllers), but currently software TNCs are common. The teaching materials proposed in this research use open source software TNC such as Direwolf. Another advantage of advocating this teaching material is the active acquisition of satellite information. One of the reasons why many CubeSats adopt amateur radio as a communication method is that they expect to get information from amateur radio homes around the world. The time that a satellite can communicate with one satellite ground station is very short, and it is difficult to universities with limited budgets to install satellite ground stations at multiple points. The teaching materials proposed in this study propose a practical method of receiving radio waves from CubeSat with a simple receiver. If the technology related with radio wave reception spreads with the teaching materials, the opportunity to receive amateur hand radio waves of CubeSat will expand and more active.
				band radio waves of CubeSat will expand, and more active universe utilization can be promoted.
5	S2R1-P5	AUTOMATIC MAPPING OF SYNTAX TREES AND EYE MOVEMENT FOR SEMANTIC-BASED PROGRAMME COMPREHENSION PATTERN EXTRACTION	KOSEN National Institute of Technology	Understanding how efficient developers understand source code is an important study to improve the work and/or learning efficiency. Many studies have measured developers' eye movement to source code for understanding efficient reading methods. To understand the efficient reading method, researchers must comprehend the corresponding between eye movement and displayed source code. However, it is time-consuming to extract each understanding method/pattern among different source codes, because of the difference in control flow and formats. In this paper, the authors propose a method that converts the eye movement recorded as display



5	S2R2-P5	UTILIZATION OF THAI- JAPANESE-ENGLISH TERMINOLOGY GLOSSARY FOR THAI STUDENTS IN THE LOWER GRADES OF KOSEN IN JAPAN	KOSEN National Institute of Technology	This is the introduction of our efforts to support international students from Thailand who do not understand Japanese. In 2018, three Thai students enrolled in the first grade of the National institute of Technology (KOSEN) Ibaraki College. This program is the first attempt to accept international students to the first grade of KOSEN. In this program they enter KOSEN together with Japanese students and spending time together, they can eliminate gaps in age and learning, and deepen bonds of friendship between students. However, the problem with this program is their Japanese language skills. Since Thai students of this program enter KOSEN just after graduation from junior high school, their Japanese language skills does not reach the level of understanding the lectures. Therefore, various support systems have been designed to help them understand the lectures, and it is found that Japanese language education specialized in science and mathematics subjects is necessary for them to understand the lectures. One of the most effective supports is to make a technical term glossary of Thai - Japanese - English for international students from Thailand. This glossary is a collection of basic and elementary technical terms to help Thai students understand the lectures of science and mathematics delivered in Japanese. This glossary can also reduce stress and pressure on Thai students if used as a learning material for preparation before studying in Japan. In this paper the author who has supported Thai students for the past four years looks at what has worked and what has not from the perspective of students and teachers.
6	S2R2-P6	A SEMI-VIRTUAL JETBOT RACING COMPETITION IN AI AND ROBOTICS EDUCATION	KOSEN National Institute of Technology	An Al-based robot racing competition has been held in the joint laboratory course at National Institute of Technology, Kagawa College in Japan, and National Cheng Kung University in Taiwan. This laboratory course offers students the opportunity to have hands-on experience in Al and robotics. Due to the worldwide pandemic, all parts of the course must be conducted online. To organize a fair racing competition online, the race time must be measured as accurately as possible, even if the students are at different places. Therefore, several new attempts combining



processed data.				physical and virtual techniques have been made. The racetrack map is printed on paper to have an identical racetrack in both Japan and Taiwan. The students implement an Al-based robot autonomously driving on the physical racetrack for three laps. The students then film a video of it. The video is processed to determine the location of the robot and the race time. Finally, all the processed data are compared to determine the race results. In addition, a virtual racing video is created by integrating all the
-----------------	--	--	--	---



(伺)

事業名 成功大学訪問

- 1.目 的 台湾国立成功大学への訪問及び国際会議参加
- 2. 概要 本校との協定校である台湾国立成功大学を訪問および国際会議参加を通して 学生の交流を図る。また同時期に同校で開催される国際会議を聴講する。
- 3. 派遣先 台湾国立成功大学(台湾台南市)

【香川高専】

校長

AI 社会実装教育研究本部本部員 AI 社会実装教育研究本部本部員 電子システム工学科 3 年 情報工学科 3 年 電子システム工学科 5 年 電子情報通信工学専攻 1 年

- 4. 日 程 12月13日 移動
 - 12月14日 午前移動

午後 成功大学で合同授業

12月15日 国際会議聴講およびキャンパス見学

Workshop on Future Computing 2022

12月16日 国際会議聴講およびキャンパス見学

12月17日 移動、帰国

- 5. 行程表 別添のとおり
- 6. 経 費 ***

費(研究実施経費)

費(国際交流支援基金による助成)

: 高瀬茶(国際交流実施経費)

、、、, 」、、 5 (国際交流実施経費)





Mission

To develop highly qualified engineers that have a rich sense of humanity and creativity.

To contribute to the wealth and advancement of our local community as a driving force of intellectual and technological progress.

National Institute of Technology, Kagawa College

[Kagawa KOSEN]

Message from the President

National Institute of Technology, Kagawa College was established by the incorporation and reorganization of Takamatsu National College of Technology and Takuma National College of Technology both having the long history, on October 1st, 2009. We have seven departments at the General Education Courses and two majors at the Advanced Course. We have improved and advanced the facilities and the equipment for both education and research. We are enhancing the cooperative relationship between Takamatsu Campus and Takuma Campus, and are providing favorable environments for the education. At the General Education Course, we arrange a curriculum composed of liberal education, professional education, and practical technology education for 5 years, to develop highly qualified engineers that have a rich sense of humanity and creativity, with a competency to deal with rapid progress of science and technology and with harmony among intelligence, technology and spirit. Students



can attain as high competency as those at a university by the study for 5 years. Moreover, students can obtain the same degree of bachelor as those who graduate a university by the study for 2 years at the Advanced Course after graduation of the General Education Course.

At Takamatsu Campus, We have Industrial and Systems Engineering Division composed of Department of Mechanical Engineering, Department of Electrical and Computer Engineering, Department of Electro-Mechanical Systems Engineering and Department of Civil Engineering for the General Education Courses. We are cultivating engineers active in the region of creative manufacturing. At Takuma Campus, We have Electronics, Information and Communication Engineering Division composed of Department of Communication Network Engineering, Department of Electronic Systems Engineering, and Department of Information Engineering for the General Education Courses. We are cultivating engineers active in the region of advanced electronics, information and communication. We have Advance Course in Industrial and Systems Engineering at Takamatsu Campus and Advanced Course in Electronics, Information and Communication Engineering at Takamatsu Campus. At both Advanced Course, We are supplying educations full of intellectual stimulation and international sense, and are enhancing the Science Seminar.

We have Dormitories, Counseling Room and Career Support Center to support students' welfare, study, employment and career shaping through such as internship. We have International Exchange Promotion office to develop international exchange and collaboration in education and research, and Human Resource Development Office to develop local industries and enhance the partnership with them. We are making Academic Exchange Agreements with Overseas Universities, sending students abroad for international internship or student exchange, and promoting Cooperative Research with the Private Sector eagerly. We contribute to the wealth and advancement of our local community as a driving force of intellectual and technological progress.

Both of our campuses' long histories have seen over 20,800 students graduate and secure meaningful employment in the private sector, municipal and prefectural governmental offices, universities, and research institutes. These graduates of the colleges have displayed and exemplified an impressive work ethic and job performance, leading to high praise and evaluations given by employers. We constantly embark on new challenges and develop ourselves, inheriting the excellent traditions.

Masao Tanaka President

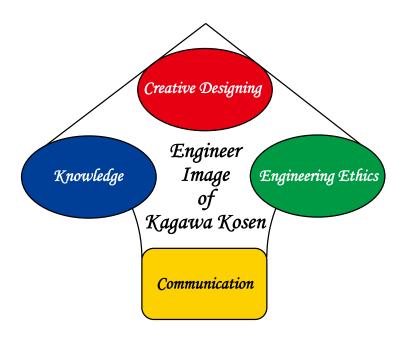
Mission and Educational Goals

- Mission of National Institute of Technology, Kagawa College: NITKC (Kagawa KOSEN)
 - To develop highly qualified engineers that have a rich sense of humanity and creativity.
 - To contribute to the wealth and advancement of our local community as a driving force of intellectual and technological progress.

■Educational Goals

Kagawa KOSEN's educational objectives, based upon a detailed and comprehensive curriculum, are as follows:

- ♦ To broaden students' minds, with the aim that they will become engineers of the future that will play an instrumental role in a sustainable society.
- ♦ To train students to have the technological Knowledge and applicable skills for coping with these fast changing times.
- ♦ To train students to be engineers of the future, who can apply their imagination to tackle the complex problems of society.
- To develop the students' intellect, as well as communication skills, in order to prepare them for international career paths.



Contents

Message from the President	
Mission and Educational Goals ·······	ii
History ·····	
Organization · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
School System of Japan · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3
Departments · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4
General Education	
Industrial and Systems Engineering Division(Takamatsu Campus) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6
Department of Mechanical Engineering	
Department of Electrical and Computer Engineering	
Department of Electro-Mechanical Systems Engineering	
Department of Civil Engineering	
Electronics, Information and Communication Engineering Division (Takuma Campus)	10
Department of Communication Network Engineering	
Department of Electronic Systems Engineering	
Department of Information Engineering	
Faculty of Advanced Engineering(Bachelor's Degree Program) ·····	13
Advanced Course in Industrial and Systems Engineering (Takamatsu Campus)	
Advanced Course in Electronics, Information and Communication Engineering (Takuma Campus)	
International Affairs · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	16
Academic Exchange Agreement with Overseas Institutions	
Organization of International Symposiums/Seminar (2015-2021)	
International Exchange and Academic Activities by Faculties and Students (2015-2021)	
International Students at NITKC	
Human Resources Development Office	17
Organization Chart of Human Resources Development Office	
Activities of Academic-industrial Alliance	
Al Social Implementation Education and Research Division · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
Infrastructure Maintenance Educational Center · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	19
Research · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20
Grants-in-Aid for Scientific Research	
Commissioned Research	
Cooperative Research with Private Sector	
Other Competitive Funds and Grants	
Facilities ·····	21
Networking and Computing Service Center	
Human Resources Development Office	
Students	22
Dormitories	23
After Graduation	23
Campus Map · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	24
Accounting	24
Access from International Airports to Kagawa KOSEN	25
Access Map	26

History

\Diamond History

Takamatsu National College of Technology (Takamatsu KOSEN) **Takamatsu Campus of Kagawa KOSEN

April. Takamatsu National College of Technology(Takamatsu KOSEN) was established. It consisted of two departments: the Department of Mechanical Engineering and the Department of Electrical Engineer-

April, Takamatsu KOSEN was restructured into three departments: the 1966 Department of Mechanical Engineering, the Department of Electrical Engineering and the Department of Civil Engineering.

Takamatsu KOSEN was restructured into four departments: the 1990 Department of Mechanical Engineering, the Department of Electrical Engineering, the Department of Electro-Mechanical Systems Engineering and the Department of Civil Engineering.

April Advanced Engineering Course was established 1999

April, Takamatsu KOSEN consisted of four departments: the Department 2001 of Mechanical Engineering, the Department of Electrical and Computer Engineering, the Department of Electro-Mechanical Systems Engineering and the Department of Civil Engineering.

Takamatsu KOSEN was reorganized and was affiliated with the 2004 Institute of National Colleges of Technology.

Takuma National College of Technology (Takuma Denpa KOSEN) **Takuma Campus of Kagawa KOSEN

October,	Kanritsu	Musen	Densin	Koshujo	Osaka	Bran	nch (Nati	ional
1943	School	of Radio	Telecor	nmunicati	ons, Os	saka	Branch)	was
	established at Yata-mura, Naka-Kawachi-gun, Osaka							

Kanritsu Musen Densin Koshujo Osaka Branch was renamed 1945 Kanritsu Osaka Musen Densin Koshujo (Osaka National School of Radio Telecommunications).

Kanritsu Osaka Musen Densin Koshuio was relocated in April. 1949 Takuma-cho, Mitovo-gun, Kagawa, and was renamed Takuma Denpa High School (Takuma Radio Technical High School).

April. Takuma Denpa High School became Takuma National College 1971 of Technology (Takuma Denpa KOSEN). It consisted of one department of Radio Engineering.

April, Takuma Denpa KOSEN was restructured into two departments: 1976 the Department of Radio Engineering and the Department of

Takuma Denpa KOSEN was restructured into three departments: 1980 the Department of Engineering, the Department of Electronics and the Department of Information Engineering.

April. Takuma Denpa KOSEN was restructured into four departments: the Department of Radio Engineering, the Department of 1985 Electronics, the Department of Information Engineering and the Department of Control Engineering.

The Department of Radio Engineering was renamed the April, Department of Telecommunication Technology.

Takuma Denpa KOSEN was reorganized and was affiliated with

the Institute of National Colleges of Technology. Advanced Engineering Course was established.

In October, 2009, Takamatsu KOSEN and Takuma KOSEN were incorporated and reorganized as National Institute of Technology, Kagawa College (Kagawa KOSEN). Two divisions including seven departments were set up: Industrial and Systems Division (Takamatsu Campus) and Electronics, Information and Communications Division (Takuma Campus).

2004

The departments are as follows: Dpt of Mechanical Engineering, Dpt of Electrical and Computer Engineering, Dpt of Electro-Mechanical Systems Engineering and Dpt of Civil Engineering (Takamatsu Campus); Dpt of Communication Network Engineering, Dpt of Electronic Systems Engineering and Dpt of Information Engineering (Takuma Campus). The Faculty of Advanced Engineering was also set up: Advanced Course in Industrial and Systems Engineering; Advanced Course in Electronics, Information and Communication Engineering. Dr. Masashi Kamon was appointed as the first president of Kagawa KOSEN.

In January, 2013, a commemoration ceremony was held to celebrate the 50th anniversary of the Takamatsu Campus and the 70th anniversary of the Takuma Campus.

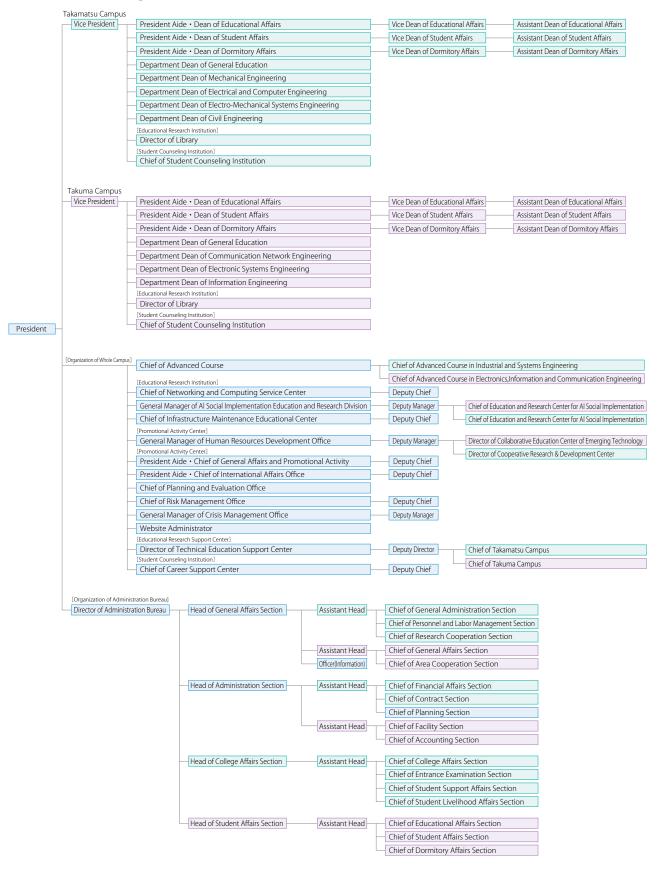
In April, 2014, Dr. Takeshi Yao was appointed as the second president of Kagawa KOSEN.

In April, 2018, Dr. Yoshio Aso was appointed as the third president of Kagawa KOSEN.

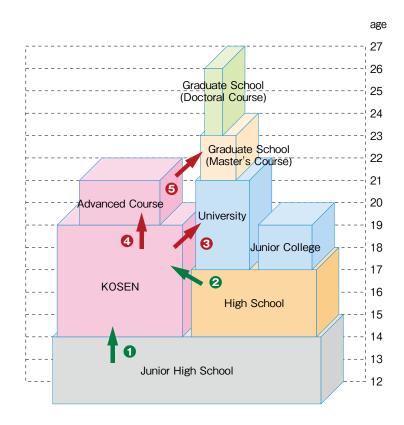
In April, 2021, Dr. Masao Tanaka was appointed as the fourth president of Kagawa KOSEN.

Organization

♦ Chart of Organization



School System of Japan



- 1 Junior high school graduates are eligible to enroll at a KOSEN.
- 2 High school graduates are eligible to enroll at a KOSEN as transfer students.
- **3** KOSEN graduates are eligible to enroll in a university as transfer students.
- 4 KOSEN graduates are eligible to enroll in an advanced course.
- 6 KOSEN Advanced Course graduates are eligible to enroll in a university graduate program.

■ KOSEN System

KOSEN system — five-year engineering education from 15-year old — was established in 1961, in response to a strong demand from industrial sector to foster engineers who sustain Japanese high economic growth at that time.

Characteristics of KOSEN Education Upon Admission

- We admit junior high school graduates
- We enable students to engage in career and life planning at a young age

In School

Practical and Innovative Education

- We develop an curriculum in the liberal arts and professional studies
- We have highly qualified teaching staff (more than 80% of specialized subject teachers have doctoral degree)
- We provide experimental and practical training, internship and coop education
- We provide programs accredited by JABEE
- We offer international exchange opportunities

Personality Development

- · We offer student dormitories and extracurricular activities
- We hold Robot, Programming, Design and Speech contests
- We organize annual all KOSEN Athletics Competition

Upon Graduation

- · We help students to find various career paths
- We produce engineers with extensive practical creativity

Departments

General Education

This division offers various arts and science subjects including physical education aimed at cultivating students with wide-ranging knowledge and basic understanding required for the study of engineering. Our curriculum covers that of senior high schools putting stress on mathematics and science, and also offers some courses at the college level to the senior students.

◇Fulltime Academic Staff in Department of General Education

[Takamatsu Campus]

Title	Name	Research Field
	TAKAHASHI, Hiroaki	Topology Mathematical Physics
	OKANO, Hiroshi	Inorganic Materials Chemistry Thin Film Engineering
	TAGUCHI, Jun	History of Educational Thought
Prof.	NAKASE, Mikio	Sports Methodology Coach Methodology
	SAWADA, Isao	Statistical Mechanics Condensed Matter Theory
	HASHIMOTO, Norifumi	Synthetic Organic Chemistry Catalytic Chemistry
	YOSHIZAWA, Kosei	Theory of Sports Training
	KOSHOU, Kiyohiro	Pedagogy English Educarion
Associate	YODA, Jun	European History
Prof.	TOBA, Motoko	English Education Applied Linguistics
	SATO, Fumitoshi	Algebraic Geometry
	TOKUNAGA, Shintaro	TESOL, East Asian History
	NOGUCHI, Naoshi	Japanese Literature
Senior	TACHIKAWA, Naoki	Electrochemistry Lithium Battery
Lecturer	KADOWAKI, Dai	Japanese Literature
	KAWAMURA, Masaya	Differential Geometry
	NODA, Kazuto	Condensed Matter Theory
Assistant	MORISHITA, Jiro	American Studies
Prof.	KUWATA, Ken	Mathematical Physics









[Takuma Campus]

Title	Name	Research Field
	MINAMI, Takayuki	Differential Equation Hamiltonian System
Prof.	ARIMA, Hirotoshi	Methodology of Coaching
1 101.	FUJIHARA, Nobuhiro	Japanese Literature
	HASHIMOTO, Ryuta	Number Theory Continued Fraction
	UEHARA, Shigenori	Geometric Topology General Topology
Associate	YOKOYAMA, Manabu	Methodology of Sports Training Health Education
Prof.	MORI, Kazunori	English Teaching, CALL
	TAKENAKA, Kazuhiro	Synthetic Organic Chenistry, Organometallic Chemistry
	MORIOKA, Takaaki	Teaching English to Speakers of Other Languages
Senior Lecturer	MORI, Akane	Clasial Japanese Literature
	TAMURA, Masaki	Indian Philosophy Buddhist Studies
	SHIRAHATA, Yasuhiro	Solar Cells, Electrical and Electronic Materials
Assistant Prof.	OHASHI, Asuka	Numerical Linear Algebre Numerical Multi-Linear Algebre
	NAKAZAWA, Takuya	Contemporary history of Yugosiavia Montenegrin Studies

♦Curriculum

Compulsory Subject	Credits
Japanese I-II	6
Japanese	2
Society I-II	4
Mathematics I A	2
Mathematics I B	2
Mathematics I C	2
Mathematics I D	2
Mathematics IA	2
Mathematics IB	2
Mathematics IC	2
Mathematics ID	2
Mathematics IIA	2
Mathematics IIB	2
Physics I-II	4
Chemistry I-II	4
Health and Physical Education I-Ⅲ	6
English I A	2
English IB	2
English II A	2
English IIB	2
English I IA	2
English I IB	2
Communication & Expression I-II	4
Art	2



Department of General Education in Spring



Collaborative Learning

[Takamatsu Campus]

Elective Subject	Credits
Literature I	2
Human Science I-Ⅲ	6
Social Science I-II	6
General Chemistry I-II	4
Phyisical Education I-II	2
English IVA	2
English IVB	2
English VA	2
English VB	2
Language Seminar I-IV	8
Overseas English Program	1

[Takuma Campus]

Elective Subject	Credits
Human Science I-IV	8
Social Science I-IV	8
Topics in Natural Science	2
Physical Education I, I	4
English for Specific Purposes I, II	4
Chinese I, II	4
Overseas English Program	1
Teaching Support Activity	1

♦ Main Experiment Facilities

Vindin Experiment Facilities				
	Room	Main Equipment		
Takamatsu Campus	Physics Laboratory	High Vacuum Pump, Spectroscope, Induction Coil		
Takamatsu Campus	Chemical Laboratory	Sputtering System, PH Meter. Draft Chamber with Scrubber		
	Language Laboratory	46 booths, 46 Computers, e-learning		
Takuma Campus	Physics Laboratory	Audio-visual Equipment, Measurement Device of Specific Charge		
Takuilla Callipus	Chemistry Laboratory	Ultra Pure Water Production System, Draft Chamber with Scrubber, Drying Oven		
	Multimedia Learning Laboratory	48 booths, 48 computers, e-learning		

Industrial and Systems Engineering Division (Takamatsu Campus)

Department of Mechanical Engineering

Mechanical engineers play a vital role in product design, development and manufacturing of industrial products in the modern industrial world as well as new challenges in developing countries.

Our educational program is designed to develop creative mechanical engineers who will excel in the industrial world and fulfill their personal desire to leave a legacy of successful accomplishments.

○Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field	
	KIHARA, Shigefumi	Applied Mechanics	
	YAMASAKI, Yojiro	Robotics Motion Control	
Prof.	KOJIMA,Takafumi	Thermodynamics Heat Transfer Engineering	
	YOSHINAGA, Shinichi	Control Engineering	
	JODAI, Yoshifumi	Fluids Engineering	
Associate	TOKUDA, Taro	Strength of Matcrials Fracture Mechanics	
Prof.	TAKAHASHI, Yoichi	Precision Machining Forming Processes	
Senior	KIMURA, Yuto	Moleculae Dynamics	
Lecturer	MAEDA, Yusaku	Sensor Engineering	
Assistant Prof.	TAKATANI, Hideaki	Robotics	





♦Curriculum

Classification	Subject	Credits
	Engineering Literacy	2
	Applied Mathematics I	2
	Applied Mathematics II	2
	History of Science and Technology	1
	Intellectual Property	1
	Exercise of Mechanical Engineering I	1
	Exercise of Mechanical Engineering II	1
	Engineering Mechanics I	2
	Strength of Materials I	
	Strength of Materials II	
	Thermodynamics	0
	Hydraulics	2
	Mechanical Vibrations	2
	Working Technology	2
Compulsory	Machine Element Design I	1
Compaisory	Machine Element Design II	2
	Material Science and Engineering	2
	Electrical Engineering	1
	Control Engineering I	1
	Fundamental Programming	2
	Numerical Methods	2
	Mechanical Design and Drafting I	2
	Mechanical Design and Drafting I	2
	Computer Aided Design and Drafting I	3
	Fundamental of Working Exercise I	3
	Fundamental of Working Exercise II	3
	Fundamental of Working Exercise III	2
	Mechanical Experiment I	3
	Mechanical Experiment II	3
	Graduation Research	8

	athematics II	2
Engineerin	g Mechanics II	2
Strength o	f Materials II	2
Theory of	Elasticity	2
Heat Tran	sfer Engineering	2
Fluids Dyn	amics I	2
Electronic	3	2
Computer	Engineering	
Mechanisr		_
Computat	onal Mechanics	2
Computer	Aided Design and Drafting II	4
Technical		
Heat Engi	nes	2
Elective Control En	gineering I	2
Fluids Dyn	amics II	2
Job Trainii		
Special Le	cture I	1
Special Le	cture I	1
Special Le	cture II	1
Special Le	cture IV	
	ch Activity I	1
Pre-resear	ch Activity I	1
	ch Activity II	1
	Programming Training I	4
	Programming Training I	
	Programming Training II	4





Room	Main Equipment
Workshop Lab.	Ultra-Precision Machine, Wire-Cut EDM Systems, Hobbing Machine, Precision Lathe
Mechanical Measurment Lab.	Non-Contact 3D Measuring Machine, Surface Finishing Indicator, Micro Hardness Tester
Material Testing Lab.	Universal Materials Testing Machine, Fatigue Testing Machine, Torsion Tester, Charpy Impact Tester
Materrial Lab.	Optical Microscope, Electric Furnace, Hardness Tester, SPD Equipment
Research Space Lab.	Hydraulic Servo-Mechanical Fatigue Testing Machine
Vibration Engineering Lab.	Vibration System, Vibration Meter, FFT Analyzer, Signal Analyzer
Wind Tunnel Lab.	Low Turbulent Wind Tunnel (40 m/s). Hot Wire Anemometer
Thermal Engineering Lab.	Heat Exchanger Testing Equipment
Internal Combustion Engine Lab.	Internal Combustion Engine Performance Testing Equipment, Engine Combustion Analysis System, Exhaust Gas Analyzer
Control Lab.	DC Servo Motor Testing System, BASIC FA Study Kits, Pocketcomputer Controlled AGV Testing System
Electronics Lab.	Oscilloscope, Digital Multi-Meter, Function Generator, DC Power-Supply Unit
Machine Shop	Lathe, Machining Center, CNC Lathe, Milling Machine, Grinding Machine, Crucible Furnace, Welding Equipment, Hydraulic Press
Drafting Room, CAD Room	Drafting Desks and Machines, Sketching Goods and Models, CAD System

!- Department of Electrical and Computer Engineering

The department of electrical and computer engineering intends to educate the engineers who can contribute to the high technological society. For this purpose, the educational curriculum is designed to include the fundamental of mathematics and physics in the first stage, and applied technologies are programmed in the next stage. Furthermore, teamwork and cooperativeness, which are necessary in the social works, will be introduced in the various experiments and circuit design. Major parts of these subjects consist of the technologies of the embedded system.

○Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field
	SHIKAMA, Tomokazu	Semiconductor Physics Thin Films Engineering
Prof.	SHIGETA, Kazuhiro	Information and Communication Engineering Educational Technology
FIUI.	TUJI, Masatoshi	Electronic Circuit Microwave Engineering
	URUSHIHARA, Shiro	Motion Control Control Engineering
	MURAKAMI, Yukikazu	Educational Technology
Associate Prof.	KAKIMOTO, Takeshi	Software Development Management
	YAMAMOTO, Masashi	Material Science
Senior	YOSHIOKA, Takashi	Motion Control Motor Drive
Lecturer	KITAMURA, Daichi	Statistical Signal Processing, Machine Learning
Assistant Prof.	HINAMOTO, Yoichi	Digital Signal Processing









♦Curriculum

Classification	Subject	Credits
	Engineering Literacy	2
	Applied Mathematics I	2
	Applied Mathematics II	2
	History of Science and Technology	1
	Intellectual Property	1
	Fundamentals of Electrical and Computer Science I	4
	Fundamentals of Electrical and Computer Science II	4
	Fundamentals of Electricity	4
	Fundamentals of Electronics	4
	Electromagnetics I	2
0	Electrical Circuits I	2
Compulsory	Logic Circuits Fundamentals of Information Processing Electronic Circuits I	2
		4
		1
	Information Mathematics	1
	Creative Engineering Experiment Training I	2
	Creative Engineering Experiment Training II	4
	Experiments on Electrical and Computer Science	4
	Experiments on Electrical and Computer Science II	4
	Applied Experiments on Electrical and Computer Science	4
	Graduation Research	8
	Design of Circuits	2

	Introduction of Semiconductor Physics	2
	Electromagnetics II	2
	Electrical Circuits II	0
	Instrumentation Engineer	2
	Electrical and Electronic Materials	
	Electronic Circuits II	0
	Electronic Circuits II	2
	Energy Conversion Engineering	2
	Control Engineering	2
	Electronic Devices	2
	CONTINUING COLOR ENGINEERING	2
	Information and Communication Network	2
	Algorithms	2
	Computer Architecture	
	Operating System	0
Elective	Signal Processing	2
Licotivo	Information and coding theory	2
	Intelligence Information Processing	2
	Numerical Simulation	2
	Statistical Data Processing	2
	Technical English	
	Job Training	1
	Special Lecture I	1
	Special Lecture II	1
	Special Lecture II	
	Special Lecture IV	1
	Pre-research Activity I	1
	Pre-research Activity II	1
	Pre-research Activity II	1
	Advanced Programming Training I	4
	Advanced Programming Training II	1
	Advanced Programming Training II	4

/ Main Experiment racinges		
Room	Main Equipment	
Measurement Control Lab.	SCR Inverter, Electric Machine Training System, He-Ne Laser, Optical Power	
Electronics and Information Lab.	Curvetracer, Oscilloscope, Logic Analyzer, Microwave Measuring System, Print Board Fabrication System, Optical Communication/Optical Fiber Communication System	
Materials Lab.	Lock-in Amplifier, Ultra High Resistance Meter, Liquid Nitrogen Cryostat, Thickness Meter, Green Laser	
Power Electronics Lab.	Ball screw mechanical system with AC servo motor, Induction motor control system	
Electromagnetic Compatibility Lab.	Uniform Magnetic Field Exposure System, Magnetic Field Measurement Device, Work Station	
Electronics Lab.	Oscilloscope, Function Generator, DC Power supply, Q Meter, Digital Frequency Counter, Pulse Circuit Trainer	
Acoustical Information Lab.	Anechoic Chamber, Acoustic Measuring System, Ultrasound Detector	
Computer and Communication Engineering Lab.	Logical Circuit Experiment Apparatus, Semiconductor Element Experiment Apparatus, Arithmetic Circuit Trainer, AD/DA Converter Trainer, Logic Analyzer	

Department of Electro-Mechanical Systems Engineering

The department has a curriculum to educate students standing on mechatronics which is a combined engineering field that consists of mechanics, electronics, control engineering and computer science. The students are expected to have the role of not only simple manufacturing but also design & development, quality management, maintenance & inspection and so on in the production process.

◇Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field
	SOGO, Hiroyuki	Kinematics Robotics
Prof.	TOKUNAGA, Hidekazu	Conputational Learning Theory Web Mining
	SOUMA, Takeshi	Energy Engineering Energy Materials
	YURA, Satoshi	Control Engineering Motion Control
Associate	SHIMASAKI, Shin-ichi	Electromagnetic Processing of Materials
Prof.	SHOBAKO, Shinichiro	Welding & Joining Arc Plasma
	ISHII, Kohei	Biomedical Engineering
Senior Lecturer	TSUMORI, Nobuhiro	Nanophotonics Near-field Optics
	KAWAKAMI, Yusuke	Kansei Engineering, Signal Processing
Assistant Prof.	YAMASHITA, Tomohiko	High Voltage Engineering, Pulsed Power
	KADOWAKI, Jun	Soft robot, Pneumatic rubber muscle









♦Curriculum

Classification	Subject	Credits
	Engineering Literacy	2
	Applied Mathematics I	2
	Applied Mathematics II	2
	History of Science and Technology	1
	Intellectual Property	1
	Electromagnetics I	0
	Manufacturing Processes	2
	Fundamental Mechanics	0
	Engineering Materials I	2
	Mechanical Engineering Design	
	Mechanics of Materials I	2
	Thermal Engineering I	1
Compulsory	Fluid Engineering I	1
Compuisory	Electric and Electronic Circuits I	2
	Information Processing on Basis	
	Mechatronics I on Basis	
	Mechatronics II on Basis	2
	Mechatronics II on Basis	3
	Mechatronics System Design	2
	System Control Engineering I	2
	Technical Japanese Rhetoric	1
	Training and Exercise I on MONOZUKURI Basis	3
	Training and Exercise II on MONOZUKURI Basis	3
	Training and Exercise II on MONOZUKURI Basis	2
	Experiment I	4
	Experiment II	4
	Graduation Research	8

		Credits
	Mechanics of Materials II	2
	Engineering Materials II	
	Thermal Engineering II	2
	Fluid Engineering II	2
	Electric and Electronic Circuits II	2
	Information Processing A	
	Information Processing B	2
	System Control Engineering II	2
	Mechanical Dynamics	2
	Robotics	2
	Mechanical Instrumentation	2
	Statistical Analysis	2
	Technical English	2
Elective	Electromagnetics II	
	Semiconductor Engineering on Basis	
	Electronic Instrumentation	
	Sensor Devices	2
	Job Training	1
	Special Lecture 1	
	Special Lecture II	1
	Special Lecture II	1
	Special Lecture IV	1
	Pre-research Activity I	
	Pre-research Activity II	1
	Pre-research Activity I I	1
	Advanced Programming Training I	4
	Advanced Programming Training II	4
	Advanced Programming Training II	4

Vindin Experiment rac	intes
Room	Main Equipment
Engineer Material Lab.	Optical Microscope, Electric Furnace, Video Microscope, Vickers Brinell and Rockwell Hardness Tester, SPD Equipment
Mechanics of Material Lab.	300kN Universal Testing Machine, Torsion Tester Charpy Impact Testing Machine, Rotating Bending Fatigue Testing Machine
Thermal Engineering Lab.	High-frequency Induction Furnace. Electrometer, Laser Displacement Sensor, High-speed Camera, Heat Exchanger Testing Equipment
Electronics Lab./Electronic Control Lab.	Oscilloscope, Digital Multi-Meter, Function Generator, Electronic Voltmeter, Universal Counter, DC Power-Supply Unit, PCB-CAD/CAM
CAD Room	Video Projector, Personal Computer, 3D CAD
Exercise Room	Video Projector, Personal Computer, 3D CAD, 3D Printer
Control Lab.	Temperature Control Testing System, Water Level Control Testing System
FA Training Factory	3D Modeling Machine, Vertical Milling Machine, Drilling Machine, Band Sawing Machine
Measuring Lab.	Air Micrometer, Micro-Indicator, Tool Micrometer Microscope
Training Factory	Engine Lathe, Drilling Machine, Universal Milling Machine Universal Band Sawing Machine, Machining Center, Welders

1- Department of Civil Engineering

The department of civil engineering is working on fostering engineers who can contribute to the construction of infrastructure supporting safe and comfortable lives of citizens and the maintenance of the natural environment which is also deeply related to the construction of infrastructure.

◇Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field
	MUKAITANI, Mitsuhiko	Geotechnical Engineering Geoenvironmental Engineering
Prof.	ARAMAKI, Noritaka	Geotechnical Engineering Resource Development Engineering
	MIYAZAKI, Kosuke	Infrastructure Planning Transportation Planning
	TAGAWA, Tadashi	Sanitary Engineering Environmental Engineering
	YANAGAWA, Ryoichi	Coastal Disaster Management Engineering Coastal Ecosystem Engineering
Associate Prof.	HAYASHI, Kazuhiko	Concrete Engineering Maintenance Engineering
	TAKAHASHI, Naoki	Hydraulic Engineering Ecological Engineering
Senior	IMAOKA, Yoshiko	Urban Planning Welfare Engineering
Lecturer	HASEGAWA, Yuki	Concrete Engineering Agricultural Engineering
Assistant Prof.	MATSUMOTO, Masayuki	Earthquake engineering Seismic engineering







♦Curriculum

01:6:+:	0	Oundita
Classification	Subject	Credits
	Engineering Literacy	2
	Applied Mathematics I	2
	Applied Mathematics II]
	History of Science and Technology	
	Intellectual Property	1
	Structural Mechanics I	2
	Structural Mechanics II	2
	Structural Mechanics II	1
	Structural Design I	2
	Construction Materials	
	Soil Mechanics I	1
	Soil Mechanics II	1
	Construction Management	1
	Hydraulics I	1
	Hydraulics II	1
	River and Coastal Engineering I	1
Compulsory	Environmental Engineering I	2
	Environmental Engineering II	1
	Information Processing I	2
	Information Processing II	
	Surveying I	2
	Planning I	1
	Planning II	1
	Design and Drawing I	1
	Design and Drawing II	1
	Civil Experiments and Exercises I	4
	Civil Experiments and Exercises II	2
	Civil Experiments and Exercises II	4
	Civil Experiments and Exercises IV	4
	Civil Experiments and Exercises V	3
	Introduction of Civil Engineering	2
	Current Topics on Civil Engineering	1
	Engineering Study with Creative Training	1
	Graduation Research	8

	Structural Design II	2
	Soil Mechanics II	2
	River and Coastal Engineering II	2
	Applied Mechanics	2
	Environmental Engineering II	
	Environmental Impact Assessment	2
	Information Processing II	2
	Surveying II	
	Disaster Prevention Engineering	2
Elective	Applied Mathematics II	2
	Technical English	2
	Job Training	1
	Special Lecture I	1
	Special Lecture II	1
	Special Lecture II	1
	Special Lecture IV	1
	Pre-research Activity I	1
	Pre-research Activity II	1
	Pre-research Activity I I	
	Advanced Programming Training I	4
	Advanced Programming Training II	
	Advanced Programming Training II	4

V mani Experiment i del	mices
Room	Main Equipment
Structural Engineering Lab.	Static and dynamic loading machine, Beam testing machines, Servo-type 1D&2D shaking tables, 2D soil tanks
Materials Engineering Lab.	Automatic compression testing machine (Cap. of 3000kN), Universal testing machine (Cap. of 1000kN). Concrete mixer, Oil jacks and oil pumps, Concrete cylinder end grinder, Freezing and thawing machine. Testing apparatuses for various concrete, Concrete curing water bath
Hydraulic Engineering Lab.	Three dimensional channel, Movable channels, Wave making channels, Shape-created weir, Pipe line with a Venturi meter, Wave height indicators, Various recorders
Geotechnical Engineering Lab.	Automatic consolidation testing apparatus, Universal compression testing apparatus, Cyclic triaxial compression test apparatus, Large-scaled universal direct shear apparatus, Falling head permeability test apparatus, B-type viscometer, High speed camera, Various soil testing apparatus
Environmental Engineering Lab.	Total organic carbon analyzer, ion chromatograph, Gas chromatograph, CHN analyzer, Autoclaves, Centrifuge, Ultra pure water system, Acid rain collect, Electronic scale, Constant temperature ovens
Equipment room	Global Navigation Satellite Systems, Geographic Information System, Remote Sensing, Total station, Digital type theodolites(4set), Automatic levels, Electro-optical distance meters(4set), Plane table, Pranimeters, Stereoscope

Electronics, Information and Communication Engineering Division (Takuma Campus)

- Department of Communication Network Engineering

Both modern industry and society rely heavily on telecommunication systems, which are also known as a "neural network" of society. The constituents of the systems are electric wires, optical fibers and electromagnetic waves, as well as a great deal of computers. The aim of the Department of Communication Network Engineering is to foster competent engineers in this promising field of telecommunications. The curriculum is organized so that students can qualify for various national licenses such as an On-the-Ground I-Category Special Radio Operator, or a First-Class Technical Radio Operator for On-the-Ground Services.

○Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field
	SAWADA, Shiro	Theoretical Physics
Prof.	INOUE, Tadaaki	Communications Measurement
	ISSHIKI, Hiromi	Biomedical Engineering
	MANABE, Katsuya	Electromagnetic Theory Microwave Theory and Techniques
	TAKAJO, Hideyuki	Educational Technology Ubiquitous Computing
	SHOHON, Toshiyuki	Coding Theory Communication Engineering
Associate Prof.	KUMEKAWA, Kazuya	Computer Networks
	ONO, Akira	Telecommunication Electronic Circuit
	SHIRAISHI, Keiichi	Computer Algebra e-Learning
	KAWAKUBO, Takashi	Field Emission Surface Physics





Optical Fiber Communication



Computer Network Experiment

Classification Applied Mathematics Probability and Statistics Applied Physics I Electric Engineering Information Processing I Information Processing I Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits II Electric Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits I	Credits 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
Probability and Statistics Applied Physics I Electric Engineering Information Processing I Information Processing I Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits I	2 2 2 2 2
Applied Physics I Electric Engineering Information Processing I Information Processing II Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits II	2
Electric Engineering Information Processing I Information Processing II Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits I	2
Information Processing I Information Processing II Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits II	2
Information Processing II Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits II	2
Digital Circuits I Electric Circuits I Electric Circuits II	2
Electric Circuits I Electric Circuits II	2
Electric Circuits II	
	2
Electric CircuitsA	2
Electromagnetics I	2
Electromagnetics II	5
Compulsory Electronic Circuits I	5
Electronic Circuits II	2
Electric and Electronic Measurements I Electronics	2
	2
Wireless Communication Engineering I	<u>-</u>
Seminar on Communication Engineering Fundamental Engineering Exercises	1
Engineering Exercises	<u>5</u>
	<u>-</u>
Creative Experiments and Practices Experiments and Practices	2
Experiments in Communication Network Engineering	2
Experiments in Communication Engineering I	4
Experiments in Communication Engineering I	4
Graduation Research	8
Applied Physics II	2
Information Processing II	
Electric and Electronic Measurements I	2
Wireless Communication Engineering I	2
Antennas and Propagation I	2
Antennas and Propagation II	2
Communication SystemA	2
Communication SystemB	2
Tlecommunications Law I	2
Tlecommunications Law II	2
Computer Networks I	2
Computer Networks II	2
Information Theory	2
Seminar on Radio Engineering	2
Data Communications	2
Optoelectronics Elective	2
Mathematics for Information Science	2
Information Security	2
Network Programming	2
Internship	
Special Lectures I	
Special Lectures II Pre-research Activity I	
Pre-research Activity I	
Pre-research Activity II	
Research Fundamentals I	
Research Fundamentals II	i
Research Fundamentals II	1
Al I	1
Al II	1
AI II	1
Al IV	1

Room	Main Equipment
Electromagnetic Anechoic Chamber	EMI(Electromagnetic Interference)Receiver, CVCF(Constant-voltage Constant-Frequency)Power Supply, Bill.og Antenna, Artificial Mains Network, Absorbing Clamp, Turn Table, Vector Network Analyzer
Applied Electromagnetic Wave Lab.	Radar, Satellite Compass, AlS(Automatic Identification System)Receiver, Radio Direction Measurement Equipment, Radio Transmitter, Radio Receiver
Photonics Lab.	Sampling Oscilloscope, Spectrum Analyzer, EO Converter, OE Converter, OTDR(Optical Time Domain Reflectometer)
3rd Fundamental Communication Eng. Lab.	Pulse Pattern Generator, Error Rate Detector, Optical Spectrum Analyzer
Information Network Exercise Room	Training Equipments for LAN(Local Area Network)Integration(Routers, Switching Hubs, Wireless LAN Access Points, Personal Computers), Microcomputer Development and Training System

!- Department of Electronic Systems Engineering

In light of the advancements of mechatronics and Information technologies, there is a large demand for engineers in the development and integration of computer science, robotic systems and telecommunications.

The program in our department is designed to offer students many options from various fields such as hardware, software, electronics and communication technologies. We combine theory and practical application in the same course which provides practical laboratory experience. Our goal is to cultivate ingenuity and innovation in our students and provide them with all skills necessary for a successful career in the electronics industry.

◇Fulltime Academic Staff

Title	Name	Research Field
	NAGAOKA, Shiro	Integrated Circuits
Prof.	MISAKI, Yukinori	Robot Engineering
	YAGI, Masakazu	Solid State Physics
	TSUKIMOTO, Isao	Electronic Circuits
Associate	MIKAWA, Michio	Solid State Physics
Prof.	JOHNSTON, Robert Weston	Computer Science
	MORIMUNE, Taichiro	Solid State Physics
	SHIMIZU, Tomo	Semiconductor Devices
Senior Lecturer	IWAMOTO, Naoya	Semiconductor Devices
	ONISHI, Akinari	Assistive Technology
Assistant Prof.	YOSHIOKA, Genta	Human Robot Interaction



Robot Manufacture Experiment using MINDSTORMS



Digital Circuit Manufacture Experiment using VHDL (in 5th Grade)



Fundamental Electronic Circuit Experiments in English



Graduation Work with Region Cooperation (in 5th Grade

	ılum	
Classification	Subject	Credits
	Applied Mathematics	2
	Probability and Statistics	2
	Applied Physics I	2
	Electric Engineering	2
	Electric Circuits I	
	Electric Circuits II	2
	Fundamental Electric Circuits	4
	Electromagnetics I	2
	Electromagnetics II	2
	Elecronics	2
	Electronic Circuits I	2
	E O T	0
		<u>5</u>
	Semiconductor Electronics	<u>5</u>
Compulsory	Semiconductor Device Engineering	
	Digital Circuits I	2
	Digital Circuits II	2
	Elecronic Measurements	2
	Control Engineering I	2
	Information Processing I	2
	Information Processing II	2
	Electronic Systems Engineering Seminar	4
	Fundamental Engineering Exercises	2
	Creative Experiments and Practices	4
	Experiments and Practices	2
	Experiments in Elecrtonic Engineering	4
	Experiments in Electronic Engineering I	4
	Experiments in Electronic Engineering II	4
	Graduation Research	8
	Applied Physics II	2
	Electric CircuitsⅢ	2
	Solid State Physics	2
	Optoelectronics	2
	Electrical and Electronic Materials	2
	B	
	Hobot Engineering Sensor Electronics	2
	Special Lecture in Electronic Systems Engineering	<u>5</u>
	1.6	0
	Communication SystemA	<u>-</u>
	Information Processing II	·····-
	Data Communications	2
Elective	Image Processing Technology	2
2.001.70	System Engineering	5
	Internship	1
	Special Lectures I	1
	Special Lectures II	1
	Pre-research Activity I	1
	Pre-research Activity I	1
	Pre-research Activity I I	1
	Research Fundamentals I	1
	Research Fundamentals II	1
	Research Fundamentals II	1
	Al I	1
	AIΙ	1
	AI II	1
	AI IV	1

Vindin Experiment radinates			
Room	Main Equipment		
Common Lab.	Liquid Crysta, Tunable Filters,Cooled CCD Camera,Multispectral Imaging System, Hyperspectral Camera		
Measurement Engineering Lab.	Equipment of Supply Current Test to Detect Lead Opens of CMOS ICs. Oscilloscope, Current Probe		
Computer Engineering Lab.	Oscilloscope, Radiation Detector, Analog Waveform Processing System		
Circuit Design Lab.	Photoelectron Yieid Spectroscopy, UV-VIS NIR Spectrophotometer, Organic Thin Film Deposition Apparatus, Spectroscopic Reflectometer,		
Circuit Design Lab.	Laser Micro-machining Apparatus, Atomic Force Microscope		
Optoelectronics Lab.	Fluorometer, Quantum efficiency measurement system, Diffraction-grating monochromator, He-Cd laser, Ar ion laser, Cryogenic refrigerator		
Electronics Lab.	Infrared Thermal Camera, 3D Printer, 3D Scanner, Tabletop Microscope, Non-Mydriatic Auto Fundus Camera, Pulse Oximeter		
Materials Engineering Lab.	Pulsed Laser Depositon System, Sputtering Apparatus, Hall Effect Measurement System, X-ray Diffraction Equipment		
Plasma Sinering Lab.	Spark Plasma Sinering System		

!- Department of Information Engineering

The department offers students an opportunity to acquire the theoretical fundamentals of computer science, and learn how to apply this practical knowledge to everyday problems. The department aims to educate the students to be able to perform tasks such as the following:

- -Information system development
- -Application development and integration, such as sound and image processing, computer networking.

○Fulltime Academic Staff

Title	Name Research Field	
	MIYATAKE, Akiyoshi	Educational System Engineering
Prof.	TOKUNAGA, Shuichi	Image Processing
	KANAZAWA, Keizo	Image Processing
	KAWATA, Jun	Plasma Surface Interaction
	KONDOH, Yuji	Computer Algebra
Associate	OKUYAMA, Shingo	Algebraic Topology
Prof.	KAWAZOME, Hayato	Plasma Spectroscopy
	SASAYAMA, Manabu	Information Retrieval Machine Translation
	TANIGUCHI, Yasutaka	Theoretical Nuclear Physics
Assistant Prof.	MIYAZAKI, Takahiro	Remote Sensing

○Curriculum

Classification	Subject	Cred	ite
O/GOOM TOURISH	Applied Mathematics	2	
	Probability and Statistics		
	Applied Physics I	<u></u>	
	Electric Engineering	<u></u> 2	
	EL 1: 0: 1: 1		
	E	2	
	B1 1: 1 B1 1: 1	2	
	D: :: 10: :: #	<u>.</u>	• • • • •
	Information Engineering	<u>.</u>	
	Computer Architecture		
		2	
	Information Processing I Information Processing II		
Compulsory	Software Design and Development		
Compuisory		4 2	
	Communication Theory		
	Data Structures and Algorithms	2	
	Compiler	2	
	Seminar on Information Engineering		
	Fundamental Engineering Exercises	2	
	Information Engineering Exercises	2	
	Creative Experiments and Practices	4	
	Experiments and Practices	2	
	Experiments in Information Engineering		
	Experiments in Information Engineering I	4	
	Experiments in Information Engineering I	4	
	Graduation Research	8	
	Applied Physics II	2	
	Mathematics for Information Science		
	Numerical Analysis		
	Electromagnetics	2	
	Semiconductor Electronics	2	
	System Engineering	2	
	System Programming	2	
	System Software	2	
	Infromation System	2	
	Artificial Intelligence I	2	
	Artificial Intelligence II	2	
	Digital Image Processing	2	
Elective	Database Management System	2	
	Computer Networks I	2	
	Computer Networks II	2	
	Information Security	2	
	Internship	1	
	Special Lectures I	1	
	Special Lectures II	1	
	Pre-research Activity I	1	
	Pre-research Activity II	1	
	Pre-research Activity II	1	
	Research Fundamentals I	1	
	Research Fundamentals II	1	
	Research Fundamentals I I	1	
	Al I	1	
	AIΙ	1	









V Main Experiment Facilities			
Room	Main Equipment		
Control Circuit Lab.	3D Input/Output Device(3D Scanner, 3D Milling machine) 3D CAD/CAM software		
Engineering Science Lab.	Educational design and prototyping platform, LabVIEW, Electronic Circuit Simulator		
Network Lab.	Experiment equipments for network skill acquisition(Router,L2,L3 switch)		
Knowledge Information Processing Lab.	The server for analyzing Big Data		
ICT Lac.	203.2cm diagonal screen size Integrated Touch Display		
Reference Room	Al learning server		
Image information processing Lab.	Embedded technology training robot teaching materials		
Joint Use Lab.	3D content creation system		

Faculty of Advanced Engineering(Bachelor's Degree Program)

The Faculty of Advanced Engineering at Kagawa KOSEN aims to develop analytical, problem-solving skills as well as research ability of students so that they become practical and creative engineers who will play important roles in various industries, and contribute to the regional economy and society through collaborative projects.

To accomplish this goal, the Faculty of Advanced Engineering is comprised of the Courses in Industrial and Systems Engineering Program at the Takamatsu Campus, and the Course in Electronics, Information and Communication Engineering Program at the Takuma Campus.

■Educational Objectives

The educational objectives of the Faculty of Advanced Engineering at Kagawa KOSEN are:

- ♦ Students will acquire highly specialist knowledge in their engineering fields and develop analytical skills by attending advanced lectures and proceeding their thesis research.
- ♦ Students will acquire broad knowledge and problem-solving skills from practical experience in other related fields to play leading roles in interdisciplinary areas.
- ♦ Students will learn ethical issues and responsibilities as engineers through collaborative researches with local educational organizations and companies.
- ♦ Students will acquire global viewpoints and communication skills in Japanese and English, by participating in workshops and scientific conferences inside and outside of the college.



Advanced Course(Takamatsu Campus)



Advanced Course(Takuma Campus)

- Advanced Course in Industrial and Systems Engineering (Takamatsu Campus)

This course has four sub-courses to educate students to be practical engineers with problem-solving skills and the creativity to develop technologies.

■ Mechanical Engineering Course

This course is for future mechanical engineers with problem-solving skills and original creativity.

■ Electrical and Computer Engineering Course

This course is for future electrical engineers, electronic engineers, computer engineers and researchers.

■ Electro-Mechanical Systems Engineering Course

This course is for future mechatronics engineers with well-founded skills who contribute to the human happiness and welfare.

■Civil Engineering Course

This course is for future civil engineers with knowledge of design, planning, disaster prevention and environmental preservation techniques.

○Curriculum

Classification		Subject	Credits
iberal Arts	Compulsory	Management Theory TOEIC Preparation	2
Libera	Elective	Jurisprudence Reading of Literary works	2
	Compulsory	Engineer Ethics Topics in Mathematics I	2 2
Engineering Basic	Elective	Modern Physics Intellectual Property Rights English for Technical Purpose Topics in Mathematics II Physical Chemistry Analytical Chemistry Applied Physics Overseas English Program	2 2 2 2 2 2
Eng. Subjects	Compulsory	Experiments and Practicals I Experiments and Practicals II Thesis Research I Thesis Research II Seminar I Seminar II	2 6 10 2
Core Eng	Elective	Special Lectures Internship I Internship II Internship II Internship II Internship II	2









Water Quality Analysis

ര് മ്		Internal Combustion Engines	2
Eng. Subjects of ME Course.	Elective	Computational Mechanics	2
		Elasticity and Plasticity	2
		Advanced Strength and Fracture of Materials	2
ഇ്≥		Matrix Vibration Analysis	2
र्वे स		Reliability Engineering	2
		Electromagnetic Compatibility	2
		Modern Control Theory	
		Energy Conversion Engineering	2
		Project Management Theory	2
oσ		Solid State Electronics	
Subjects Course			2
ig ig		Integrated Circuits	2
SC	Elective	Semiconductor Physics	2
Eng. St of EC (Power Electronics	2
무중		Information and Communication Engineering	2
		Microwave Engineering	2
		Digital Signal Processing	2
		Knowledge Computing	2
		Image Processing Engineering	2
		Advanced Heat Transfer	2
		Advanced Dynamics	2
g ç		Optimization Theory	2
9	Elective	Advanced Computer Processing	
Eng. Subjects of MS Course.		Advanced Joining Technologies	2 2
တလ		Advanced Energy Engineering	2
w≥ ≥w≥		Advanced Control Engineering I	
ШΘ			2
		Advanced Control Engineering II	2
		Mechatronics	2
		Seismic Design	2
		Maintenance Engineering	2
		Structural Analysis in Civil Engineering	2
(i) an		Transport Planning	2
ig g		Urban Design	2
e bje		Prevention of Natural Disasters I	2
Subjects / Course	Elective	Environmental Disaster Prevention Engineering II	2
ωíO		Advanced Fluid Dynamics	2
민		Civil Mathematical Planning	2
		Infrastructure Planning	2
		Information Technology and Systems	2
		Introduction to Civil Engineering	2
		Environmental Ethics and Management	<u>-</u>
		Environmental Ethics and Management	

ME Course...Mechanical Engineering Course

EC Course ··· Electrical and Computer Engineering Course

MS Course···Electro-Mechanical Systems Engineering Course

CV Course...Civil Engineering Course

- Advanced Course in Electronics, Information and Communication Engineering (Takuma Campus)

We provide a consistent curriculum from the associate degree course into the bachelor's degree course. The curriculum subjects consist of " liberal Arts ", " Engineering Basics " and " Field Specialized ".

Courses to enhance specialization in the fields of electronics, information, and communications are aligned to make it possible for studies to continue from the corresponding associate degree course. The course covers all fields of electrical and electronics engineering such as electrical and electronic information communication for the purpose of broadening students expertise.

Thesis research, special research, experiments and exercises are paramount for the program. In thesis research, the chance to research with supervisors collaborating with faculty at university is established. Joint research with local industry to contribute to regional industrial development are also prepared for students. In special research and experiments, students form groups to collaborate with students from the different fields and utilize the specialized knowledge and skills acquired by each individual to develop systems.

We cultivate practical and creative engineers who have a wide range of perspectives that can acquire complex knowledge and advanced skills in specialized fields with multidisciplinary capacity. Furthermore, our students also acquire advanced communication skills, self-sufficiency, high trouble shooting and problem solving capabilities throughout these studies.

○Curriculum

Cl	assification	Subject	Credits
ε ο ·		Communicative English I	2
iberal Arts	Compulsory	Communicative English II	2
ä	Elective	Advanced Japanese Literature	2
.ല	Compulsory	Engineer Ethics	2
Bas	Elective	Advanced Physical Science	2
20		Topics Applied Mathematics	2
Engineering Basic		Intellectual Property	2
		English for Engineers	2
		Engineering Mathematics	2

Classification			Credits
	Compulsory	Thesis Research I	6
		Thesis Research II	4
	Compaisory	Experiments and Exercise I	4
		Experiments and Exercise II	6
		Quantum Mechanics	
		Introduction to Information Technology	2
		Digital Signal Processing	2
		Applied Electromagnetics	2
		Graph Theory	
		Information Networks	
ស		Specialized Electronic Circuits	2
Common Special Subjects		Industrial Instrument Engineering	
jg		System Control Engineering	
S		Algorithms and Data Structures	
ë.		Multi-Media Engineering	2
8		Image Processing	
S	Elective	Special Lectures	
Ę.		Communication Engineering	2
Ē		Radio and Light Wave Engineering	
ပိ		Optical Communications	
		Specialized Radio Engineering	
		Applied Solid State Physics	
		Integrated Electronics	2
		Digital Control Engineering	
		Object Oriented Programming	2
		Applied Network Programming	2
		Database Design	2
		Internship I	1
		Internship I	2
		Internship II	4
		Internship IV	6



Stockholm International Youth Science Seminar, SIYSS (Image provided courtesy of the Japan Prize Foundation



The world congress of Imagin Cup 2015 at Microsoft Corporate headquarters. (Image provided courtesy of Microsoft Corp.)



An international conference MJIC2020

International Affairs

♦ Academic Exchange Agreement with Overseas Institutions

University / Faculty	Country / Region	Since
Dongyang Mirae University (DMU)	South Korea	Aug. 2005
Danang University of Technology (DUT)	Vietnam	Jun. 2009
Cheng Shiu University (CSU)	Taiwan (R.O.C.)	Dec. 2009
College of Engineering, Seoul National University (SNU)	South Korea	Jun. 2010
Universiti Teknologi MARA (UiTM)	Malaysia	Aug. 2010
Christchurch Polytechnic Institute of Technology (CPIT)	New Zealand	Jun. 2012
University of Caen Basse-Normandie	France	Jul. 2013
Rajamangala University of Technology Thanyaburi (RMUTT)	Thailand	Aug. 2014
Thai-Nichi Institute of Technology (TNI)	Thailand	Mar. 2015
Universite Francois-Rabelais Tours (UFRT)	France	Dec. 2015
Universiti Sains Malaysia (USM)	Malaysia	Jul. 2018
Dalian Neusoft University of Information (DNUI)	China	Dec. 2018
National Cheng Kung University (NCKU)	Taiwan (R.O.C.)	Mar. 2021

♦ Organization of International Symposiums/Seminar (2015-2021)

- "International Symposium on Geo-Environment Engineering (GEE)," May 2015, May 2016 and May 2018
- "International Civil and Infrastructure Engineering Conference (InCIEC)," Shah Alam, Malaysia, Sep. 2015.
- "Eco-Energy and Materials Sciences and Engineering Symposium", Dec. 2016, and April 2018
- 🔷 "International Conference on Nanoscience & Nanotechnology" Feb. 2014-2018, Mar. 2019 and April 2021
- "International Seminar on Electronics Engineering and NANO Technology", Mar. 2017
- "International Conference on Creativity, Inovation, and Invention on Digital Technology(CIIDT)", Dec 2018
- ♦ "NIT-NUU Bilateral Academic Conference.", Sep. 2019, and Sep. 2021

♦ International Exchange and Academic Activities by Faculties and Students (2015-2021)

- ♦ International internship at local offices of Japanese firms; in Thailand (2015), Hong Kong (2016), Vietnam(2015) Malaysia(2015, 2016 and 2017).
- "Engineering Class in English" by Visiting Professors from overseas; Takamatsu Campus (Dec. 2017) and Takuma Campus (Jan. 2018).
- Global Engineer Training Program: to UiTM (Mar. 2015), to UiTM (Mar. 2016), to UFRT (Sep. to Dec. 2016), to UiTM (Mar. 2017), to RMUTT (Mar. 2017), to UiTM (Mar. 2018), to UFRT (Oct. to Dec. 2018), and to RMUTT (Sep. 2019), and to UiTM (Mar.2020), and to UFRT (Mar.2020)
- ♦ Global Engineer Training Program: from RMUTT (Apr. 2015), from UFRT (Apr. to Jun. 2016), from UiTM (Mar. 2017), from UFRT (Apr. to Jun 2018), from RMUTT (May. to Jun./Jul. 2018), and from UFRT (Apr. to Jun. 2019), from RMUTT (May. to Jul. / May. to Aug. / Jun. to Aug. 2019, Nov. 2019 to Jan. 2020)

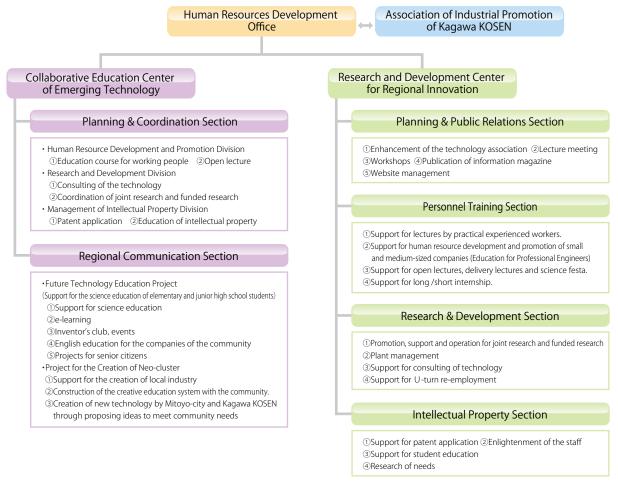
♦ International Students at NITKC

■Number of International Students Entering Mid-course/Advanced course of NITKC in Each School Year

Country School Year	Bangladesh	Brazil	Cambodia	China	Colombia	India	Indonesia	Kenya	Korea	Lao PDR	Malaysia	Mongolia	Philippines	Sri Lanka	Thailand	Uganda	Viet Nam	Pakistan	Madagascar	Total
2022							1				1									2
2021									(1)	1	1									3
2020												1								1
2019											2	1			(1)				1	5
2018												3								3
2017											2	2			1					5
2016											4	1			1					6
2015									(2)	1		1						1		5
1985~2014	7	1	4	5	1	1	13	1	2	8	72	6	9	7	10	2	11			160
Total	7	1	4	5	1	1	14	1	5	10	82	15	9	7	13	2	11	1	1	190

Human Resources Development Office

◇Organization Chart of Human Resources Development Office



♦ Activities of Academic-industrial Alliance

■ Association of Industrial Promotion of Kagawa KOSEN

Established on 28 August, 2009.

Purpose:

We utilize our knowledge, materials and human resources. We would like to develop the local industries and enhance the partnership with them, through the many operations such as exchanging technologies and information. We would like to contribute to the promotion of the education and research in Kagawa KOSEN

Description of business:

Promotion of technology development by the academic-industrial alliance. Development of local industries. Lecture meeting about technologies, lecture class, Workshop, Publish the information report, Consulting on technologies, Exchange information, Support for education of company workers, Promotion support projects of cooperative research, Internship, Recruiting fairs, Collaborative education, Promotion of education and research of Kagawa KOSEN etc.

■ Shikoku KOSEN Center for Innovative Technologies

Purpose:

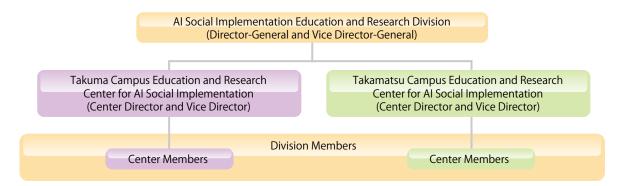
Anan, Kagawa, Niihama, Yuge and Kouchi KOSENs utilize the potentials of the colleges and aspects of the Shikoku-area, and spread out the activities of the academic-industrial alliance to contribute to the stimulation and promotion of the local area.

Business outline:

- Department of the creation of innovation
 Matching between the needs and the technology seeds of KOSENs in Shikoku-area. Consulting the technologies. Activities of academic-industrial alliance such as joint research.
- 2. Department of the Intellectual Property
 - Management and education of Intellectual Property in coalition for KOSENs in Shikoku-area.
- 3 . Department of coalition for KOSENs in Shikoku-area.
 Other activities to achieve the purpose of the center.

Al Social Implementation Education and Research Division

♦ AI Social Implementation Education and Research Division Organization Chart



Since the conclusion of an agreement of cooperation between the Matsuo Laboratory at the University of Tokyo (Mitoyo, Kagawa) and the National Institute of Technology Kagawa College (NITKC) on August 30, 2018, NITKC has been actively promoting development and social implementation of AI through Deep Learning Methods

April 1, 2020, the NITKC AI Social Implementation Education Research Division was established to foster creative ideas amongst all the National Institute of Technology college students and researchers who conduct basic and applied research with Al; through the practice of social implementation, joint research with regional companies, and by human resource development, participants will have the power to implement their ideas in society.

The division will actively provide educational programs about Al and its underlying data science courses to all the students of the National Institute of Technology colleges by using the educational and research resources of the University of Tokyo's Matsuo Laboratory and NITKC's research achievements.



Conclusion of the Agreement of Cooperation between Mitoyo Matsuo Laboratory of the University of Tokyo and NITKC (August 2018, Mitoyo City Hall)

The NITKC AI Social Implementation Education and Research Division will promote education through the following activities:

- (1) Research Development for AI student researchers.
- (2) Community Education (social implementation) in cooperation with local areas.
- (3) Accessible Lectures (visiting and remote) related to human resource development in AI technology
- (4) Regional Cooperation with the Mitoyo Al Social Promotion Organization (MAiZM)*

The NITKC AI Social Implementation Education and Research Division will establish the "Takuma Campus Education and Research Center for AI Social Implementation" and the "Takamatsu Campus Education and Research Center for Al Social Implementation" to promote Al education and social implementation on each campus.

*The Mitoyo Al Social Promotion Organization (MAiZM) https://www.maizm.or.jp/

On April 1, 2019, MAiZM was established in cooperation with Prof. Yutaka Matsuo from the University of Tokyo and with NITKC. The organization will be actively promoting AI(DL) education for NIT students and AI(DL) applications.

Al Social Implementation Education	Director-General	MISAKI, Yukinori (Professor, Department of Electronic Systems Engineering)
and Research Division	Vice Director-General	TOKUNAGA, Hidekazu (Professor, Department of Electro-Mechanical Systems Engineering)
Takuma Campus Education and Research	Center Director	MISAKI, Yukinori (Professor, Department of Electronic Systems Engineering)
Center for Al Social Implementation	Center Vice Director	KANAZAWA, Keizo (Professor, Department of Information Engineering)
Takamatsu Campus Education and Research	Center Director	TOKUNAGA, Hidekazu (Professor, Department of Electro-Mechanical Systems Engineering)
Center for Al Social Implementation	Center Vice Director	MURAKAMI, Yukikazu (Associate Professor, Department of Electrical and Computer Engineering)

Infrastructure Maintenance Educational Center

Infrastructure Maintenance Educational Center at Kagawa Kosen (iMec Kagawa) was established on April 1, 2020. It was aimed to carry out recurrent education and to develop human resources on maintenance and management of civil infrastructure using the education research resources at Kagawa Kosen.



The deterioration of civil infrastructure such as roads and bridges has become social issues, and it is necessary to develop engineers for maintenance. iMec Kagawa offers practical education which combines e-learning and lecture-style courses on maintenance, skill training courses on damage inspections and non-destructive tests and experience-based learning courses using educational materials from actual deteriorated bridges. These educations are offered to students, local government officials and private-sector engineers. Those who have completed the prescribed course will be given qualifications such as the bridge inspection engineer registered with the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. 'The development of KOSEN-type academic-industrial cooperation for infrastructure maintenance human resource development' has been adopted by 'Sustainable industry-academia joint human resource development system construction project' supported by the MEXT (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology) from FY 2019. Kagawa Kosen builds the basis for the recurrent education in community in collaboration with Maizuru Kosen, Fukushima Kosen, Nagaoka Kosen, and Fukui Konsen.

Organizational chart

(Central core for the recurrent education) Maizuru Kosen

(Basis for the recurrent education)

Fukushima Kosen

Nagaoka Kosen Fukui Kosen

Kagawa Kosen

iMec Kagawa Vice Director

Director

Members

Facilities

Following structural members collected from actual deteriorated bridges were placed in practical training facility for infrastructures.



Overview of the space



einforced concrete slab



Reinforced concrete girder



Steel rivet girder



Steel truss bridge and supports



Non-destructive inspection by electromagnetic wave radar

♦Staffs

·	
Director	HAYASHI, Kazuhiko (Associate Professor, Civil Engineering Department)
Vice director	IRIE, Masaki (Program-Specific Teacher)
Mombare	HASEGAWA, Yuki (Senior Lecturer, Civil Engineering Department)
Wellibers	MATSUMOTO, Masayuki (Assistant Professor, Civil Engineering Department)

Research

\Diamond Grants-in-Aid for Scientific Research

A feasibility study on introduction of stock-management system to irrigation facilities in Vietnam

Audio Augmented Reality and Extension of Audio Communication Ability Based on Small Data Machine Learning Theory

Utilize and Characterize human skill for Sports-coaching.

Mechanistic Study and Development of Catalytic Palladium Enolate Umpolung Reactions

 $Elucidation \ of \ the \ effect \ of \ adding \ trace \ amounts \ of \ oxygen \ in \ decomposition \ of \ polymers \ using \ hydrogen \ radicals$

Study on a fishway design suitable for the upstream migration for reproduction of the endangered loach (Parabotia curtus) in paddy field areas

Identification of missing data mechanisms peculiar to software development data

Research on Interview Dialogue to obtain User's good points by Conversation Robot

Development of a Bunraku Robot which can be Operated by One Person

Development of Zero Liquid and Waste Discharge Treatment for Dye Factory Wastewater by Biological and Coagulation Process.

Piezo Resistance Effect of p-type Germanium

Development of an affective monitor system for evaluating Web class students

Heart rate monitoring system attaching to finger nail: experiments in daily life environment

Determining the inflationary particle content through the cosmological collider physics

A study of signal processing of hammering inspection test with deep learning

Unification of Deep Learning and Generalized Mathematical Model for Independence-Based Audio Source Separation

Study on Improving the Seismic Performance of Transmission Tower Based on Additional Damping by Using the Control Device for the Earthquake

Development of high durable reinforcing method of old embankment for heavy rainfall and earthquake

Estimation of the quantitative effect of sea cultivation aimed at dissapearnce of nutritional insuffiency at shallow water area

A Study of children mobility from the perspective of Children Independent Mobility (CIM) and traffic safety

Development of Co-operative Robot for Flexible Manufacturing System Satisfying both High-productivity and Safety

Experimental study for the general use of silicate-based surface penetrants

Comprehensive research on the application of microsatellite to bachelor's degree education and the development of its evaluation method

A Study on the Creation of Novel Expressions under Wartime Censorship: Focusing on Osamu Dazai

Moduli of representations and related topics (4)

Dark matter search using the cosmic microwave background

Research on High-reliable Cooperative Operation for Multiple-Mobile-Robot System using Blockchain and Distributed learning

Research on BMI operation screen that can control autonomous wheelchair more freely

A generalization of the Monge-Ampere equation to almost complex geometry and its new potential applications

Computing an arbitrary singular value of a large tensor sum

Improvement of STEAM teaching material production method that changes color depending on temperature for practical use in elementary schools

8 another research study, Number of Research Studies 39, Total Funds 25,270,700Yen

>Commissioned Research

Long-term pulsewave sensing based on micro-strain of fingernails

A Collaboration Project between Mitoyo City and The National Institute of Technology, Kagawa College

In stall at ion test of a portable fishway for the upstream migration of Oncorhynchus keta and Oncorhynchus gorbuscha

Demonstration of technology for collecting mountain and offshore disaster prevention data using 2U CubeSat equipped with LPWA (LoRa) module

Development of Renewable Storage Energy System using New Lead-Acid Battery

Number of Research Studies 5, Total Funds 9,757,400Yen

\Diamond Cooperative Research with Private Sector

Development of High-Performance Lead-Acid Batteries

Development of New Lead-Acid Batteries

Extraction Technology of Metal from Abandoned Coated Wires

Formation of fine structure by atmospheric pressure plasma and examination of oil and water repellency

Feasibility of industrial methane production in the subsurface environment via microbial activities

On Share Cyber Security Information

Bleeding sound reduction for music signals applicable in underdetermined situation

Study on development of wireless river monitoring system

Development of semi-solid slurry generator

Vital sensors attached to fingernail surface

Study on durability life prediction method of cable conductor/shield wire for moving parts.

A basic study of car stop bollard made by precast concrete based on analysis of experimental data of laboratory tests

Development of a monitoring system for seniors and infants using highly sensitive respiration sensors - For the purposes of overnight and home care monitoring for new coronavirus infection (COVID-19)

Development of an Al-powered fruit and vegetable sorting machine

The development of the convenient device system for water use and disaster mitigation including lowering the water level in the small and middle scale irrigation ponds

Research on image processing techniques using deep learning Research on improving the accuracy of various sensors using Al

Study of Fluorine Treatment Technology 8 another research studies, Number of Research Studies 26, Total Funds 7,977,000Yen

Other Competitive Funds and Grants

Wearable sensors without skin-contact: development of the sensor element to detect micro-strain of fingernails

Development of a portable fishway system applicable to weirs

The analysis of operational issue of stay-type evacuation shelter during COVID-19 spread $\,$

Analysis of Relative Characteristics for Multiple Musical Instruments Based on Matrix Decomposition Theory and Deep Learning

Experiment and Verification on Data Storage System using LSTM for Inheritance of Excellent Technician's Skills (Spinning Process)

Disaster prevention of houses near the pond's dike and visualization by AI technology

Position Sensor-less Control of IPMSM with High Load Torque Capacity Under Tuning-less Condition

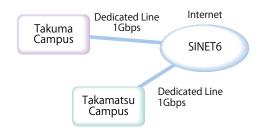
4 another research studies, Number of Research Studies 11, Total Funds 19,981,200 Yen

Facilities

○Networking and Computing Service Center

■ Network Infrastructure

Each campus has a dedicated connection with 1Gbps to the Science Information NETwork (SINET).



Network Between Two Campuses and SINET6

■Computing Service

Takamatsu Campus

Automatically-recoverable computers are installed in the facilities and are used for education on computer literacy and academic research. 47 client computers for the first training room; 50 client computers for the second training room; 18 client computers for the third training room; and 54 client computers for the multimedia room.



Takamatsu Campus Second Training Room

OTakuma Campus

Automatically-recoverable computers are installed in Second Seminar Room, Cyber Lab, Advanced Information Lab, and Multimedia Learning Lab, and are used for education on computer literacy and academic research. All of the students can take advantage of the Internet using e-mail and WWW.



Takuma Campus Second Seminar Room

♦ Human Resources Development Office

This office consists of the Collaborative Education Center of Emerging Technology and the Cooperative Research & Development Center. Each center has many laboratories and a lot of equipment. These are used for students' experiment programs, the experiments for the graduation thesis of the associate degree, the cooperative research, and the commissioned research. The equipment is as follows: RF magnetron sputtering system; Plasma CVD; Vacuum evaporation system; Electron beam lithography system; X-ray diffraction system for thin-film crystalline analysis; Scanning electron microscope; Surface profiler; General-purpose FEM analyzer; X-ray fluorescence spectrometer; X-ray diffractometer; Scanning probe microscope; Ellipsometer; Absorption spectrophotometer; Scratching tester.



Scanning Electron Microscope



Digital Microscope

Students

■Number of Students

○Department

	Classification	Admission			Total			
	Classification	Capacity	1st	2nd	3rd	4th	5th	TULAI
	Department of Mechanical Engineering	40	42(1)	39(2)	39(4)	48(1)	42	210(8)
,,	Department of Electrical and Computer Engineering	40	42(3)	44(4)	47(6)	39(6)	37(4)	209(23)
l ts	Department of Electro-Mechanical Systems Engineering	40	43(1)	44(2)	39(4)[1]	43(1)[1]	37(4)	206(12)[2]
l e	Department of Civil Engineering	40	42(10)	41 (12)	40(1)[1]	43(9)	42(8)[1]	208(40)[2]
l t	Department of Communication Network Engineering	40	42(11)	36(8)	38(8)	43(11)[1]	34(6)	193(44)[1]
eb	Department of Electronic Systems Engineering	40	42(1)	43(4)	45(5)	38(6)	34(7)	202(23)
	Department of Information Engineering	40	42(5)	45(14)	42(8)	42(9)	40(4)	211 (40)
	Total	280	295(32)	292(46)	290(36)[2]	296(43)[2]	266(33)[1]	1,439(190)[5]

\rightarrow Faculty of Advanced Engineering

	Classification	Admission	Enrolln	Total		
	Classification	Capacity	1st	2nd	Tutai	
Se	Advanced Course in Industrial and Systems Engineering	24	31 (4)	30(2)	61 (6)	
5	Advanced Course in Electronics,Information and Communication Engineering	18	19(1)	19(5)[1]	38(6)[1]	
ပိ	Total	42	50(5)	49(7)[1]	99(12)[1]	

] Overseas Students As of May. 1, 2022

■Clubs and Associations of People Sharing Common Interests

♦Sports Clubs

Baseball Club Swimming Club Track & Field Club Tennis Club Table Tennis Club Soccer Club Judo Club Softball Tennis Club Kendo Club Badminton Club Yacht Club Handball Club Volleyball Club Shorinji-Kenpo Club

♦Societies

Basketball Club

Calligraphy Society Painting Society Cheer Team Photograph Society Literature Society SPOT Society

○Cultural Clubs

Future Car Club Photography Club Brass Band Club Chorus Club English Club Sado & Kado Club Light Music Club Radiotelegraphy Club Computer Club Shogi Club Original Comics Club Painting Club Mechanical System Club Go & Shogi Club Science Club Space Development Research Club

Dormitories

Seiun-ryo (Takamatsu Campus)

Takamatsu Campus has accommodations for students called Seiun-ryo, which consists of three buildings: South Dormitory, North Dormitory and West Dormitory. Male boarders stay at North and South Dormitory and female boarders use West Dormitory

- South Dormitory 4-story building 57 private rooms(9m), 2 private rooms(13.5m), 1 shared room with 2 beds etc(24m), 1 shared room with 2 beds etc(24m),
- North Dormitory 3-story building 29 private rooms(11m²), 1 private rooms(15m²), 24 shared room with 2 beds etc(15m²)
- West Dormitory 3-story building 23 private rooms(10m²), 8 shared room with 2 beds etc(15m²)
- Common rooms a-study room, a seminar room to study Japanese, lounges with a kitchenette, laundry room, bath room and a cafeteria

♦ Number of Dormitory Students

School Year	1st	2nd	3rd	4th	5th	Faculty of Advanced Engineering	total
No. of Dorm studs	34(4)	30(6)	29(4) (2)	26(3) (1)	12(0) (1)	0(0)	131 (17) (4)



As of May 1, 2022





South Dormitory

■ Shippo-ryo • Shiun-ryo (Takuma Campus)

Takuma Campus has two block sets of dormitory buildings, one of which is "Shippo-ryo" and the other is "Shiun-ryo". The dormitory accommodations consist of three buildings, which are called Second, Third and Fourth Block. Presently, male students stay at Second and Third Block in Shippo-ryo, while female students use Fourth Block in Shiun-ryo.

- Dormitory 2: 4-story building 26 private rooms(13.5m²), 9 shared room with 2beds etc(27m²) Shippo-ryo (Takuma Campus) Dormitory 3: 5-story building 46 private rooms(9㎡), 69 shared room with 2 beds etc(18㎡) Shiun-ryo (Takuma Campus)

 Dormitory 4: 5-story building 12 private rooms(9㎡), 38 shared room with 2 beds etc(18㎡)
- Common rooms Study hall, a computer room, Lounge, lounges with a kitchenette, laundry room, bath room and a cafeteria

School Year	1st	2nd	3rd	4th	5th	Faculty of Advanced Engineering	total
No. of Dorm studs	46(5)	54(9)	42(7)	35(7)(1)	22(3)	7(0) (1)	206(31) (2)

(): Number of Female Students within Total, < > Number of Overseas Students within Total

As of May 1, 2022







Cafeteria

After Graduation

■ Employment or Academic Situation

As of Aplil. 1, 2022

♦Takamatsu Campus

	Classification	Number of Graduates		Number of Employed	Number of the Other	Job Offered Companies
nts	Department of Mechanical Engineering	36	8	27	1	
me.	Department of Electrical and Computer Engineering	40	22	18	0	
epart	Department of Electro-Mechanical Systems Engineering	30	10	19	1	830
De	Department of Civil Engineering	37	17	18	2	
	Total	143	57	82	4	
Course	Advanced Course in Industrial and Systems Engineering	36	4	32	0	

	Classification	Number of Graduates	Number of the Students who Further their Education	Number of Employed	Number of the Other	Job Offered Companies
ants	Department of Communication Network Engineering	34	7	27	0	
Departments	Department of Electronic Systems Engineering	40	14	25	1	549
Dep	Department of Information Engineering	38	24	10	4	549
	Total	112	45	62	5	
Course	Advanced Course in Electronics, Information and Communication Engineering	20	4	15	1	

Campus Map

- Takamatsu Campus



- Administration and Department of General Education
 Department of General Education
 Department of Mechanical Engineering
 Machine Shop

- Department of Electrical and Computer Engineering
 Department of Electro-Mechanical Systems Engineering
- Department of Civil Engineering and Lecture Rooms
- Advanced Course
- Networking and Computing Service Center
 Research and Development Center for Regional Innovation

- Budo-jyo(Gymnasium for Martial Arts)
 Training Room for Sports
- 16 Multi-purpose Space
 - Meeting Place for the Staff

 - Clubrooms()
 Clubrooms()
 Wind Tunnel Laboratory
 Jikyo-kaikan(Welfare Facilities)
 - Wakei-kan(Site of a Training Camp)

 - Seiun-ryo(North Dormitory)Seiun-ryo(South Dormitory)

 - Seiun-ryo(West Dormitory)
 Seiun-ryo(Dining Hall of Dormitory)
 Swimming Pool
 Athletic Field
 Handball Court

 - 30 Baseball Field Tennis Courts

 - Tennis Court
 Practical training facility for infrastructures

- Takuma Campus

- Administration Building
 Faculty Building 1
- 3 Faculty Building2
 4 Faculty Building3
- 5 Multimedia Building 6 Advanced Course Building
- Lecture Building 1
- 8 Lecture Building2
- Library·Student·Affairs·Career·Support·Nurse Station
 Dormitory Administration
- Shippo-ryo@(Dormitory)
- Shippo-ryo③(Dormitory)
- (B) Shiun-ryo(Dormitory)
- 14 East Dormitory
 15 West Dormitory
- 6 Boiler Room of Dormitory
 Warehouse for Dormitory

- warehouse for Dormitory
 Bathhouse for Dormitory
 Gymnasium
 Gymnasium2
 Martial Arts Gymnasium
 Reserve Student Building
- Warehouse for Physical Education
 Building for the Swimming Pool
- Student Commons Building
 Reserve Faculty Building
- 7 Museum of Technology Guard's Room Garage

- Mousing for the Staff
 Swimming Pool
- Baseball-Soccer Field
- 3 Athletic Field Tennis Courts

Accounting

◇Revenue and Expenditure (2021)

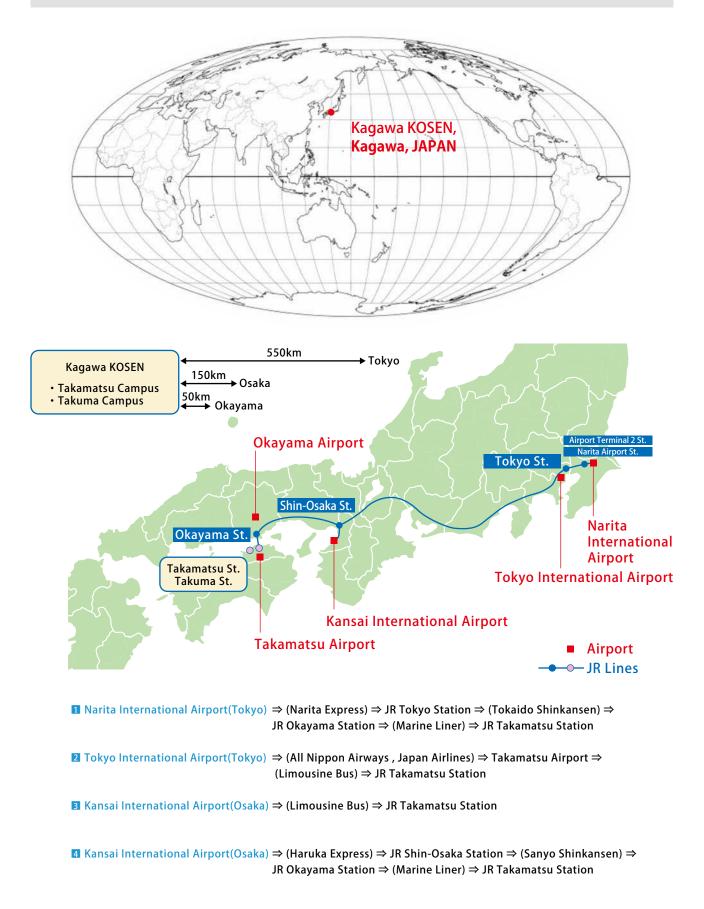
Revenue (a monetary unit: 1,000yen)

Grant for working Expenditure	94,721
Facilities Improvement Expenses	318,458
Self-Revenue	
Tuition and Entrance Examination Fee	393,131
Miscellaneous Revenue	4,878
Industry-University Cooperation Research Revenue and Donation	41,989
Other Subsidy	14,283
Total	867,460

Expenditure (a monetary unit: 1,000yen)

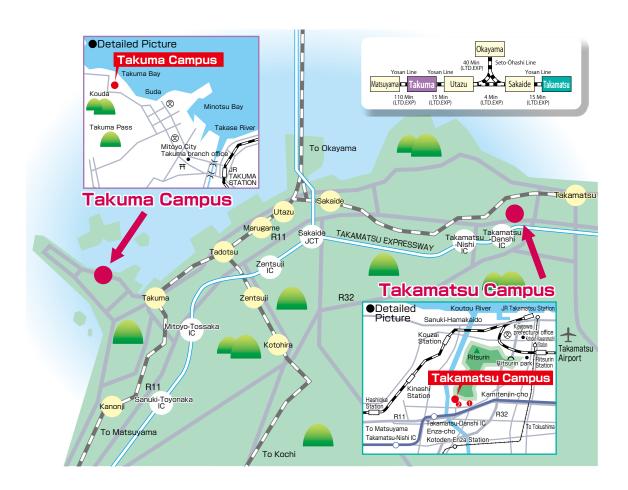
Educatioal Research Expenses	450,593
General Administrative Expenses	51,706
Facilities Improvement Expenses	318,458
Industry-University Cooperation Research and Donation Project Expenses	25,882
Other Subsidy	13,239
Total	859,878

Access from International Airports to Kagawa KOSEN



Direct access from Takamatsu Airport or JR Takamatsu Station to NITKC is only 20 minutes by car.

Access Map



Takuma Campus

■From JR Takuma Station (Yosan Line)

20 minutes by car

Mitoyo City Community Bus for Nabuto on Takuma line /for Ohama on Takuma-Mino line

→ 1 minute walk from Kagawa KOSEN mae bus stop

■From Takamatsu Expressway IC

20 minutes by car from Mitoyo-Tossaka IC 30 minutes by car from Sanuki-Toyonaka IC

■From Takamatsu Airport

60 minutes by car

551 Kohda, Takuma-cho, Mitoyo, Kagawa 769-1192 Japan +81-875-83-8506

Takamatsu Campus

■From JR Takamatsu Station

30 minutes by car

Kotoden Bus(No.5 bus stop) for Ritsurin Garden, Mimaya-Prefecture Swimming Pool → 1 minutes walk from Kagawa Kosen mae bus stop 2

25 minutes by car

Kotoden Bus(No.5 bus stop) for Yusa-Iwasaki, Yusa-Ikenishi or Ikenishi-Konanrakuyu→ 10 minutes walk from Koyama bus stop 1

■From Takamatsu Expressway IC

7 minutes by car from Takamatsu-Nishi IC 5 minutes by car from Takamatsu-Danshi IC

From Takamatsu Airport

20 minutes by car

Address -

355 Chokushi-cho, Takamatsu, Kagawa 761-8058 Japan

+81-87-869-3811



National Institute of Technology, Kagawa College [Kagawa KOSEN]

355 Chokushi-cho, Takamatsu, Kagawa 761-8058 Japan TEL +81-87-869-3811

Takamatsu Campus 355 Chokushi-cho, Takamatsu, Kagawa 761-8058 Japan TEL +81-87-869-3811

551 Kohda, Takuma-cho, Mitoyo, Kagawa 769-1192 Japan TEL +81-875-83-8506 Takuma Campus

				カ州4年1	.,			
香川県対策レベル	(1)感染予防対策期	(2)感染警戒対策期	(3)感染拡大防止対策期	(4)緊急事態対策期	(5)非常事態対策期			
本校の対応	国の分類:レベル〇	国の分類:レベル1	国の分類:レベル2	国の分類:レベル3	国の分類:レベル4			
授業		空防止対策を講じたうえで、Microsoft365の授い、登校に強い不安を感じる学生は、学務課・学	業補助機能等も有効に活用しながら面接授業(*)を 生課に相談	E E実施				
	〇屋外でのマスク着用は原則不要(人との距離(めやす2m)が保てず会話をする場合は着用すること)、屋内ではマスク着用(距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合を除く)		〇校内では必ずマスク着用					
○事前に健康状態の確認(検温等) ○適宜玄関等に設置してあるアルコール消毒液での消毒 ○発熱や風邪症状等(呼吸困難、倦怠感、味覚障害等を含む)がある場合、濃厚接触者に特定された家族に発熱や風邪症状等がある場合は登校しない 登校再開後に「新型コロナウイルスに係る欠席届」を提出(5日を超えて休む場合は医師の診断書又は薬剤情報提供書等の添付が必要) 《登校再開及び学生寮へ帰寮について》 発熱や風邪症状等が見られた場合は、消退後24時間は登校を控える。また、学生寮への帰寮は、消退後48時間は帰寮を控える。								
課外活動	〇県内外での宿泊を伴う活動は十分に検討 【感染症対策チェック表(部活動宿泊編)】を参照のこと https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/33195/shukuhakucheck.pdf		〇県外高校等との練習試合は慎重に検討 〇県内外での宿泊を伴う活動は慎重に検討	○原則、県外高校等との交流(練習試合・合同練習等)は禁止 ○原則、県内外での宿泊を伴う活動は禁止	○原則、県外高校等との交流(練習試合・合同練習等)は禁止 ○県内の学校との練習試合を含めた交流は可(1日1校に限る)、昼食を挟む活動は認めない ○原則、県内外での宿泊を伴う活動は禁止			
	〇「まん延防止等重点措置区域」及び「緊急事態措置区域」との交流は禁止 〇公式大会への参加は可 〇帰県後14日間の行動記録							
学会参加 学外での研究活動	〇必要性、規模、活動場所、感染防止策が徹底されているか等を踏まえ参加の可否を十分に検討 〇参加を辞退することにより単位の取得等、学業に影響を与えるものについては、事前に学校の判断を仰ぐ							
就職活動	キャリアサポートセンター及び各学科長が行う相談・指導等に関する以下の参加等について、状況に応じて随時各々の指示に従う 〇採用活動に直結する個別企業説明会等:事前にメールでキャリアサポートセンターに連絡(担任等に連絡・相談) 〇多くの企業が参加する合同企業説明会、セミナー:参加の可否を十分に検討、事前にメールでキャリアサポートセンターに連絡(担任等に連絡・相談) 〇就職活動で県外へ行く場合:事前にメールでキャリアサポートセンターに連絡(担任等に連絡・相談)							
図書館		○通常開館(ページを参照)				
学生寮			場合のルールを設定 3.寮内での手洗い・手指消毒の徹底 4.寮内でのマスク常時着用の徹底 5.飛沫防止 パーティションの食堂テーブルへの設置 7.室内換気の徹底 8.隔離室の確保 9.共用スペース・用具の適切な消毒の徹底)					
日本国内での往来	①出張、帰省や旅行等、県外との往来は「三つの密」の回避等、基本的な感染防止対策を徹底②「緊急事態措置区域」及び「まん延防止等重点措置区域」への不要不急の移動は、自粛(ワクチン・検査パッケージ制度(VTP)の適用者または対象者全員検査の受検者を除く) ③発熱等症状がある場合は、県内外を問わず、出張、帰省や旅行等を控える							
	〇「まん延防止等重点措置区域」及び「緊急事態措置区域」に移動した場合は、帰県後14日間 の行動記録							
海外渡航	○外務省海外安全ホームページで①~③を確認し判断 https://www.anzen.mofa.go.jp(PC・スマートフォン版) http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp(モバイル版) ①感染症危険情報 レベル1:十分に注意 レベル2:不要不急の渡航は不可 レベル3以上:渡航不可 ②危険情報 レベル1:十分に注意 レベル2以上:渡航不可 ②危険情報 レベル1:十分に注意 レベル2以上:渡航不可 ③『新型コロナウイルスに係る日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国に際しての条件・行動制限措置』により渡航する国の最新の情報を十分に確認 ○事前に「海外渡航届」を必ず学校に提出 ※学生は学務課・学生課、教職員は総務係・庶務係 ○帰国した際は、速やかに学校に帰国の連絡をし(上記※)、14日間は体温を測るなど健康管理を行い、発熱等の風邪症状が見られる場合は速やかに学校に連絡(上記※)							
日常生活	〇「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染防止策の徹底 〇「かがわ安心飲食認証店」など感染対策が徹底された飲食店等を利用 〇会食の際には大声を出さないことや「マスク会食」、座席の確保、換気などの三密回避を徹底							
	〇屋外でのマスク着用は原則不要(人との距離 ること)、屋内ではマスク着用(距離が確保でき		○毎日起床時及び夕食後に体温測定し、体温と健康状態等を記録○外出時にはマスク着用○多人数での会食を控える○時短要請された時間以降は、飲食店等の利用を厳に控える					
			Į					

今回議事録の担当: 学務課

平成30年度 第3回国際交流室会議 議事次第

日時: 平成30年 8月 1日(木) 14:30 ~ 16:00

場所: 高松キャンパス・地域イノベーションセンター会議室, 詫間キャンパス・第二会議室

議題:

前回議事録の確認 (資料-0)

- 1) 中国・大連東軟信息学院との新規学術交流協定締結の検討(資料1-1)
- 2) 韓国・東洋未来大学との学術交流(資料1-2)
- 3) アクティビティ研修 in タイの実施要項(資料 1-3)
- 4) 夏季休暇中のバックアップ体制(資料1-4)
- 5) KOSEN4.0イニシアティブでの物品購入について(資料1-5)
- 6) その他

1. 審議事項

2. 実施報告・状況報告

2-1 総括・交流協定

1) マレーシア科学大学(USM)との包括的な学術交流協定(MOU)の締結(7/6)

2-2 国際学術交流推進

- 1) GET 受入プログラム(トゥール大学, RMUTT) の修了
- 2) 海外インターンシップ (8/6-15, RMUTT) (資料 2-2-2)
- 3) GET プログラム (トゥール大学) の状況

2-3 実践英語教育

1) ニュージーランド英語研修 (8/18-9/14) (資料 2-3-1)

2-4 グローバルキャリア教育

1) 低学年のキャリア概論

2-5 広報関係

1)

2-6 留学生支援

1)

2-7 その他

- 1) KOSEN4.0イニシアティブ (留意事項への回答) (資料2-7-1)
- 2) 第4ブロック英語合宿 (8/27-28, 休暇村讃岐五色台) (資料2-7-2)

3. 行事予定

- 1) 大連東軟信息学院 夏期短期留学プログラム(9/3-16, 大連)
- 2) ISATE2018 (9/18. 香港)
- 3) JSTS-ISTS2018(10/7, タイ)

次回開催予定 月 日() : ~ 於

以上

平成30年度 第2回国際交流室会議議事概要 (案)

日時:平成30年6月7日(木) 14:30~16:10

場所:高松キャンパス第二会議室, 詫間キャンパス第二会議室

出席者:(高松)

(詫間)

欠席者:

陪席者:(総務課)■

(学務課)

(学生課)

前回議事録の確認 (資料-0) 前回議事概要 (案) について

1. 審議事項

1) マレーシア科学大学(USM)との包括的な学術交流協定(MOU)の締結(7/6)(資料 1-1)

室長から、資料 1-1 に基づき、マレーシア科学大学(USM)との包括的な学術交流協定(MOU)の締結について説明があった。今後、具体的な取組を行う際には、費用負担等も含めた覚書(MOA)を締結して進める予定である旨併せて説明があり、審議の結果了承された。なお、調印式は7月6日の午前中に詫間キャンパスで行う予定であり、7月5日及び調印式後に講演会や発表会の開催を調整中であるとの説明があった。

2) 短期留学生受入時の危機管理マニュアル (資料 1-2)

室長から,短期留学生の事件等発生状況について報告があり, 学務課課長補佐から,資料 1-2 に基づき,特別聴講学生(短期留学生)の事件・事故発生時の対応に関するマニュアル及び緊急時連絡体制の案について説明があった。審議の結果,事件・事故発生時の緊急連絡先窓口は代表番号(勤務時間内:総務課,勤務時間外:警備員)に一本化することとし,その後の対応は国際交流室中心で行うこと,緊急時連絡体制図の下部の国際交流室の欄中,「指導教員」を「国際交流室」に修正することなど,今後必要な修正を施し,成案の策定に向け継続して検討することとした。

また,次年度に向け、短期留学生には氏名や顔写真,所属等及び本校の代表番号が記載された何らかの証明証を持たせることとし、その形式について引き続き検討することとなった。

3) 今年度の予算案 (資料1-3)

室長から,資料1-3に基づき,今年度の予算案が一律10%減となった旨説明があり,減額分を反映した予算案について審議の結果,了承された。

- 2. 実施報告·状況報告
- 2-1 総括・交流協定
 - 1)なし
- 2-2 国際学術交流推進
 - 1) GEE2018 への参加報告(5/25-26, 福岡大)(資料 2-2-1)
 - 室長から,資料 2-2-1 に基づき実施報告があった。
 - 2) トゥール大学からの教員の来校(6/18-19)(資料 2-2-2)
 - **室長から**, 資料 2-2-2 に基づき, トゥール大学からの教員の来校予定について報告があった。
 - 3) GET受入プログラム (トゥール大学、RMUTT) に関する情報共有(資料2-2-3)
 - 室長から、資料2-2-3に基づき、短期留学生のチューターに関する現状報告と提案があった。短期留学生へのチューティングに関し、明文化された申し合わせ等が必要であるため、

「短期留学生へのチューティングに関する制限について(案)」をブラッシュアップし,次回会議に諮ることとし、意見等あれば会議までに提出するよう依頼があった。

また、申し合わせ等が決定後、教職員の情報共有のため、サイボウズのファイル管理・国際 交流室の中にチューターに関するフォルダを作成して整理・保存することとなった。

4) GETプログラム派遣型 (第1次, 夏季休暇, RMUTT)

副室長から、口頭にて状況報告があった。現在ラジャマンガラ工科大学からの返事待ちであり、実施については未定である。

- 5) GETプログラム派遣型 (第2次, 夏季休暇, トゥール大学)
 - 副室長から、口頭にて状況報告があった。6月18日~19日のトゥール大学からの教員の来校時に具体的な交渉及び希望学生との面談を行い、今後、募集要項等を国際交流室会議に諮った後、6月下旬に募集、7月上旬に採択する予定である。
- 6) アクティビティ研修(夏季休暇, RMUTT)(資料2-2-6)
 - 副室長から、資料2-2-6に基づき、ラジャマンガラ工科大学におけるアクティビティ研修実施に向け調整中との報告があった。全学年対象で実施時期は9月以降を予定しているが、実施には10名以上の参加が必要である。今後、募集要項等を国際交流室会議に諮った後、6月下旬までに募集、7月上旬に参加者数を決定する予定である。
- 7) 海外インターンシップ (RMUTT) (資料2-2-7)

室員欠席のため 副室長から、資料2-2-7に基づき状況報告があった。

2-3 実践英語教育

1) ニュージーランド英語研修 (8/18-9/14) (資料2-3-1)

■室員から、資料2-3-1に基づき状況報告があった。また、次年度に向け、他校生の参加や 教員の負担軽減、単位認定も含め、検討・準備を進める旨併せて説明があった。

- 2-4 グローバルキャリア教育
 - 1) 低学年のキャリア概論

■■室長から、口頭にて状況報告があった。後期に学生による海外体験報告会を実施する 予定である。

2-5 広報関係

1) なし

2-6 留学生支援

1) 留学生見学旅行(6/24, 淡路島)(資料 2-6-1)

室員から、資料 2-6-1 に基づき、6月24日開催予定の留学生見学旅行について説明があった。また、留学生交流会を後期中間試験最終日の12月4日(火)に実施することとした。

なお、留学生の帰国時における入国審査において、牧場等への訪問や動物との接触の有無が調査項目となっている場合があり、今回の留学生の出身国であるフランス及びタイにおいては、調査対象外であることを確認した。

2-7 その他

- 1) 第4ブロックグローバル高専事業連絡会議の報告(5/29-30) (資料2-7-1)
 - 室長から、資料2-7-1に基づき、第4ブロックグローバル高専事業連絡会議の報告があった。
- 2) KOSEN4.0 イニシアティブ申請後のヒアリング(6/12)
 - 室長から、口頭にて KOSEN4.0 イニシアティブ申請後のヒアリングが6月12日に実施予定であり、国際交流室からは 室長と 副室長が出席予定である旨報告があった。なお、採否は7月上旬頃までに決定される見込みである。
- 3) 第4ブロック英語合宿 (8/27-28, 休暇村讃岐五色台) (資料 2-7-3)
 - 室長から、資料 2-7-3 に基づき、第4ブロック英語合宿への協力依頼があった。

4) 第1回学生による国際交流活動報告会(6/28 予定, 高松)

副室長より、口頭にて6月28日に高松キャンパスにおいて国際交流活動報告会を開催 予定であり、詳細は今後決定する旨説明があった。

3. 行事予定

- 1) 日台国際カンファレンス (7/21-22, 岡山)
- 2) ISATE2018 (9/18, 香港)
- 3) JSTS-ISTS2018(10/7, タイ)

室長から, 1)2)3)について, また, 12 月中旬に USM 主催の CIIDT が予定されている旨併せて周知があった。

次回開催予定 7月中

以上

中华人民共和国大连东软信息学院与日本香川高等专门学校 学术交流框架协议

展

	中华人民共和国大连东软信息学院与日本香	川高等专门学校	逐基于友好	互惠 相互发	展
Á	勺原则,为推动学术和教育交流,达成如下协	议。			
_,	两校同意在以下领域开展交流:				
	1、学生交流。				
	2、教师和研究人员交流。				
	3、学术信息和学术资料交流。				
	4、共同推进的科研项目及学术会议。				
	5、有助于推进两校交流合作的发展计划。				
_,	共同设立教育项目并推进两校交流。				
三、	本协议内容经两校协商可以延期、修订和终	止。			
四、	本协议自签订之日起生效,有效期为三年。				
五、	本协议书为双方合作框架协议,如涉及具体的	合作项目,由双	方协商签记	丁书面专项合	作
	协议。				
六、	本协议书分别用中文和日文写成,一式两份	,均具有同等效	力,双方	各保存一份。	
	大连东软信息学院 校长	日本香川	高等专门	学校 校长	
	温涛	000			
	2018年 月 日	2018 年	月	日	

日本香川高等専門学校と中華人民共和国大連東軟信息学院の 学術研究及び教育交流に関する協定書

日本国の香川高等専門学校と中華人民共和国の大連東軟信息学院,友好互恵,相互発展の原則に基づき,双方は、学術研究及び教育分野における交流を推進するために以下の通り協定する。

- 一、両校の学術交流範囲は、以下の通りである。
 - 1. 学生の交流
 - 2. 教員及び研究者の交流
 - 3. 学術資料及び学術情報交換
 - 4. 研究及び学術会議の推進
 - 5.その他、両校の交流協力を発展させる各種プログラムの展開
- 二、両校は、教育プログラム共同運営及び交流に関して相互協力する。
- 三、本協定書の内容は、両校の協議により、延長、変更、解約できるものとする。
- 四、本協定書は、署名日より効力を発生し、有効期間は3年とする。
- 五、本協定書の実施に関する詳細な事項は,双方が協議のうえ,書面の覚書をもって別 途定めるものとする。
- 六、本協定書は、日本語及び中国語により各2通作成し、Nずれも同等の効力を有する。 双方各1通を保持する。

香川高等専門学校 校長 〇〇〇 大連東軟信息学院 学長

2018年 月 日

2018年 月 日

平成 30 年 8 月 1 日

国際交流室

東洋未来大学校訪問実施要領 (案)

目 的:

韓国ソウル市にある東洋未来大学校(DMU)と香川高等専門学校(KNCT)との学術交流協定延長に関する意見交換、及び研究紹介等現状を相互に報告することにより教員及び学生の連携の強化と今後の交流行事に関する意見交換を行うことを目的とする。

概 要:

東洋未来大学(DMU)とは、2005年に国際学術交流協定を締結し、隔年で学生及び教員の派遣受入を継続して実施してきた。

これまで、DMU 訪問時は、韓国国際展示場:KINTEX (Korea International Exhibition Center、京畿道 高陽市 一山西区 大化洞)において、DMU 学生らとともに本校専攻科学生が DMU 学生を含む一般来場者及び DMU 幹部教員等に研究紹介を実施した。また受入時には、学会の協賛を受け、来訪学生と専攻科生全員及び教員らによる国際ワークショップ、International Joint Workshop on Technology ion Education and Educational Research の実施や、授業体験やお茶会、企業見学会など学生交流及び文化交流を行ってきた。

さらに、2015年には、本校で初めてとなる私費留学生を専攻科に2名受け入れた。その学生は、2017年3月に学位を修得し現在国内日本企業で働いている。この3月にこの報告をかね、DMUを訪問、旧知の教員方々と面談し、相互の現状確認を行った。

DMU では、4 月に学長が交代新体制になり、さらに 7 月に国際交流担当の教員が交替した。今回、新しい国際交流の責任者と直接面談し現状確認や国際交流協定についての意見交換や今後の種々の活動に関する意見交換を行う。さらに従来同様の学生交流を実施し、学生間の交流も深める。

訪問先:

東洋未来大学校

152-714 韓国ソウル特別市 九老区 高尺洞 445

期間:

平成 30 年 10 月 9 日 (火) ~12 日 (金) 3 泊 4 日 (仮)

参加者

教員: 電子システム工学科 他 2 名程度

学生:5名程度(専攻科学生)

その他:

学生は自己負担とする。

教職員の出張旅費は旅費規定に準じる。

平成30年度「アクティビティ研修inタイ」実施要項

1. 本プログラムの目的と目標

本研修では、協定校において現地の学生と協同しながら異国文化を体験することで、英語を用いたコミュニケーション能力の向上、ならびに異国文化の理解とともに自国日本の理解を深めることを目標としています。

2. 実施先

ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(タイ)

Rajamangala University of Technology Thanyaburi (RMUTT), Thailand

3. 実施期間

平成 30 年 9 月 2 日(日) ~ 9 月 13 日(木)

4. 実施内容とスケジュール

別紙 A のスケジュールの通り(RMUTT による提案)で実施する。なお、ホームワークとして、グループで活動状況をビデオ作成する。

なお、本校教員による往路の引率を予定していますが、全期間で常駐しません。ただし、現地学生 (Buddy)が参加学生のお世話をします。また、LINE グループに参加学生、現地学生、本校教員及び現地教員が参加して、常に状況を把握し、相談を受ける環境を構築します。また、RMUTT には日本人が教員として所属しており、日本語を話す現地教員もいます。

5. 参加者

別紙Bの通り。

6. 費用

日本からバンコクの空港(スワナンプーム国際空港)までの移動費については、近畿日本ツーリストより請求します。また、現地でのレッスン料・移動費・宿泊費(13,100 Baht = 約 46,000 円)を RMUTT が請求します。なお、10月上旬に本校の国際交流支援基金事業に申請する(申請締切:10月9日 (火))ことで、費用の一部が助成されます(申請人数などにより金額に変動あり)。

7. 出国前の提出等

参加申請した学生は、以下の書類を指定期限までに提出し、事前研修会に出席する。書類の提出期限は別途連絡する。

- (1) パスポートのコピーを提出する。
- (2) 緊急時連絡先を提出する。
- (3) 海外旅行保険へ加入し、控え書のコピーを提出する。
- (4) 国際交流室が実施する事前研修会に出席する。

なお、上の提出がない場合や事前研修会に出席しなかった場合は、参加を取り消す場合があります。

8. 帰国後の報告等

参加学生は、本研修の一環として、帰国後に以下の報告等を行う。

- (1) 「アンケート用紙」に記入し、提出する。
- (2) 「他学生へのメッセージ」を記載して、提出する。
- (3) 学生による国際交流活動報告会や特別活動などで活動状況を報告する。
- (4) その他、文化および学術交流の推進活動への要請がある場合に積極的に参加する。
- 9. 提出先と問い合わせ先

高松キャンパス 学務係 087-869-3832 詫間キャンパス 教務係 0875-83-8516

○緊急時の連絡フロー

事件・事故 → 現地指導教員・本人 ⇒ 緊急連絡先 ⇒ 保護者

- ※ 派遣学生は現地指導教員や他学生と電話連絡できる状態にしておく。
- ※ 学生の事件・事故等の発生時には、本校緊急連絡先から本校緊急連絡網による連絡を行い、必要に応じて本校危機管理規則に基づき危機管理対策本部を設置し対応する。

本校緊急連絡先:

香川高専 国際交流室 室長 副室長 副室長 図 287-869-3832

学生課 教務係(国際交流担当) 0875-83-8516

休日・夜間 高松キャンパス (警備) 087-869-3811 詫間キャンパス (警備) 0875-83-8506

現地緊急連絡先:

ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 国際交流室 室長

/ E-mail:

Study Abroad Program in Thailand

National Institute of Technology, Kagawa College

Duration: 12 days (September 2-13, 2018)

9/2 11:45 (KIX) -> 15:35 (BKK), TG623

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
	27	28	29	30	31	1	2 Arrive RMUTT
am pm	3 -Welcoming Ceremony -Campus Tour *English Café (Culture)	4 -Thai Manner -Thai Culture *English Café	5 Excursion to Bangkok (Capital/City Tour) - Colden Palace - River Cruises	6 -Thai Language -Thai Boxing *English Café	7 -Product making from herb -Thai Spa lesson	8 -Photography trip in Ayuthaya -Dress in Thai Costume (optional)	9 Free Time or Selected Trip from (Waterfall, Beach, Floating Market, JJ Market)
am pm	10 -Thai Musical Instrument -Thai Dancing *English Café (Culture)	11 -Thai Language -Thai Craft/Handmade *English Café	12 -Final Presentation -Completion Ceremony *Certificate from RMUTT	13 Depart RMUTT	14	15	16

This program offers (in addition to the details above):

- Thai local buddy, who will take care of exchange student throughout the program
- Certificate of completion from RMUTT

Price: 13,100 Baht (approximately 46,000 yen) (for group of 10 students+)

19,900 Baht (approximately 70,000 yen) (for group of 5-8 students)

On Campus Hotel – Room for 2 students

(1 Baht = 3.5 JPY)

*This price includes:

- activities,
- lessons,
- excursions,
- transport listed in the schedule,

23:30 (BKK) -> 07:00(+1) (KIX), TG622

- accommodation for the duration in Thailand,
- camp t-shirt

^{**}This price <u>excludes</u> living cost – the living cost is approximately 100 Baht per day

^{**}The program can be adjusted accordingly weather and suitability – we will arrange a meet before arrival

学年	学科	氏名	性別	First name	Family name	Department of	year	Gender	Birth day
2	電気情報工学科		男			Electrical & Computer Eng	R2	M	
3	機械工学科		男			Mechanical Eng	R3	M	
3	機械工学科		男			Mechanical Eng	R3	M	
3	機械工学科		男			Mechanical Eng	R3	M	
3	建設環境工学科		女			Civil Eng	R3	F	
4	機械工学科		男			Mechanical Eng	R4	M	
4	機械工学科		男			Mechanical Eng	R4	M	
4	機械工学科		男			Mechanical Eng	R4	M	
4	電気情報工学科		男			Electrical & Computer Eng	R4	M	
1	創造工学専攻		女			Civil Eng	A1	F	

事前準備

- パスポート取得
- ・ 事前入力フォーム

服装

寺社や学内では,

- 長ズボン, 靴
 - × 短パン, スリッパ

また、上もタンクトップ等、露出が高い服装は控える。

持参物

- ・ パスポート,海外旅行保険保険証
- ・ ボールペン (入国カード記載時に必要,機内へ持ち込む)
- ・ 現地での滞在費(日本円を持参すれば現地空港で両替が可能,一日の滞在費目安は 300 バーツ(約 1000 円,土 産など+ α が必要な場合は追加で両替しておく))
- スポーツウェア (ムエタイレッスン用)
- ・ ドライヤー (現地で購入 or 2・3 台はレンタル可)
- ・ 石鹸、歯ブラシ等(現地でも購入可能)
- ・ タオル?
- ・ その他は国内旅行と同様
- ・ レッスン料の支払い方法

宿泊施設

寮: 4人/部屋(フラットタイプと寝室?,お湯は出ない)寝室のみにエアコン

ホテル : 2人/部屋(1ルーム,お湯のシャワーあり,朝食有)

から選択。寮の方が安い(値段)。配布資料に記載の金額はホテルを選択した場合。両方自転車で移動可能な距離。

移動手段

学内:自転車(無料のレンタルサイクル有, ofo アプリをインストール, チュートリアル有)

地図:キャンパスマップが配布される アクティビティ:学校所有のバス

自由時間:路線バス,鉄道など

通信

学内ではwifiが使用可能だが、学外でも誰かと連絡を取り合うためネットワークの確保は必須。選択肢としては、以下のようなものがある。

- ・ SIM を空港などで買う。SIM フリー端末が必須
- ・ Wifi ルータをレンタルする。

食事

昼食は, 主に学食(20-50 バーツ)

夕食は、学食が利用できないので、以下のようにする。

- → 学外で食べる
- → 21:00 まで、学内で営業しているコンビニで買う

飲料水

水道水は、現地の人も飲まない。必ずペットボトルに入った水を購入し、飲む(5 バーツ~) 店で出る飲料水でも、氷が入っているものは日本人には合わず食中毒の危険性がある。

洗濯

各自の部屋には洗濯機は無い、以下のようにする。

- 手で洗う
- ・ 学内のクリーニングを利用する (種類によって価格は違うが5バーツ/枚~)
- ・ 学外のコインランドリーを利用する

内容(台湾の学生への実施内容)

- English café:ゲームやコーヒーなど,
- 写真レッスン、アユタヤ
- ・ コンピュータクラス: Ic3 コンピュータ版 toiec
- ・ 日本文化を発表する、タイ文化を聞く
- ・ タイの楽器を練習, 踊りを練習
- ・ Thai medicine マッサージ等
- ・ ホームステイ (数日)
- Thai boxing (ムエタイ)
- 最後はタイ語で5分プレゼンテーション
- ・ バディは交代 (複数の学科を回るので)
- ・ Herbal ball:マッサージに使う,ハーブを包んだ
- ・ 日曜日には homework の提出(実施内容の動画)動画の作成方法

参加対象者

- ・ 教職員研修に利用も可
- ・ 保護者も可 (マッサージの資格取得が1週間,タイ料理など)

その他

- ・ Line グループには両親も参加可
- ・料金の一部を香川高専で負担することは可能か?→レシートを費目ごとに分割?
- ・ 電圧が 220V (アダプタを確認すること)
- ・ 病院が大学近くにある

講師の派遣 / 招致

派遣先以下のはどこでもいい

Faculty of science

Faculty of technical education

Faculty of Engineering

合計 9 時間程度 同じ内容で複数回でも可 Workshop でも可

実施内容をある程度決定して提示する。

8/3 説明会の内容

- 一般的なタイのルール
- ・ 寮か, ホテルか,
- ・ 食堂の使い方

	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8,
	海外	インタ	ーンシ	ノップ	(8/6-	-15)																				
													NZ英	語研修	(8/1	8-9/1	.4)									
																										Γ
																										Γ
																										Γ
																										Γ
																										r
																										r
																										r
-																										ŀ
																										H
																										F
																										L
	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	g / g	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	l			
			ティビ						3/3	3/10	3/11	3/12	3/13	3/ 14	3/13	3/10	3/11	3/10	3/13	3/20	3/21	3/ 22				

9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22
	アクラ	ティビ	ティの	F修in:	タイ(9/2-1	.3)														
NZ英	IZ英語研修(8/18-9/14)																				

経費積算書

高専番号	39	高専名	香川高等専門学校								
担当者名	総務課庶務係長		連絡先(tel)	0875-83-8506		e-mail					
事業名	協定校との連携によ										

平成30年度の事業に必要な経費について記載してください。					記載例 : 教材印刷	(単位:千円 It 000∓円
・平成30年度の事業に必要な経費について記載してください。 - 申請ができる経費は、事業計画の遂行に必要な経費であり、事業の目的を実現するための使 限定されます。	途に				: 酬金	OO#×@OOO用 OOO+用 OOO×@OOO用
経 費 区 分	単価	ı	金額	1	積算	備考
[物品費]	+ 144				5, 936	
D股備備品費	2, 882				4, 936	
・共同学習用機器 一式			0			
	724		2	=	1, 448	共同学習用PC、机・椅
・外国語案内板 一式	2,088		1	=	2, 088	2キャンパス
・タブレット端末	70	×	10	=	700	留学生・国際交流学生:
・講義支援システム 一式	700	×	1	=	700	アクティブラーニング機材、映像向力を
②消耗品費	300	^		-	1,000	
·招聘教授授業関係消耗品 一式	200	×	4	=	800	2キャンパス
・協定校との学生共同研究関係消耗品 一式	100		2	=	200	"
· · ·	100	×	-	_	200	-
[人件費·謝金]					3, 630	
D人件費	13				2, 590	
・英語担当教員 (外国人非常勤講師 1 名)	5	×	235	=	1, 175	
・中国語担当教員(外国人非常勤講師1名)	5	×	16	=	80	
・事務補佐員 1名	1	×	1, 098	=	1, 317	
· 事務補佐員通動手当 1名	2	×	9	=	18	
②謝金	205				1, 040	
・協定校からの招聘教員による授業実施	200	×	4	=	800	40
· 英語担当教員(外国人非常勤講師1名)	5	×	48	_	240	8時間/月×6
大品正二分天 (广西八万市新游中 1 3)	•	×	40	_	240	ONALINI/ YJ V O
[旅費]	1, 140	Ŷ		_	3, 440	
・協定校からの教員招聘(アジア圏)			2			2 ++ × 1 1 × 1 =
	250		3	=	750	3校×1人×1回
・協定予定校からの教員招聘(欧米圏)	500	×	1	=	500	1校×1人×1回
・新規協定締結・国際学会共同開催協議(アジア圏)	180		4	=	720	2校×2人×1回
・協定校との交流協議、授業実施及び学生引率(アジア圏)	180	×	8	=	1, 440	4校×2人×1回
・非常動講師交通費	30	×	1	=	30	
[その他]					1, 150	
D外注費						
•		×		=		
•		×		=		
•		×		=		
②印刷製本費	700				700	
・事業案内パンフレット	300	×	1	=	300	800部
・安全ガイド	100	×	1	=	100	100冊
・英語版要覧	300	×	1	=	300	300冊
3会議費						
•		×		=		
		×		=		
		×		=		
④通信運搬費	250				250	
・電話・データ通信料 一式	100	×	1	=	100	
・運送料 一式	100	×	1	=	100	
・郵送料 一式	50	×	1	=	50	
5光熱水料						
		×		=		
		×		=		
		×		=		
⑥その他(諸経費)	200				200	
・借上車経費(レンタカー、バス等) 一式	200	×	1	=	200	
・ 旧工学程具(レンテカー、ハヘザ/一式	200	×		_	200	
		×		=		
					i	1



EMERCENCY EMERGENCY EMERGE

【重要】緊急事態発生時は安否確認の連絡を!

地震やテロ、交通機関の事故など、海外渡航中に緊急事態が 発生した場合、影響の有無に関わらず速やかに下記まで安否 確認の連絡をしてください。

電 話:+81-836-31-6111 (宇部高専代表番号)

F A X:+81-836-35-4966

メール:kokusai@ube-k.ac.jp (宇部高専国際交流室)

基本的な注意事項

!目立つ服装は控える

控えめな服装で(制服である必要はない)。 肌をむやみに露出しない。

!高級品を身につけない

高級な財布や時計など、人目を引くものは持たない。

! 知らない人に話しかけられたら警戒する

特に空港や観光地などで日本語で話しかけてくる人には気をつける。

! 夜間の外出は控える

昼間は人通りが多い観光地でも、夜になると危険なことがある。



強盗・詐欺に遭わないためには?





! 不審な物は買わない、預からない







海外で体調を崩す要因



!気候の違い

日本との気候(季節)の違いを事前に調べ、渡航先の国にあった服装を準備しましょう。

!時差

時差により睡眠不足や体調不良になることがありますので、事前に旅先の時刻を意識した生活を送るなど心がけましょう。

!生水、生ものに注意

飲料水はペットボトルなどに入ったミネラルウォーターを飲むようにしましょう。

!食習慣の違い

適度な量の食事を心がけましょう。海外では一人前の量が日本より多い上、食べ慣れない食材で体調を崩すことがあります。

! 精神的ストレス

十分な睡眠と休養をとるように心がけましょう。 困ったことや悩み事がある場合は一人で悩まず周りに相談しましょう。

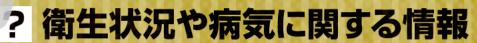


渡航先の情報収集①

インターネットやガイドブックなどを利用して、渡航前に下記の情報収集をしておきましょう。

- ? 治安情勢
- ? 犯罪の傾向・手口

国によって犯罪の傾向や手口は異なります。インターネット等で調べてみましょう。



アジアなどでは蚊を媒介とする病気(テング熱やマラリアなど)があります。 虫除けスプレーや長袖・長ズボンを着用するなど予防することが重要です。

? 風俗•習慣

その国の宗教や文化についての知識を事前に得ておくことは大切です。トイレの使用方法などもその国ごとに違っていたりします。

? 現地の法令や法律

渡航先では、現地の法律に従って行動しなければなりません。日本では 比較的軽い犯罪とみなされているような行為でも、国によっては重犯罪 に該当することもあります。



渡航先の情報収集②

その他にも下記のことは調べておきましょう。

- ? 日本との時差は何時間か?
- ? 平均気温は何度くらいか?
- ? 昼間と夜間の温度差はどれくらいあるか?
- ? コンセントの形状は?













国際電話のかけ方(海外→日本)

最初のOを除いた 相手先の電話番号

主要国の国際電話認識番号

- (●) 韓国/001
- 中国/00
- **ニアメリカ/011 ニーシンガポール/001**
 - **当**台湾/002
 - 香港/001
 - 巻 オーストラリア/0011



たびレジの登録について

たびレジは海外に旅行・滞在する人(1つの国や都市に3ヶ月以内)が登録できます。 登録はいつでも可能です。旅程が決まったら早めに登録しておきましょう。

登録すると…

- 1 渡航先の国・地域の在外公館の連絡先やホームページへのリンク情報などがメールで届きます
- 2 災害や緊急事態が発生した際、 在外公館が送る緊急メールを 受け取ることができます

たびレジ 検索



海外旅行保険について

海外旅行保険は、必ず全員加入してください。 保険に加入していると、もしもの時に安心です。 補償には以下のようなものがあります。

1 損害死亡保障

事故や事件で死亡した場合に保険金が受け取れます。

2 治療補償

怪我や病気で入院したり治療した際に補償されます。

3 賠償補償

宿泊施設の設備を壊してしまったり、他人に怪我をさせてしまったときに補償されます。

4 携行品補償

カメラやパソコンなどが盗難にあったり壊れた場合に補償されます。

クレジットカードにも保険がついているものがありますが、制限があったり自動付帯に なっていなかったりしますので、海外旅行保険の代わりとして利用することはお勧めしません。 クレジットカードの保険とは別に、必ず海外旅行保険にも加入してください。



緊急時の連絡先について①

- ! パスポートをなくしたとき
 - → → 日本大使館・総領事館

再発行(または帰国のための書類)を依頼しましょう。

- ! 盗難被害に遭ったとき
 - → → 現地の警察

「紛失・盗難証明書(国によって証明書名は異なります)」の作成を依頼しましょう。 保険会社に提出すると補償を受けられる場合があります。

- ! クレジットカードをなくしたとき
 - → → クレジットカード会社

クレジットカード会社にすぐ電話して使用できないように してもらう必要があります。

事前に電話番号を控えておきましょう。



緊急時の連絡先について②



! 病院に行くとき

一一一一 海外旅行傷害保険会社

できれば病院に行く前に海外旅行傷害保険会社に連絡してから行きましょう。 治療費の現金支払が必要ない病院を紹介したり 予約を代行したりしてくれます。

! 航空券をなくしたとき

→→ 旅行会社·航空会社

eチケットであれば、紛失しても 再発行してもらえます。 念のため、予約番号を控えておきましょう。



Don't worry.

大使館(在外公館)について

大使館は、海外でトラブルに巻き込まれた日本人からの相談に応じ、その解決に向けての支援を行ってくれます。

事件・事故や緊急入院時には次のような支援が受けられます。

- 1 医療機関の情報を提供
- 2 家族との連絡を支援
- 3 緊急移送に関する助言や支援
- 4 現地警察や保険会社への連絡などの助言
- 5 弁護士や通訳の情報を提供

事前に滞在先から最寄の大使館の場所や電話番号を調べておきましょう。



先輩学生の体験から学ぶ豆知識

!虫歯は治しておこう

歯科治療は保険の対象外です。外国では虫歯を1本治療するだけでも高額な費用がかる場合があるので、日本で治療してから行こう!

! 置き忘れ荷物は返ってこない

日本では、荷物をちょっと置いていても盗られませんが、 外国では無くなる可能性が高いです。 そして無くした荷物はほぼ返ってきません。 日本とは違うということを忘れないように!





トラブル事例集

実際に起きたトラブルの例を紹介します。 他人事と思わずに、トラブルに巻き込まれないよう、 事前に学習しておきましょう。

Wi Fi

このコンテンツで紹介した事例以外にも 「外務省海外安全ホームページ」に多くの事例が掲載されています。

http://www.anzen.mofa.go.jp/

クレジットカードをめぐるトラブル

事例

レストランでクレジットカードを 使用して支払ったが、 カードを返却してくれなかった。



解説& 対策 日本のように、何も言わなくてもクレジットカードを

返却してくれるとは限りません。

●クレジットカード決済するときは、自分のカードから 目を離さないようにしましょう(スキミング対策)。

- ●サインする前に金額(ゼロの数も)を確認しましょう。 帰国後に請求書を見て1桁多かった!ということに ならないように!
- ●決済後は必ずカードを受け取りましょう。



置き引きなどの盗難



ホステルのベッドの上に財布を置いたまま部屋から出たところ、戻った時には無くなっていた。



短時間でも部屋から離れる時は、 貴重品を持って行く、鍵のかかるロッカーに入れる などの対策をとりましょう。

ホステルや大学の寮などは、従業員や他の部屋の人も部屋に入ることができます。カメラやスマートフォン、現金などを盗まれるケースが毎年起きています。



iPhoneの盗難

事例

財布以外にも i Phoneを狙ったスリが 多く見られます。



ポケットなどに無造作に入れたまま 電車に乗ったり観光地へ行ったり すると盗まれる可能性が高いです。

アップル製品は世界中同じ相場で取引されるため、 盗難被害に遭いやすくなっています。 各自でしっかり管理しましょう。





Λ

スマホ等の通信料の高額請求



事例

日本で使っているスマホをそのまま海外に持って行き、ローミングして使用したため、莫大な通信費がかかった。



"ローミング"を使うと、現地の通信業者から日本を経由してアクセスすることになり通信料が高額になります。

海外で通信するには主に下記の方法があるので 各自でよく調べて利用しましょう。

- ●SIMフリーのスマートフォンなどを持って行き、 現地でSIMカードを購入する
- ●Wifiスポットを利用して通信する
- ●海外用Wifiをレンタルして持って行く
- ●海外通信向けのパケット定額サービスを利用する



ホームステイでのトラブル



外出時に行き先を告げずに出かけ、 行方不明者として探された。



ホームステイ先はホテルや民宿ではありません。 生活を共にすることで相互の生活習慣、 文化の理解を深めるためのものです。

「お客様」ではなく「家族の一人」としての責任と義務、 役割について自覚しましょう。

また外出時はホストファミリーに行き先や帰宅時間を 告げる、遅れる際は電話で連絡を入れるなど、 常識的な行動をするように心がけましょう。





平成 30 年度 ニュージーランド Ara 海外英語演習実施要領

1. 目的: ・ネイティブ・スピーカによる英語指導を受け、英会話力を養う

・Ara との国際交流

・ホームステイを通し、オセアニア圏および欧米文化を吸収する

2. 研修先: Ara Institute of Canterbury 付属語学学校 (Ara)

3. 日程: 平成30年8月18日(土) ~ 平成30年9月16日(日) (31日間)

8月18日 高松空港集合・羽田空港へ→リムジンバスで移動

→成田空港オークランド経由クライストチャーチ(機内泊)

8月19日 クライストチャーチ着

8月20日から9月14日まで語学研修

9月15日 クライストチャーチ発シドニー経由 羽田空港 (機内泊)

9月16日 羽田空港着→羽田発高松空港へ・解散

4. 参加学生: 高松キャンパス



詫間キャンパス



以上7名

5. 引率教員: 往路:詫間キャンパス一般教育科 ■ ■8/18 ~8/23)

復路:高松キャンパス一般教育科 (9/8 ~ 9/16)

6. 経費: 教員の引率に係る経費は国際交流経費より支出する。

引率旅費(1名分) 260,000 円程度

(旅費:約200000円 日当:約20000円 宿泊費: 40000円(3泊))

学生のAra での授業料に対する補助を目的として、H29年度と同等の補助金額(約50万円)を寄付金(学生海外派遣等)より支出する。

7. 備考: 参加学生は Ara における成績と、事後報告会における発表の成績に基づいて評価され、本科生は「海 外英語演習」、専攻科創造工学専攻の学生は「海外語学研修」の単位として認められる。ただし、2年生は 認められない。参加学生は事前・事後研修への出席が義務付けられている。

以上

平成30年度ニュージーランドAra語学・国際交流研修の具体的な日程と危機対応

研修先: Ara Institute of Canterbury

(ニュージーランド クライストチャーチ市)

http://www.ara.ac.nz

研修期間:平成30年8月18日~平成30年9月16日 (30日間)

8月18日 8:50 高松空港集合 9:50 高松空港発→11:10 羽田空港着 12:10 羽田空港発 (リムジンバス) →13:35 成田空港着 18:30 成田空港発 (NZ-90 便)

8月19日 8:05 オークランド空港着 → 11:00 オークランド空港発 (NZ535 便) 12:25 クライストャーチ着

Ara 手配のリムジンバスで Ara へ行き、研修を受ける。その後各ホストファミリー宅へ。

8月20日から Ara で語学研修開始 (午前3時間、午後2時間 週22時間) 週末は各ホストファミリーと過ごす。

8月24日 現地時間の金曜日の夜 大西がメールで森和憲へ連絡

8月31日 がメール へ連絡

9月7日 がメール へ連絡

9月14日 語学研修終了 がメールで連絡

9月15日 ホストファミリー \rightarrow 13:00(予定) Ara 手配のバスでクライストチャーチ空港へ 16:05 クライストチャーチ発 (NZ-883 便) \rightarrow 17:45 シドニー空港着

9月18日 20:55 シドニー空港発 (NH-880 便) ightarrow 05:30 羽田空港着

07:45 羽田空港発 09:05 高松空港着(着)

(*飛行機に遅延が生じた場合は臨機応変に対応します。)

Ara 語学研修 連絡体制表

(*学校保存用)

定時連絡

平日 朝: Ara 教員が出席確認、不在者はAra 語学センターが把握 (欠席者については電話連絡)

休日 特に連絡の必要はなし。緊急時は危機管理本部に連絡し、対応する。

緊急時連絡

○緊急時連絡フロー

事件・事故第一報 → 情報入手者→ 現場責任者 → 語学研修危機管理本部 → 派遣者保護者 → 本校緊急連絡網

帰国の必要があれば、引率者は当該の学生を連れて帰国し、国際交流室員が代用の引率者としてニュージーランドへ赴く。

○語学研修危機管理本部

香川高専国際交流室

香川高専学務課学務係 学生課教務係

室員

087-869-3832 担当者

休日および時間外

0875-83-8516 担当者 香川高等専門学校 高松キャンパス 087-869-3811

詫間キャンパス 0875-83-8506

Manager, International Training Programmes School of Humanities An

旅行代理店(近畿日本ツーリスト) 担当者 🔲 💮

外務省領事局海外法人安全課

在クライストチャーチ出張駐在官事務所

語学研修危機対応シュミレーション

- <u>危機1</u> ■が「はしか」などの疾病により当日引率できなくなった。 →成田空港出発までバックアップ教員が引率
- 危機2 ■が引率途中で倒れ、引率業務が出来なくなる。
 - →バックアップ教員が赴く。
 - →学生のみでクライストチャーチまで行く。
- 危機3 学生がどうしても一緒に出国できなくなった。 →研修のキャンセル (キャンセル料が発生)
 - →クライストチャーチまで自力で来る。
- <u>危機4</u> 学生がどうしても途中で帰国せざるをえなくなった。
 - →Ara スタッフのサポートにより、A は帰国。 リーダーの学生が教師の代わりをする。
 - →バックアップ教員が行く。
- 危機5 帰国3日前に学生が帰国せざるを得なくなった。

と一緒に学生Aは帰国。

残りの学生は自力で帰ってくる。

危機6 入院などで、学生がどうしても帰国できなくなった。

→残りの学生を帰国させ、残った学生は がケアする。(保護者に迎えに行ってもらう可能性も有)

台風などで飛行機が飛ばない場合

●Christchurch の空港で飛行機が飛ばなくなった場合(台風時等)

まずは近畿日本ツーリスト 氏に連絡を取り指示に従う (携帯:) (携帯:) (考えらえる対応策>

- ・台風時はチケットの振替作業が必要なので、できれば全員で空港に行き、振替チケットを発行してもらう。
- ・ダメ元でホテルの Voucher を要求してみる。
- ・それでも、ダメな場合は、学校に連絡し、ホテルを予約してもらう。 支払いは Visa カードで支払う。そのためには学生が Visa カードを所有している必要がある。 お金が払えない学生分は引率教員がカードで立て替え
- ・飛行機の故障等、航空会社の責任による遅延はホテルと食事の Voucher を勝ち取る。 (一時間以上の遅延でもドリンク Voucher をもらえるので交渉の価値あり。)
- ●シドニーの空港で飛行機が飛ばなくなった場合。

→まず,次に乗れる飛行機の座席を確保する。外に出るといろいろ問題があるので,苦しいけれど空港内で時間を 過ごす。 教員の海外出張時における旅行保険に関する提案

現状:ニュージーランド語学研修等、団体での学生派遣の機会が増加し、教員の海外引率業務が増えている。参加の学生には「海外旅行保険の加入は必須」で連絡しているが、引率教員の保険加入は<u>教員の自腹</u>となっている。

- →渡航時の病気・事故、賠償責任を目的として海外旅行保険の公費支払いを認めてほしい。
- ・前例として、海外関係のプロジェクト時に参加者の保険料を公費から支出したことがあ り。公費として海外保険を支払うことは可能。
- ・引率業務は負担が大きく、現状のままで事故時の保証がない場合、教員の引率をお願いしにくい。
- ・現地で事故が起きた場合、保険会社を通じても対応策等の情報を集めやすい

提案:国際交流室の経費で、学生の海外引率時における教員の海外旅行保険の支出を認める。

※ただし、保険料の支払いにおいては限度を設ける。

海外保険料参考

【充実プラン】

手厚い補償のブランならこちら。

	東京海上日動	提保ジャパン 日本興亜 off! アジア	ジェイアイ ジェイアイ 傷害火災 t@biho アジア・オセアニ ア・中東	MS®AD 三井住友海上 三井住友海上 ②とらべる アジア	AIU保険会社
保険料	7,190円	3,950円	3,010円	3,910円	8,140円
契約タイプ	Z3	PC	おすすめ	С	N11
傷害死亡	3,000万円	3,000万円	3,000万円	3,000万円	3,000万円
傷害後遺障害	3,000万円	3,000万円	3,000万円	3,000万円	3,000万円
治療・救援費用	無制限	2,000万円	5,000万円	3,000万円	無制限
疾病死亡	1,000万円	3,000万円	1,000万円	3,000万円	1,000万円
個人賠償責任	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
携行品損害	20万円	50万円	30万円	50万円	30万円
航空機寄託 手荷物遅延	-	10万円	1万円 (定額払型)	10万円	-
旅行事故緊急費用 偶然事故対応費用)	5万円	-	-	-	5万円
緊急歯科治療	-	-	-	補償	10万円
備考	方の保険料です。		上記は69歳までの 方の保険料です。 70歳以上の方の保 険料については実 際の契約画面にて ご確認ください。		方の保険料です。

海外インターンシップ(RMUTT)の実施

1. 背景

2018.3.8-9 に RMUTT 訪問時、RMUTT 理工学部 先生の案内にて、バンコク市内の染物工場を見学し、工場がかかえる課題として、染色排水の脱色が不十分なまま放流している。今後河川等に放流する場合、色の規制が厳しくなるため、現状の水処理フロー(調整槽→凝集沈殿→活性汚泥→放流)のかかえる問題点を明確にし、排水中の色の除去、より処理コストを低減できる方法についての探索を、RMUTT および香川高専建設環境工学科の協働で研究・交流を進めたいとの方向で、RMUTT、染物工場、香川高専建設環境工学科で調整を行ってきた。

2. 実施計画

渡航期間:8/6(月)~8/16(木) 11日間

往路:8/6 0:55 関西 - 4:40 バンコク JL727

復路:8/15 21:55 バンコク - 6:05(+1) 羽田 JL34

8/16 9:15 羽田 - 10:30 高松 JL477

研究場所: Silpmitr printing&dyeing co.,ltd

5/1 moo 7

宿舎:Sampran Riverside Hotel (8/6-15, 9 泊) Silpmitr にて負担

先方担当教員:

渡航学生: 名(卒業研究学生)

引率:建設環境工学科

研究内容:排水の脱色、廃棄物の削減 などの検討

予算充当: (国際交流経費)、学生3名(7050国際交流基金申請予定)

以上

留意事項への対応等

高専名:香川高等専門学校

事業名:「協定校との連携による学生と教員が継続して成長する包括教育プログラム」

留意事項(1)

高専教育の高度化を牽引する先導的取組として、取組の全学への展開を図るとともに、 ノウハウのパッケージ化や、取組時の留意点・課題等を検証しながら実施する等、取組 の学内外への波及を進めること。

本事業は、各関係委員会と協力しながら国際交流室において計画し、小さな PDCA を回しながら、全学生と全教職員で取り組むことで全学への展開を図る。また、学内では国際交流委員会や点検評価委員会、学外では外部評価委員会において全体の取組みに関する留意点や課題等の検証を行う。本事業で構築した仕組みと取組みは、「協定校との連携による学生と教員が継続して成長する包括教育プログラム」として、高専システムの独自性を生かした実施例として平成30年度中国・四国工学教育協会高専教育部会教員研究集会及び平成31年度の全国高専フォーラムにて報告し、さらに高専教育や日本工学教育協会論文誌などの教育論文誌に投稿し、広く他高専並びに社会に対して発信する。また、PDCAサイクルによりバージョンアップした仕組みとして年次的に報告する。

留意事項(2)

成果指標について、本事業により機能強化が図られたことが事後的に検証可能となるよう、必要な見直しを行うこと。特に定量的な指標については、現在値を明らかにするとともに、目標値の設定根拠を合理的に説明できるようにすること。

本事業では、低学年から専攻科まで語学学習から研究体験までをステップバイステップで経験できる場を提供するため、協定校と連携して新たに低学年における啓発プログラム及び3年生前後の学生に対するアクティビティ研修などの企画の構築と整備に努める。新たに共催する2つの国際会議参加で4名、新たな協定校と共催するGETプログラムで2名、そして今年度から開始する協定校研修で8名それぞれ参加者を増やし、さらに、毎年の参加者数は流動的ではあるが、実績のある海外語学研修、加えて第四ブロック共催行事及び機構主催の研修等外部機関主催の行事への最小限見込まれる参加者も併せることで、国際交流活動を行う全学生数を、平成29年度の32名から今年度は40名以上とする。平成29年度における本校と包括的な学術交流協定を締結している海外の大学数は10校である。今年7月、IT関連の研究分野における連携を深めるためマレーシア科学大学(USM)と学術交

流協定を締結した。さらにこれまで協定校のなかった中国において、大連にある東軟信息学院大学と学術交流協定を締結する予定である。これにより今年度中に海外協定校数を計画どおり2校増やすことが可能である。引き続き、さらに協定校との活動を充実させるため、アジア地域及び米国の大学と協定を締結すべく検討する。

留意事項(3)

当該取組の成果については、別の機会で確認することになるため、本事業の支援期間を 踏まえた「成果指標」を新たに設定すること。

支援期間や支援規模を踏まえ、取組全体のうち、どの部分から着手するのか、明らかにすること。

該当なし

留意事項(4)

既存事業において、全国の高専が共同利用できるサイバーレンジ(実践的な演習環境)が整備されていることから、連携して取組を推進すること。

該当なし

留意事項(5)

当該取組を一層推進するため、連携機関との信頼関係を構築するとともに、支援終了後も継続的に運営がなされるよう、必要な体制の構築に努めること。

本校との協定校のいくつかの間では、関係学科及び国際交流室の教員が中心となり、国際シンポジウムの共催、GETプログラムによる学生派遣と受入、さらに教員を招聘して英語での講義などを実施しており、教員同士及び学生同士が直接会い相互にふれ合う機会を多く設けることで交流を密にし、信頼関係の構築に努めている。国際交流室が主体となってノウハウを蓄積・パッケージ化しながら、支援終了後もこれらの取り組みを継続して運用する。さらに他の協定校においても、上述のプログラムなどが実施できるよう整備し、これまで構築した信頼関係をより強化し、人的交流を深められるように努める。

留意事項(6)

支援終了後の人件費の取扱いをどのようにするのか、明確に示すこと。

次の3つの方法により、支援修了後の人件費を学内経費でまかなえるよう努める。

まず、1つ目は、本校で各学科等が独自に実施している同様の主旨の活動の有無を精査し、 該当するものがあればそれらの活動を集約し、人件費に充当できる費用を捻出することで ある。

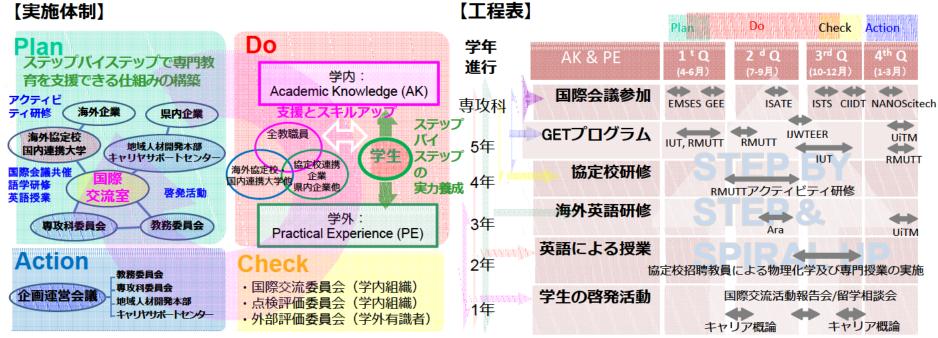
2つ目は、第 4 ブロック内の高専と今回の事業で提案したプログラムを連携して共同運用し、かかる経費を応分負担することで経済的負担を軽減し、軽減できた経費を、本事業で提案するプログラムに係る人件費に充当する事である。

3つ目は、本事業の取組みによりキャリヤアップした教員を増やし、本校教員による英語授業等を実施することで、この経費にかかる費用の縮小を実現する。

協定校との連携による学生と教員が継続して成長する包括教育プログラム

【取組の目的、内容】

1学年から専攻科にかけ、海外研修プログラム修了学生らと経験の共有、外国人講師による定期的な英語授業の実施、海外協定校での共同実務研修や学会発表などを段階的に経験させる。漠然とした興味から具体的な興味や将来の夢を描けるよう年次進行に伴い自然に学生の意識を改革し、実践的なグローバルエンジニアへとスパイラルアップできる仕組み,及びそれを指導する教員も共にキャリヤアップできる仕組みを構築することを目的とする。



【成果指標】

- 学生の協定校研修や国際会議参加など、国際交流活動する学生数増: 32 名(H29) → 40名以上(H30)
- 海外協定校数増: 10校 (H29) → 12校 (H30)

【第4期中期目標期間への展開】



産業構造がグローバル化する中、国際学術交流、実務英語教育、グローバルキャリア教育体制を敷くことにより、社会がわかる技術者、世界がわかる技術者を育成する。

すでに海外10大学と締結している交流協定をさらに発展強化し、研修プログラム、国際シンポジウム、海外インターンシップ等への参加を1年次生からの参加を強力に推し進めることにより、産業界を牽引する人材を育成する。

経費積算書

高専番号	39	高専名	香川高等専門学校				
担当者名	総務課庶務係長		連絡先(tel)	0875-83-8506		e-mail	
事業名	協定校との連携によ	盆定校との連携による学生と教員が継続して成長する包括教育プログラム					

 平成30年度の事業に必要な経費について記載してください。
 申請ができる経費は、事業計画の遂行に必要な経費であり、事業の目的を実現するための使途に 限定されます。 金額 経費区分 単価 数 精算 5, 936 [物品費] ①設備備品費 2,882 4, 936 ・共同学習用機器 一式 724 1,448 共同学習用PC、机・椅子等 · 外国語案内板 一式 2,088 2,088 2キャンパス ・タブレット端末 70 10 700 留学生・国際交流学生支援 講義支援システム 一式 700 700 アクティブラーニング**ロ**材、**ドタ**の力能を = ②消耗品費 300 1,000 ·招聘教授授業関係消耗品 一式 200 800 2キャンパス × ・協定校との学生共同研究関係消耗品 一式 100 × = 200 " [人件費・謝金] 3,630 ①人件費 13 2,590 英語担当教員(外国人非常勤講師1名) 5 235 1, 175 中国語担当教員(外国人非常勤講師1名) × 16 80 ・事務補佐員 1名 1 × 1,098 1, 317 ·事務補佐員通勤手当 1名 2 18 2謝金 1,040 205 ・協定校からの招聘教員による授業実施 200 × = 800 4回 英語担当教員(外国人非常勤講師1名) 240 8時間/月×6 5 48 [旅費] 1, 140 3, 440 ・協定校からの教員招聘(アジア圏) 250 750 3校×1人×1回 ・協定予定校からの教員招聘(欧米圏) 500 500 1校×1人×1回 ・新規協定締結・国際学会共同開催協議(アジア圏) 180 720 2校×2人×1回 ・協定校との交流協議、授業実施及び学生引率(アジア圏) 180 1,440 4校×2人×1回 × = ・非常勤講師交通費 30 × 30 [その他] 1,150 ①外注費 700 700 300 800部 ・事業案内パンフレット 300 ・安全ガイド 100 100 100m 英語版要覧 300 300冊 300 ③会議費 × = ④通信運搬費 250 250 ・電話・データ通信料 一式 100 100 ・運送料 一式 100 100 ・郵送料 一式 50 = 50 ⑤光熱水料 × ⑥その他(諸経費) 200 200 借上車経費(レンタカー、バス等) 一式 200 200 平成30年度 14, 156

第4ブロック 英語合宿 募集要項(案)

幹事校 香川高専 阿南高専 呉高専

中国地区及び四国地区13高専合同のAll Englishによる英語キャンプを実施します。

ネイティブスピーカーを講師として招き、英語のみの2日間を体験します。夢を描き形にする力とコミュニケーション力をテーマにした英語合宿です。グローバルに活躍するために必須であるこの2つの力の磨き方を、海外で活躍する高専卒業生のプレゼンや数多くのネイティブスピーカーから直に学ぶチャンスです。

これから海外研修を計画している学生は、是非参加し英語力アップに繋げてください。

1. 日 時 : 平成30年8月27日(月)~8月28日(火) 1泊2日

2. 場 所: 休暇村讃岐五色台

〒762-0015 香川県坂出市大谷冨町 3042

TEL: 0877-47-0231

3. 募集学生 : 40~50 名 (各校 3 から 4 名、各校からの参加状況により変化します。)

※学科,学年,本科/専攻科 不問

4. 参加費 : 一人約 9,780 円 (1 泊 2 日, 3 食付き、保険代約 250 円含む)

27日夕食1回(バイキング)、28日朝食(バイキング)、昼食各1回

詳細は別紙のとおり

5. 活動内容 : 別紙1活動内容 の通り

6. 申込締切 : 7月20日(金)17:00

7. 申込方法 : 各校で参加者を募集し、取りまとめの上、別紙2を阿南工業高等専門学校

■メールにて提出してください。

8. 参加校の交通手段および経費

交通手段	主管校による経費負担	参加高専による手続き
借上げバス 所属高専の公用車 所属高専のマイクロバス	合計3万円を上限に負担	各高専で契約・支払をお願いします。 後日,予算振替にて対応いたします。
公共交通手段	なし (全額自己負担)	各高専で手配をお願いします。

9. 保険について

参加者には保険に加入していただきます。支払方法等の詳細は所属高専へ個別に連絡します。補償内容は、別紙をご参照ください。1人あたり231円のプラン(契約タイプ1、保険期間2日)を契約します。

お問い合わせ先:阿南高専電気コース

2018 ENGLISH CAMP TIME TABLE

	Aug, 27th		Aug. 28th
12:00	12:00-12:30 Registration	7:30	7:30-8:30
12:30	12:30 Opening		Breakfast
13:00	13:00-14:00	8:30	8:30-10:00
	Ice breaking		Session 3 International Travel
14:00	Break		Simulation
14:30	14:30-16:30 Session 1	10:00	Break
	Learn from Role Models	10:30	10:30-12:00
	14:30-15:00 Talk1 15:10-15:40 Talk2		Session 4
	15:50-16:20 Talk3		Games & Quizzes
16:30	16:30-17:30 Free time & Talk with		
	Native English Speakers	12:00	12:00-12:30 Farewell & Closing
17:30	17:30-20:00 Session 2	12:30	12:30-13:30 Lunch
	Preparation for International Travel		
	Simulation		
18:00	18:00-19:00		
	Dinner (Group 1) 18:30-19:30		
46 5	Dinner (Group 2)		
After Dinner	After Dinner-20:00 Session 2 (Continued)		
20:00	20:00-22:00		
22:00	Free time & Talk with Friends		
	Lights Out		

2. 内容詳細

Aug, 27

12:30 Opening

開会の挨拶、キャンプの趣旨、スケジュールの説明等

13:00-14:00 Ice breaking

4人程度の小グループで自己紹介を行います。各グループは1名ずつネイティブスピーカーが担当します。10分ごとにネイティブスピーカーが入れ替わります。

14:30-16:30 Session 1: Learn from Role Models

15人程度の3グループに分かれ、異なる海外経験をもつ3名の講師の体験談から学びます。

16:30-17:30 Free time & Talk with Native English Speakers

自由時間を利用してネイティブスピーカーとカジュアルな会話を楽しみましょう。

17:30-20:00 Session 2: Preparation for International Travel Simulation

翌日の海外模擬体験のアクティビティーで使うための英語表現を、辞書やインターネット検索で調べ、ネイティブスピーカーのアドバイスを受けながら小グループで学びます。

(18:00 以降、2 グループに分かれて1時間の夕食をはさみます。)

20:00-22:00 Free time & Talk with Friends

自由時間を利用して友達と英語で話しましょう。

Aug, 28

8:30-10:00 Session 3: International Travel Simulation

海外で生活する上で必要なプロセスを模擬体験により学びます。まずはパスポートを持って飛行機に乗るところから。買い物やタクシー乗車の体験に必要な英語力を身につけましょう。

10:30-12:00 Session4: Games & Quizzes

英語のゲームやクイズに勝ち残って、楽しい賞品をゲットしよう。

令和元年度 第1回国際交流室会議 議事次第

日時:令和元年6月6日(木) 14:30~16:00

場所:高松キャンパス・第二会議室、詫間キャンパス・第2会議室

議題:

前回議事録の確認 (資料-0)

今回議事録の担当: 総務課

1. 審議事項

- 1) 今年度の活動計画(資料1-1)
- 2) 今年度の予算(資料1-2)
- 3) 今年度の役割分担(資料1-3)
- 4) グローバルエンジニア研修(GET)プログラム-受入型(第3次)実施要項(資料1-4)
- 5) 海外インターンシップ募集要項(資料1-5)
- 6) GETプログラム-派遣型 (第1次, RMUTT) 募集案内 (資料1-6)
- 7) GETプログラム-派遣型(第2次, IUT) 募集案内(資料1-7)
- 8) UiTM英語研修の募集要項(資料1-8)
- 9) サイボウズワークフロー審議の運用について(資料1-9)

2. 実施報告・状況報告

2-1 総括・交流協定

- 1) Richland College (米国) との交流 (資料2-1-1)
- 2) 東洋未来大学校(DMU)とのMOU更新報告(資料2-1-2)

2-2 国際学術交流推進

- 1) GET プログラム-受入型 (第1次, 第2次) の状況 (資料 2-2-1)
- 2) IUT・ファーマー先生の来校(6/24-25)
- 3) アクティビティ研修 in タイの状況報告 (8/9-19) (資料 2-2-3)
- 4) 大連東軟信息学院 夏期短期留学プログラム (9/9-22) (資料 2-2-4)

2-3 実践英語教育

1) ニュージーランド英語研修 (8/17-9/14) (資料 2-3-1)

2-4 グローバルキャリア教育

1) 1~3年生の特別活動でのグローバルキャリア教育

2-5 広報関係

1) Facebookを利用した広報活動 (資料2-5-1)

2-6 留学生支援

- 1) 留学生のための交通安全セミナー (5/23, 高松)
- 2) 留学生見学旅行(6/15, 高知)(資料2-6-2)

2-7 その他

- 1) 日本学生支援機構(JASSO) · 2019年度海外留学支援制度奨学金
- 2) グローバルエンジニア育成事業への申請(資料2-7-1)
- 3) 校長裁量経費(対外活動活性化支援経費)への申請

3. 行事予定

- 1) GEE2019 (5/30, Quebec)
- 2) 日台国際カンファレンス2019 (9/4-5, 聯合大学@台湾)
- 3) JSTS2019 (7/7, 福島) &ISTS2019 (10/8, タマサート大@タイ)
- 4) ISATE2019 (9/17, 徳山)

次回開催予定 月 日() : ~ 於

平成30年度 第3回国際交流室会議議事概要 (案)

日時:平成30年8月1日(木) 14:30~ 16:00

場所:高松キャンパス・地域イノベーションセンター会議室

詫間キャンパス・第二会議室

出席者:(高松)

(詫間)

陪席者:(総務課)

(学務課)

(学生課)

前回議事録の確認 (資料-0)

1. 審議事項

1) 中国・大連東軟信息学院との新規学術交流協定締結の検討(資料1-1)

室長から資料1-1に基づき説明があった。

大連東軟信息学院は、昨年、第4ブロックの短期留学に参加した際、知り合った。津山高専と徳山高専が既に協定を締結しており、大連東軟信息学院と3つの高専で将来何かできないかと考えている。またKOSEN4.0でも国際交流として協定校を増やす必要も有り、国際交流室のテーマとして協定校を増やす事にも合致している。今年の9月の初め頃に短期留学が有りその引率を兼ねて協定内容について話してくる予定である。大連東軟信息学院は4年生の私立の大学である。以上、今後も進めていく事で了承を得た。

2)韓国・東洋未来大学との学術交流(資料1-2)

室長から、資料1-2に基づき説明があった。

詫間電波高専が初めて国際交流を結んだ学校であり、もともとは韓国の私立の高専であった。10年間ずっとやってきたが、今回、学長と国際交流の部長も替わった事もあり、お金のかからない交流を続けていきたいと思い、この行事を企画した。今回学生は自己負担としているが、なんとか補助を出して欲しいと考えている。今回もとか他の先生にも行って頂き、学生の交流及び専門の交流という事で、引き続きお金のかからない形で続けていきたい。学生も参加できるのであれば、発表とか学生同士の交流を兼ねたい。期間は、先方の先生に確認し期間を決めたいと思っている。3泊4日としているのは、交流の背景と学生の負担を減らすためである。学生の希望者がいなくても実施するつもりである。観光旅行も入っている。学生への周知については、学生交流、文化交流、研究交流の3つの内容で周知文を作りサイボウズで了解を得て配付したい。学生の補助を7050基金から出せるかどうか考えたい。

以上,実施要領については了承を得たが,学生の周知文については8日までに了解を得てホームルームで配付することになった。

3)アクティビティ研修 in タイの実施要項(資料1-3)

副室長より資料1-3に基づき説明があった。

7月の頭に実施要項を作成し10名の学生が応募してきた。今回、低学年も入っているので8月3日に事前説明会を行う。往路は 生, 復路は に引率してもらう予定である。総務

課,学務課から派遣の希望者はいなかった。低学年もいるため、間に誰か入るべきでないか不 安が有るため、1人だけでなく増えれば良いと思う。

台湾の南にあるピントン科学技術大学の学生を対象にしたアクティビティ研修(7月12日)の視察に行ってきた。資料11~13頁を活用できればと思っている。

以上、今後も進めて行くことになった。

- 4) 夏季休暇中のバックアップ体制 (資料1-4)
 - 副室長から,資料1-4に基づき説明があった。

この夏もイベントが有るため、緊急の対応ができる先生が分かるようにしたいので、○×を 入れて欲しい。何か発生した時の対策本部については検討する。学生を受け入れた場合の危機 管理対策はしたが、派遣の場合の基本的なものは作っておくべきで有る。9月のアクティビティ研修は実施要項に書いているが、8月のニュージーランド英語研修は対策に不安が有るため、 サイボウズのフローで検討しておいても良いと思う。

受け入れ時と派遣時の緊急連絡のフローチャートを作る事になり、派遣時のフローチャートについては学生課でver.0を作ることになった。

- 5) KOSEN4. 0イニシアティブでの物品購入について(資料1-5)
 - 室長から資料1-5に基づき説明があった。

申請金額より約400万円減額されたので資料のとおりの内容となった。7月から執行可能であるのでどんどん執行して欲しい。講義支援システムは協定校との遠隔授業を想定している。ポリコムなどを上手く活用し効率的になるのではないか。詳しい 先生, 先生にアドバイスを頂き具体的にまとめていきたい。高松キャンパスとしては電子黒板を導入したいと考えている。両キャンパスと事情が違うためトータルで収まるようにすれば良いと思う。8月中に決めて9月から執行し10月から使用したい。

印刷費を計上しているが事業案内パンフレットは学校要覧の英語版を製本していきたい。報告書も作成する。資料の海外渡航ハンドブックは宇部高専が作ったものであるが、使っても良いとのことなので修正などして製本し学生に配る事になった。これは日本人用であるが受け入れ用のハンドブックについても検討する事になった。

以上で了解を得た。

- 6) その他
 - ■室員から提案が有った。

引率する教員の保険が自腹となっているが公費で認めて欲しい要望を受けた。公費からの支 出した事が有るらしく、学生引率の案件が増えてきた事もあり認めて欲しい。ただ保険金額が 大きいものも有るので、認めて頂けるにしても保険料の限度額が必要で有ると考えている。現 状を把握し他の高専も参考にして8月10日までにサイボウズで審議する事となった。

- 2. 実施報告・状況報告
- 2-1 総括·交流協定
 - 1)マレーシア科学大学(USM)との包括的な学術交流協定(MOU)の締結(7/6)
 - 室長から説明があった。

マレーシア科学大学に詫間電波高専卒業生が教鞭を執られておりIT関連でも有り新規の分野でも有るので7月6日に協定を結んだ。12月18日から3日間、マルチメディア関連のソフトウェアIT関連の学会が有るので関係される先生は奮って投稿してほしい。

- 2-2 国際学術交流推進
 - 1)GET受入プログラム(トゥール大学、RMUTT)の修了
 - 副室長から説明があった。

6月にトゥール大学の学生は帰国し、RMUTTは昨日で全員修了した。ホームページのトピックス記事案をサイボウズに掲載している。

- 2) 海外インターンシップ (8/6-15, RMUTT) (資料2-2-2)
 - 室員より資料2-2-2に基づき説明があった。

ラジャマンガラ工科大学と現地の染色の工場と交流しする夏休みに派遣の話で進めていた内容が決まった。研究が主で有り、染色印刷会社の工場の中で排水の色を塗る研究と廃棄物の排出エネルギーの使用とか最小にできるよう調査提案を行う問題解決型のインターンシップを行う。

打ち合わせ調査から入り10日間で結果を出す予定である。

- 室長から、関連づけて電気とか広がりがあると他の人たちも意識できるのでは無いかを 思うので、頭にいれて研究するよう依頼が有った。
- 3)GETプログラム (トゥール大学) の状況
 - 副室長より説明が有った。

7月の頭に募集し3名の学生が参加。トゥール大学の先生に照会をしている。振り分けて貰えるはずだが音沙汰が無い。8月後半に連絡が有ると思うので分かり次第連絡する。期間は10~12月の3ヶ月である。

2-3実践英語教育

- 1)ニュージーランド英語研修 (8/18-9/14) (資料2-3-1)
 - 室員から資料2-3-1をもとに説明があった。

他に学生及び保護者の連絡先の資料があるが、個人情報の問題で会議資料には付けていない。

危機対応については時期的に台風の事を想定しないといけないと思っている。

- 室長からこの資料を踏まえてフローチャートを作っていくべきだと意見が有った。
- 2-4グローバルキャリア教育
 - 1) 低学年のキャリア概論
 - 室長から報告があった。

KOSEN4.0にもなるが下級生の方から啓発活動を行う事で1年及び2年のキャリア概論で後期から2回行う事になっている。詫間では了解を貰っており、いつにするかはこれから決めることになっている。高松は10月に特別活動の枠は貰っているので、アクティビティ研修に行った学生に発表をして貰う事を考えている。

2-5 広報関係

特になし

2-6 留学生支援

特になし

- 2-7 その他
 - 1) KOSEN4. 0イニシアティブ (留意事項への回答) (資料2-7-1)
 - 室長から、資料2-7-1に基づき説明があった。

今回の2回目の調査として内容を具体的な書くように依頼があったので作成し、本日、期限なので提出する。この資料は1回目の回答なので、後でお知らせする。派遣とか受け入れとかでアイデアがあれば提案して貰えれば、できるだけ活動の中に盛り込みたい。

- 2) 第4 ブロック英語合宿 (8/27-28, 休暇村讃岐五色台) (資料2-7-2)
 - 室長から、資料2-7-2に基づき説明があった。
 - 先生におまかせし、国際交流室が協力している事になっている。申込締切が終わっているが、現在、追加募集を行っている。もう少し参加者を増やすようご協力をお願いしたい。
- 3. 行事予定
 - 1)大連東軟信息学院 夏期短期留学プログラム(9/3-16, 大連)
 - 室長から説明があった。

冒頭で述べたものであるが、高松から1名参加し 先生が引率する。 が協定のことで一緒に行く。

- 2) ISATE2018 (9/18, 香港)
 - 室長から説明があった。

学生は1名, 先生が参加する。

- 3) JSTS-ISTS2018(10/7, タイ)
 - 室長から説明があった。

学生が 1 名認められたので準備をしている状況である。 ISATE2018 と JSTS-ISTS2018 は参加者が少なく,機構本部主催の行事でもあるので来年度は奮って参加してほしい。 JSTS-ISTS2018 は 各キャンパス 1 名推薦なので専攻科生等も参加を募ってほしい。

最後に英語版のホームページの更新について にお願いすることになった。 次回の会議は9月の末頃とする。

平成 31(令和元)年度国際交流室活動計画(案)

目 次

1.	国際為	交流協定	
2.	国際学	全術交流推進	1
4	2 - 1	研究交流	1
4	2 - 2	学生派遣	1
4	2 - 3	学生受入	2
3.	実践英	英語教育	3
4.	グロー	-バルキャリア教育	3
4	4 — 1	国際理解セミナー	3
2	4 - 2	留学生を活用した異文化理解教育	4
5.	広報		4
6.	留学生	三支援	5
(5 – 1	年間イベント	5
(6 - 2	「留学生の手引き」の改訂	5
(3 - 3	留学生支援制度の充実	5
昨年	F度行事 	手一覧	6

1. 国際交流協定

- 1) 学術交流協定(MOU)締結・更新 既締結した協定校とのMOUの更新手続きを行う。
- 2) 学生交流協定(MOA)締結・更新 学生の派遣・受入れを促進するため、協定校と学生交流協定を締結していく。 本年度:
- 3) 渉外

各種協定書の締結・更新,学生の派遣・受入,教員交流などに関して協定校と連絡・交渉を行う。

2. 国際学術交流推進

2-1 研究交流

- 1) 教員の研究紹介・シーズ集(英語版)の改訂 協定校との研究マッチングを促進するために作成した「教員の研究紹介とシーズ集(簡略版)」について、必要があれば検討して再編集する。
- 2) 協定校との学生交流・教員交流を推進する。 香川高専グローバルエンジニア研修 (Global Engineer Training Program: GET) プログラム の学生派遣・受入れを通じた教員交流を共同研究に発展させる。
- 3) 高専機構主催の国際会議への参加を勧奨する。
 - ・ISATE2019(徳山高専)
 - ・JSTS/ISTS () など
- 4) 学生・教員の研究発表の場となる国際シンポジウムを協定校と共催し、学生と教員の参加を促進する。
 - ・GEE2019 (モントリオール,カナダ) ソウル大学・カーン大学 他との共催
 - ・EMSES2019 (アユタヤ,タイ) —RMUTT と共催
 - ・CDIIT2019 () -USM と共催
 - ・NANO SciTech2020() UiTM と共催
 - ・日台カンファレンス (聯合大学) -2019年度開催協力,2020年度本校が会場校
- 5) 協定校との交流メンテナンス

既締結した協定校とのメンテナンスを重視し、関係強化とその後の新たな展開による交流形態を 発展させ、学生の派遣数を増加させる。

- 6)協定校からの教員招聘
 - ・英語による授業,特別講演会

2-2 学生派遣

- 1) 高専機構や第4ブロックなど各種団体等が主催する国際交流イベントへの参加
 - ・海外インターンシップ(高専機構,本校)
 - ·大連中国研修(津山·徳山·香川)
 - その他
- 2) 外部助成金制度への申請
 - ・JASSO 海外留学生支援制度(短期派遣受入)⇒来年度用に複数のプログラムを申請
 - ・トビタテ JAPAN (文科省)
- 3) 協定校等への学生派遣 (グローバルエンジニア研修プログラム) の計画
 - ・グローバルエンジニア研修(GET)プログラム
 - ・アクティビティ研修 in タイ
 - ・アクティビティ/英語研修 UiTM(仮)
- 4) 学生による国際交流活動報告会の開催
 - ・年に2回程度
 - ・案内チラシ:教員会議での配布,全学生配布の継続,裏面に広報
 - ・アンケート内容の見直しを行い、参加学生・教員の増加を狙う。
 - ・積極的な参加者増の呼びかけ。質問窓口の確立を検討する。
 - ・口頭発表 (グループ) とポスター発表のハイブリッド方式の継続と発表ポスターの事前 掲示 (提出締切を少し早めに設定し,第1会議室前などの会場前の廊下などに予告掲示 しておく)。
 - ・発表後のポスターの学内掲示
 - ・低学年での特別活動でも実施

4)情報整理

・国際交流活動実績一覧を随時アップデート

2-3 学生受入

- 1) 短期・私費留学生の受入体制の検討と整備
 - ・受入可能な研究室または学科から研修プログラムの提案
 - ・宿泊施設(学生寮や職員集会所など)の利用に関する簡易手引き(英語版)の作成
 - ・建物や部屋の英語表示版の設置検討
 - ・滞在中の学内利用施設の申請手順のマニュアル化
 - ・県内のハラール認証に関する情報収集とまとめ
 - ・産業技術振興会等と連携した県内企業インターシップ実施の可能性を検討
- 2) 短期学生受入に向けた外部助成金制度への申請
 - · JASSO 海外留学生支援制度(短期受入)
 - ·JST さくらサイエンスプラン
 - ・高専機構 短期留学プログラム(受入制度) など
- 3) 協定校等からの学生受入(グローバルエンジニア研修受入プログラム等)の計画
 - ・受入可能な指導教員と研究(研修)内容の調整
 - ・宿泊施設などの調整
 - オリエンテーション準備
 - その他

3. 実践英語教育

1) 海外英語研修

夏季休暇中にニュージーランド Ara Institute of Canterbury (Ara 付属語学学校)に学生を派遣し、英語研修ならびにホームステイ等を通じた国際交流を体験する。往路・帰路で教員が引率指導する。学生の授業料補助(奨学金)として(株)タダノ寄付金(高松 C)から供与する。

- 2) 技術英語セッション(高松Cのみ) 国際学会発表学生を主たる対象とする英語プレゼン練習
- 3) その他英語科と連携した取り組み
 - 英語資格試験
 - ・英会話セッション
 - その他

4. グローバルキャリア教育

4-1 国際理解セミナー(グローバル学習)

学生の学年, 予備知識, 経験, 参加する企画に応じたセミナーの開催

初級編:国際理解教育の入り口として、世界の中の自分を理解するための「気付きの学習」を行う。また、英語学習に限定せずに、例えば地理や歴史の観点からそれぞれの国について理解することを目的として、主に低学年の特別活動などを利用して実施する。

- ・海外イベントに参加した学生による体験談
- ・JICA 出前授業を活用する。

中級編:技術者倫理教育の一環として,日本の技術が世界に及ぼす影響,日本の経済活動と世界の関係を学ぶ。

・外国人による母国の紹介

上級編:本校国際交流イベントに参加する学生のために事前研修として、学んでおくべき危機管理教育とマナー教育を行う。

4-2 留学生を活用した異文化理解教育

チューターなど日本人学生や地域と留学生との積極的な交流

- ・留学生交流会の開催
- ・留学生見学旅行の実施
- ・香川県他,様々な公的・民間団体が企画するイベントでの活動情報を留学生へ提供し, 留学生の参加活動を通して留学生と日本人学生の学習に役立てる。

5. 広報

1) 本校ホームページへの投稿

国際交流室に関するイベントについて、香川高専ホームページ・トピックスへの掲載を継続して漏れなく行う。

2) 国際交流室ホームページ

本校の国際交流活動に関する情報発信を行う。

3) 英語版ホームページの更新

香川高専・英語版ホームページにおける基本情報などの管理を継続する。さらに、トピックス記事の更新を行う。

英訳の質的向上、作業の効率化を検討する。

4) 高専だより

高専だよりに国際交流関係の主なイベントを掲載し、本校の国際交流活動を報告する。

5) 学校要覧

日本語版・英語版の学校要覧の内容更新を行う(年度初め)。

6) 英語版シラバス (概略版)

これまでに作成した英語版シラバスに、必要があれば再修正を行う。

7) 文教ニュース・文教速報へのリリース

ニュース性の高い活動は文教ニュース・文教速報に積極的に発信していく。特に本校主催 の海外イベントはすべて発信する。

8) その他・学生向け広報

- ・国際交流活動体験記(エッセイ)(仮称)のとりまとめ
- ・香川高専国際交流室の Facebook (他, SNS等) 立ち上げ・管理の検討

6. 留学生支援

6-1 年間イベント

- ・留学生に対する規則の配布
- ・防犯と交通安全の講話(警察署)
- · 留学生見学旅行
- 留学生交流会
- ·四国地区総合文化祭(留学生旅行)
- その他

6-2 「留学生の手引き」の改訂

平成25年度に作成した「留学生の手引き」については、本年度の規則説明会等での活用 状況や関連教職員・留学生の意見を取り入れ、必要に応じて改訂作業を行う.

6-3 留学生支援制度の充実

高専機構・国際交流センターの発信情報に注視し、全国規模の文化交流事業への参加を支援する。また、本校留学生に対する学業支援・生活支援、日本語教育、チューター制度などの有効性、課題と対策、制度の見直しなどに留意して継続的な改善を検討する。

昨年度行事一覧

20180403-EMSES2018

20180409-UFRT 受入

20180501-RMUTT-ENG Science 受入

20180519-トゥール留学生歓迎会(日仏協会)

20180525-GEE2018(福岡大)

20180618-Farmer 氏来校

20180624-留学生見学旅行

20180628-第1回国際交流活動報告会(高松)

20180706-MOU 調印式(USM)

20180714-協同学習講演会・G 高専事業 (岡山)

20180718-RMUTT 訪問

20180721-日台国際カンファレンス(岡山)

20180806-海外インターンシップ(RMUTT)

20180810-聯合大学海外研修(台湾)

20180815-フィリピン語学研修(第4ブロック, 津山)

20180818-NZ 語学研修

20180818-高専生英語キャンプ(機構)

20180826-セブ島語学研修(徳山)

20180826-テクニカルチャレンジ(HK)

20180827-英語キャンプ(五色台)

20180830-教員キャンプ(岡山)

20180900-海外インターンシップ(ベトナム)

20180900-海外インターンシップ(機構)

20180901-テクニカルイングリッシュセミナー(バンクーバ

-)

20180902-アクティビティ研修(RMUTT)

20180902-シリコンバレージャパンユニバーシティ

20180903-夏季短期留学プログラム(大連)

20180905-オタゴ・ポリテク (八戸担当)

20180907-シンガポールポリテクとの交流イベント(機構)

20180910-タイ復路引率

20180918-ISATE(HK)

20180923-サマープログラム(泰日工大)

20181003-GET プログラム(トゥール大学)

20181007-JSTS-ISTS2018

20181010-キャリア概論(1年団)

20181018-キャリア概論(3EC)

20181102-IUT-Tours 受入

20181126-タイ出張(RMUTT, Kinetics)

20181204-留学生交流会

20181206-合同研究発表会(台湾, 第4ブロック)

20181210-CIIDT2018(Penang)

20181216-津山ロボコン

20181217-工学教育協会・教員研究集会

20181224-大連表敬+MOU

20190107-UiTM 教員招聘

20190115-RMUTT 教員招聘

20190116-大連学生の受入

20190117-特別講演会-懇親会

20190124-第3回学生による国際交流活動報告会(高松)

20190207-RMUTT 表敬訪問

20190228-RMUTT 教員派遣-英語で授業

20190228-短期留学生受入検討部会

20190300-海外インターンシップ (機構, 第2次)

20190301-NanoSciTech2019

20190303-AU 英語研修(新居浜高専)

20190307-GET プログラム(RMUTT)

20190309-オーストラリア英語研修(明石)

20190309-シンガポール英語研修(津山)

20190309-海外インターシップ(RMUTT)

20190310-永進専門大学校英語キャンプ視察

20190310-聯合大学海外研修(津山)

20190399-UiTM 英語研修

平成31年度(令和元年度)国際交流活動予算(案)

単位:千円 **予算**

	予算			
予算 科目	項目		予算額	備考
1	学術交流等諸経費	小計	150	
	1 交流協定校への贈答品(皿、日本茶等)	3 41	50	
	2 香川高専オリジナルグッズ		0	
	3 通信費(携帯レンタル等)		50	
	4 消耗品費		50	
	111111111111111111111111111111111111111			
2	印刷費	小計	0	
	1 留学生の手引		+	自費印刷
	2 国際交流室活動報告書		+	自費印刷
3	出張旅費(国際会議・留学生関係、国内)	小計	280	
	1 センター長会議		+	教2
	2 スキルアップワークショップ		140	教1、事1
	3 短期留学生受入等(引率交通費、宿泊費)		0	
	4 招聘講師、訪問団受入等(交通費、宿泊費)		0	
	5 第4ブロックグローバル高専打ち合わせ		0	第4ブロックグローバル高専
	6 その他 国際交流関係行事		50	
4	出張旅費(本校/機構主催国際会議等、海外)	小計	2,990	
	1 GEE2019		0	
	2. EMSES2019		500	教6,学6*100*1/2, 教6*25Reg+ 学6*10Reg 今年度実績による。
	3 ISATE2019		120	教1*120+参加費, 教員1名参加要請あり。
	4. ISTS/JSTS2019		0	機構から文援あり。字1*8、高専機構事業。推薦1名/高専(香川は/キャン・パス)
	5 Ara 引率/交流 8-9月		500	教1or2
	6 NANOScitech2020, UiTM, 2月		500	教3*180, 学3*100, Reg250
	7. CIIDT		500	USM、教2*190, 学2*190, Reg30*4
	8.日台国際カンファレンス		0	教4*100, 教員派遣 (台湾·聯合大学)【校長裁量経費】
	9.アクティビテイ研修/海外インターンシップ引率		510	RMUTT+UiTM 教3*170
	10 その他協定校等の交流行事・学生派遣		360	
5	講師・学生受入時の謝金・諸経費	小計	970	
	1 国際交流関係 講師謝金		150	非常勤2名ほか、1名*30回(セッション)
	2 GET受入プログラム諸経費			RMUTT, CSU, UiTM
	・トゥール大学学生受入		350	
	ツゥール大学学生受入チュータ経費		200	(高松2名×11週間、詫間3名×11週間)
	受入担当教員への補助		150	30/人、5名分
	・RMUTTからの学生受入		470	(高松4名、詫間3名×9~13週間)+(高松2名×8週間)
	RMUTT学生受入チュータ経費		260	
	受入担当教員への補助		210	30/人、7名分
6	英語による専門授業招聘講師	小計	<u>0</u>	
	1 出張旅費 (先方からNITKC)		1	(1名*2週間)x2件
	2 謝金(授業、特別講演会など)		+	(1名*2週間)x2件
7	H31年度 国際交流室HP管理費	小計	<u>110</u>	
	国際交流室HP管理費、翻訳費		110	
	小計		4,500	

収入 単位:千円

予算 科目	項 目			
	国際交流実施経費(教研)国際交流室		¥4,500	
	校長裁量経費(対外活動活性化支援経費)		¥1,000	申請中
	機構配分			
	合計		¥5,500	

平成31(令和元)年度 国際交流室業務分担 (太字:メイン)

	業務分担		主担	主担当副担当		当	担当事務/
	未伤力担			詫間	高松	詫間	主な関連部署
		総括					総務課, 学務課・学生課
3	交流協定	締結,細則等,渉外					総務課, 学務課・学生課
国際	研究交流	共研シーズ, 国際シンポ など					専門学科
学術交	学生派遣	外部資金申請,GETプログラム,アクティビティ研修,報告会,海外インターンシップなど					学務課・学生課
流推進	学生受入	外部資金申請,GET受入プログラム,受入シーズ集など					学務課・学生課
実践英語教育		英語関連イベント, NZ海外英語研修など					学務課・学生課 一般教育英語科, 教務・学生委
リア刺	ーバルキャ 教育 発活動)	国際理解セミナー, グローバル学習など					学務課・学生課
広報		HP(トピックス, 国際交流 室, 英語版), 学校要覧 など					総務課・学務課, 総務・広報室
留	'学生支援	留学生交流会,見学旅行,総 文,留学生手引きなど					学務課・学生課

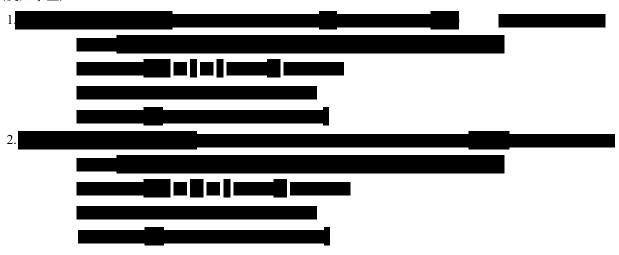
2019年度「香川高専グローバルエンジニア研修プログラムー短期受入(第3次)」の実施要項(案)

1. 目的と目標

本校の教育目的の一つに、「国際的に活躍できる技術者を養成する」がある。本プログラム(短期受入)では、協定校から学生を本校へ短期間受入れて、本校の研究・教育環境を協定校学生と共有することで、本校学生の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の向上、並びに海外異文化の理解と自国日本の理解を深めることを目標とする。また、本校教員による国際交流活動への貢献や研究活動の更なる推進を目指す。

2. 受入学生・指導教員・受入期間

(受入学生)



(受入期間)

2019年6月10日(月) ~ 2019年8月5日(月)

3. スケジュールと実施内容

(1) 移動スケジュール

往路: 6/9(日) 21:55 (BKK) => 6/10(月)06:05 (HND), JL034; 7:45 (HND) => 9:00(TAK), JL486; 高松キャンパスへ移動。

復路: 8/5(月) 20:05 (TAK) => 21:25 (HND); 8/6(火) 00:40 (HND) => 05:00 (BKK), JL033

- (2) オリエンテーションなど
 - ・到着後に、国際交流室が各キャンパスにおいて学校紹介・学校案内・生活支援等のオリエンテーション を行う。
- (3) 研修·研究
 - ・指導教員は受入学生と相談して具体的な研修内容を決定する。
 - ・指導教員は定期的に受入学生と打合せを行い、進捗状況を確認しながら遂行する。
 - ・本プログラムの目的から、受入学生を日本人学生と交流できる環境におく。
 - ・その他、体調面や悩み等があれば指導教員と国際交流室員が連携しながら支援する。

- ・必要なら、研修の最後にインターンシップ報告会を開催する。
- ・指導教員は受入学生の研修内容に関する評価を行い、国際交流室が取りまとめて協定校へ提出する。
- ・受入学生の研修内容に関係する消耗品の購入費を国際交流室が負担する。ただし、受入学生1名あたりの上限額を設ける。
- (4) 日本文化の体験と学生交流
 - ・受入学生から希望があれば、放課後等を利用して本校の課外活動等に参加する。
 - ・長期留学生用の留学生見学旅行に参加し、日本の文化を体験する。
- (5) サポート体制
 - ・受入学生に対して、生活面並びに研修・研究に関するサポートを行うチューターをおく。
 - ・安全対策として、受入学生と常に連絡の取れる体制とする。

4. 経費

- ・チューター謝金(最大15時間/月/受入学生)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (860円/時間)×(15時間/月/受入学生)×(2月)×(2月) = 最大 51,600円 (専攻科生の場合)
- ・受入学生の研修に必要な消耗品等の費用(最大1万円/月/受入学生)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (10,000 円/月/受入学生)×(2 月)×(2 名) = 最大 40,000 円

5. その他

- 5-1. 短期受入留学生を本校の「特別聴講学生」として扱う。
- 5-2. 協定校との学生交流細則に関する合意覚書(MOA)に基づいて、以下のとおりとする。
 - (1) 宿泊施設

「学生寮におけるビジターの宿泊についての申合せ」を適用して学生寮を斡旋する。または、本校が学 外の宿泊施設を斡旋する。

(2) 授業料等

入学金、検定料授業料、図書館費用、コンピュータ利用料、その他事務的費用を請求しない。

(3) 個人負担

渡航費, ビザ取得にかかる費用, 滞在費, 教材費および保管に関する費用(個人及び傷害)は受入学生 当人の負担とする。

(4) 証明書

本プログラムを修了した際に修了書を発行する。協定校が作成した評価書などへの入力依頼があれば、 入力して送付する。

2019 年度 香川高専 海外インターンシップ 募集要項(案)

指導教員/担任 各位

学 生 各位

香川高専 国際交流室

本募集要項に基づいて、本年度の海外インターンシップに参加する学生を募集します。

1. 目的

将来のキャリアに関連した就業体験を得ることにより、技術者としての心構え、考え方、行動のあり方などを学び、学内における勉学・研究活動や将来の進路選択に活かすことを目的とする。 さらに、将来、海外で勤務する可能性は十分あるため、海外における異文化圏で就業体験し、様々な観点において考え方などの類似点や相違点を経験しておく。

2. 派遣概要

派 遣 国:タイ,バンコク

派遣人数:2~4名(電気系,機械系,情報系,環境系)

期 間:夏季休業中(8月末から9月末)のうちの3週間程度(先方と相談のうえ決める)なお、宿泊は近隣のアパートを利用する

【協力企業】

事業分野:①環境科学,②工学設計,③材料科学

例えば、①では、各地の現場で環境測定、測定機器の修理やメンテナンス。②では、各種コントロールボックスの設計、マニュアル的な操作が多い機器に IT を導入、など。

会社役員さまの意見として,

- ・「仕事ができる人」=「自分で考えることができ、センスがある人」と考えている。 積極的に行動できる学生に就業経験をしてほしい。
- ・日本人の勤勉さを当社社員に対する模範となって伝えてほしい。
- ・研修内容は参加学生さんと相談しながら検討します。

なお,日本人従業員はいませんが,ほとんどの方は英語を話し,中には日本語を話す 方もいます。

3. 費用

必要経費として、日本国内での移動費(約 10,000 円)+航空運賃(30,000 円~80,000 円)+現地国での移動費(約 5,000 円)+宿泊費(約 20,000 円)+食費(約 1,000 円程度/日)がある。その他、渡航前にパスポートの取得費や海外旅行保険料なども必要である。なお、本インターンシップは本校の国際交流支援基金事業助成の対象であり、申請することで費用の一部が補填される。

4. 申請条件

- (1) 4年生,専攻科へ進学する本科5年生及び専攻科1年生のうち,健康で人物等に優れており, さらに4年生は担任から,5年生以上は指導教員から参加を認められた者
- (2) 学業成績が優秀(昨年度の成績評価係数が 2.30 以上)である者
- (3) TOEIC400 点以上,またはこれに準ずる資格を有する者(要証明書)
- (4) 積極的に行動でき、英語によるコミュニケーションをとろうとする者
- (5) 必須の条件ではないが、過去に渡航経験のある者が望ましい

5. 申請手続きと選考

申請書(様式 1)と申請書(様式 2)に必要書類を添付して、令和元年 6 月 24 日(月)までに提出する。様式 1 は先方へ送付するので、全て英語で記入すること。なお、提出が遅れた場合や申請に不備がある場合(審査できない場合)は無効とする。

1次選考では、上記「3.申請条件」における各申請条件の要素を総合して選考する。

2次選考では、先方(協力企業)にて、申請書(様式 1)に記載されたスキルやキーワードなどから受入可能な学生を選別したうえで、最終的に参加学生を決定する。なお、応募者が多い場合は渡航経験の多い学生を優先する。選考結果は、本人と指導教員に連絡する。

6. 参加前の提出等

採択された学生は、以下の書類を指定した期限までに提出し、事前研修会に出席する。書類の 提出期限は別途連絡する。

- (1) パスポート(顔写真のページ)のコピーを提出する
- (2) 承諾書・同意書に本人と保護者が署名し、提出する
- (3) 海外旅行保険(対人対物を含む)に加入し、控え書のコピーを提出する なお、上の提出がない場合や事前研修会に出席しなかった場合は参加を取り消す。

7. 参加後の提出等

参加学生は、帰国後に以下の報告等を行う。

- (1) 「アンケート用紙」,「他学生へのメッセージ」を提出する
- (2) 国際交流活動報告会などの学校行事で報告する

(3) その他, 文化および学術交流活動への要請がある場合に積極的に参加する

なお、本科生の「校外実習」または専攻科生の「インターンシップ」への単位認定を希望する場合は、担任、指導教員や専攻科委員に相談のうえ学生自身で手続きを進めること。

8. 問い合わせ先と提出先

本インターンシップに関するすべての問合せ先と提出先は以下のとおりである。

高松キャンパス 学務課 学務係 087-869-3832

詫間キャンパス 学生課 教務係 0875-83-8516

令和元年度「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムー派遣型(第1次)」 の参加学生募集について(案)

指導教員 各位 学 生 各位

香川高専 国際交流室

本募集要項に基づいて、本年度の「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムー派遣型 (第1次)」に参加する学生を募集します。

1. 本プログラムの目的と目標

本校の教育目的の一つに、国際社会で活躍できる技術者を養成することが掲げられている。本プログラムでは、本校と学術交流協定を締結する海外の大学(以下、協定校)へ学生を派遣し、協定校における教育研究環境の下で自らの専門分野に関する研究または研修に取り組むことで、英語を用いたコミュニケーション能力の向上、ならびに海外異文化の理解とともに自国日本の理解を深めることを目標とする。さらに、本校と協定校の教員が互いに交流する機会をつくることで、本プログラムの継続的な実施を目指す。

2. 派遣先,研究·研修分野,募集人数

派 遣 先:タイ国 ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 工学部または理工学部

Faculty of Engineering / Faculty of Science and Technology,

Rajamangala University of Technology Thanyaburi (RMUTT)

分 野: それぞれの学部には以下の学科があり、いずれかの指導教員とマッチングが可能なテーマ

【工学部】Civil Engineering, Electrical Engineering, Mechanical Engineering, Industrial Engineering, Textile Engineering, Electronics & Telecommunication Engineering, Computer Engineering, Chemical Engineering, Material and Metallurgical Engineering, Agricultural Engineering (詳細な研究キーワードは表 A に記載)

【理工学部】Chemistry, Mathematics, Statistics, Biology, Computer Science, Information Technology, Applied Physics

募集人数:6名程度

3. 派遣期間

令和元年9月の3週間程度とする。先方都合を考慮して出発日程と期間が確定し、派遣学生の全員が同じ行程で移動する。申請者は派遣期間中の予定を空けておくこと。

4. 実施内容

- (1) 本校指導教員と派遣先指導教員が具体的な研究・研修課題を協議し、設定する。国際交流室が仲介する場合もある。
- (2) 派遣期間中,派遣学生は派遣先指導教員の指示に従って課題を解決していく。
- (3) 本校指導教員は、派遣先指導教員と連携しながら、派遣学生の研究・研修をサポートする。国際交流室は生活面のサポートを行う。
- (4) 派遣学生は、協定校の国・地域における文化や風習を体験し、理解する。

(5) 国際交流室は、派遣学生の研究・研修等に関する評価書への記入を派遣先指導教員に依頼する。作成された評価書は本校指導教員に渡す。

5. 費用

国内移動費、航空券、滞在費(学生寮を予定)、海外旅行保険費用など必要経費として、12万円程度を予定している(食費、パスポートやその他の旅行の準備にかかる費用は含まない)。ただし、(独)日本学生支援機構より条件を満たす場合には5名まで奨学金の支給が可能である。または、本校の国際交流支援基金事業助成への申請対象である。なお、派遣先における授業料・施設利用等の諸経費は、本校との学術交流協定(MOU)及び学生交流実施細則(MOA)により免除される。

6. 申請条件

- (1) 本科4年生で担任から派遣を認められた者、または専攻科へ進学する本科5年生及び専攻科1年生で指導教員から派遣を認められた者
- (2) 学業成績が優秀(昨年度の成績評価係数が 2.30 以上)である者
- (3) 健康で、人物等に優れている者
- (4) TOEIC400 点以上,またはこれに準ずる資格を有する者(要証明書) (これに満たない場合,相当と認められる評価書を指導教員が作成して提出すること)
- (5) 積極的に行動でき、英語によるコミュニケーションをとろうとする者
- (6) 本科5年生または専攻科1年生派遣の場合、指導教員は協定校との連携や学生のサポートができること

7. 申請手続き

申請書(英語版) (様式1) と申請書 (様式2) に必要書類を添付して、<u>令和元年7月2日(火) 17時</u>までに提出する。様式1は先方へ送付するので、全て英語で記入すること。なお、提出が遅れた場合や申請に不備がある場合(審査できない場合)は無効とする。

8. 選考

1次選考:上記「6.申請条件」における各基準等の要素を総合して選考する。

2次選考: ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 工学部または理工学部 国際交流室にて、申請書(英語版)に記載されたキーワード等から受入可能な学生を選別したうえで、最終的に派遣者を決定する。 最終的な選考結果は、本人と指導教員に連絡する。

9. 派遣前の提出等

派遣申請に採択された学生は、以下の書類を指定期限までに提出し、事前研修会に出席する。書類の提出期限は別途連絡する。

- (1) パスポートのコピーを提出する。
- (2) 承諾書・同意書に本人と保護者が署名し、提出する。
- (3) 海外旅行保険へ加入し、控え書のコピーを提出する。
- (4) 国際交流室が実施する事前研修会に出席する。

なお、上の提出がない場合や事前研修会に出席しなかった場合は、派遣を取り消す。 また、渡航日までに「たびレジ(外務省海外旅行登録)」に登録しておくこと。

10. 派遣後の報告等

派遣学生は、本研修プログラムの一環として、帰国後、以下の報告等を行う。

- (1) 「活動日誌報告書」、「アンケート用紙」、「他学生へのメッセージ」を提出する。書式は別途定める。
- (2) TOEIC を受験し、その成績表のコピーを提出する。
- (3) 学生による国際交流活動報告会などの学校行事で報告する。
- (4) その他、文化および学術交流の推進活動への要請がある場合に積極的に参加する。

11. 本プログラムによる成績評価

派遣先の指導教員が研修における評価報告書を作成し、本校の指導教員に引き渡される。なお、専攻科生が「特別研究」の評価に代わって「インターンシップ」への単位認定を希望する場合は、指導教員に相談のうえ学生自身で手続きを進めること。

12. 問い合わせ先と提出先

本プログラムに関するすべての問い合わせ先と提出先は以下のとおりとする。

高松キャンパス 学務課 学務係 087-869-3832

詫間キャンパス 学生課 教務係 0875-83-8516

#1:2014年8月に本校と学術交流に関する協定を締結した。以下、これまでの実績:

- ・2015年4月 6名の学生を本校に受け入れて、ロボットに関する3週間の研修
- ・2017年3月 本校7名の学生を派遣して、10日間の研修
- ・2017年6月 3名の学生を本校に受け入れて、2~3カ月の研修・研究
- ・2017年9月 本校1名の学生を派遣して、23日間の研究・研修
- ・2018年3月 本校5名の学生を派遣して、10日間の研修
- ・2018年5月 6名の学生を本校に受け入れて、2~3カ月の研修・研究
- ・2018年9月 本校10名の学生を派遣して、12日間のアクティビティ研修
- ・2019年5月 7名の学生を本校に受け入れて、2~3カ月の研修・研究

表A工学部各学科で実施されている研究キーワードの一覧

Civil Engineering	Geotechnical Eng, Structural Analysis, Transportation Eng, Survey Eng, Hydrology and Hydraulic Eng,
Civil Engineering	Environmental Management
Electrical Engineering	High Voltage, Power Eng, Power Engineering System Prevention, Electrical Machines, Control
Electrical Engineering	Systems, Renewable energy, Power electronics and electric drive
Madania I Enginessing	Biomass Energy & Gasification Technology, Wind Turbine Generato, Innovative System Design
Mechanical Engineering	and Analysis, Absorbing solar cooling system, Fuel cells (PEM, SO), Robotics
L. d. Aid Duning and	Industrial Engineering, Production and Operation Management, Quality Management, Supply
Industrial Engineering	Chain Management, Material Science and Processing System Engineering, Education
Tartila Empiroration	Synthetic fiber, Natural and synthetic blended fibers, Textile finishing processes, Garment
Textile Engineering	production and development, Technical textiles
Electronics & Telecommunication	High frequency circuit and Antenna design, Digital communication, Digital signal processing,
Engineering	Robotics and PLC, Non-linear circuit and oscillation
Computer Engineering	Embedded system, Software and hardware system, Information technology
Chemical Engineering	Bio-chemical Eng, Process System Eng, Polymer Technology
Material and Metallurgical	Injection Molding, Extrusion Molding, Blow Molding, Compression Molding, Thermoforming

Engineering	of Plastic, Mechanical and Chemical Testing of Plastic and Rubber, FT-IR, DSC, TMA, TGA
Agricultural Engineering	Machine Design, Fluid Dynamic, Pumping, Fan and Compressor, Soil Mechanics, Chemical and
	Food Microbiology, Food Materials



AFFILIATION

1st year

Department of Electrical and Computer Engineering Faculty of Advanced Engineering (Takamatsu campus) National Institute of Technology, Kagawa College

KEY SKILLS

(*: Exellent skills)

Microsoft Office (Word*, Excel*, Powerpoint*)?
Windows*, Linux*, C language*, COMSOL, Matlab
Measurements (Oscilloscope*, Generator*, etc)

Embedded Technology with Raspberry Pi

卒業研究や実習で扱った経験のあるスキル (十分なスキルをもつなら*をつける)

KEYWORDS

Polymer materials...

研究内容のキーワード

派遣先で実施したい研究テーマ

DESIRED SUBJECT

EXPERIENCE

Internship at ABC company for 3 weeks on September 2014 Language study in New Zealand for 4 weeks on August 2015

LANGUAGES

English: B1, TOEIC score 650

Japanese: Excellent Other Language:

ADDITIONAL INFO

Interests: Baseball, Judo

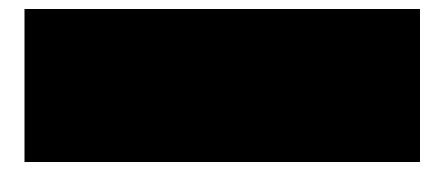
Allergy: none

Chronic disease: none Diet restriction: none

その他,特筆すべき事項

SUPERVISOR AT NITKC Professor, Jiro Kagawa, Dr

Email: jiro.kagawa@kagawa-nct.ac.jp



Dear Sir or Madam,	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	以下の項目をアピールして
	ください。
	○ 1 ページ目の研究テー
Sincerely,	マについて, 行いたいこと を具体的に書く。
	で共体的に書く。 ○その他,見学や体験し
Taro Kosen	たいこと。触れてみたい文
	化。興味のあること。
	○逆に, これだけはしたく
	ないこと。 (あれば)
	など
My graduation research at the fifth year of the regular course	
Title: ····	
Abstract:	

(様式2)

令和	n元年度「香川高	専グローバル・エンジニア研修プログラム <mark>ー派遣型</mark> (第1次)」参加申	∄書	
香川高等	等専門学校長 殿	令和 年	月月	3
標記につ	ついて, 下のとお	り申請いたします。		
		工学科・専攻 年 氏名		
		保護者氏名(自筆)	印	
I	派遣先	ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 (タイ)		
計	吾学力	TOEIC スコアの最高点: 点(受験日 年 月) □ 写添ししあれば, その他の英語関連資格: 点(受験日 年 月) □ 写添ん		
万	战績評価係数*			
,	パスポート有無	□有(有効期限: 年 月/パスポート名: □無)	
E	日本学生支援機構	の奨学金受給を □申請する ⇒ 様式3に記入して申請してください □申請しない		
	コグラムの申請条 て,学生をサポー	* 学務係または教務係で確認して記入し 合件を満足しているので、上の学生を派遣することを認めます。また、 ・トします。		<u>L</u>
		指導教員 (自筆)	臼	

令和元年度「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラム<mark>ー派遣型</mark>(第1次)」にかかる 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金申請書

工学科・専攻	<u>年</u>	氏名	
保護者氏名	(自筆)		

年収・所得	<u>約 円 (給与所得・給与所得以外)</u> □ 添付
JASSO 奨学金の受給	受給の有無 <u>有・無</u> 有の場合: 第 I 種・第 II 種 (いずれかに○) 奨学生番号: 休止等手続き状況: 手続き月(予定月):
JASSO 奨学金以外の 奨学金の併給	併給の有無 有・無 有の場合: 名称: 月額:

令和元年度「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラム(第2次)」 の参加学生募集について(案)

指導教員 各位学 生各位

香川高専 国際交流室

本募集要項に基づいて、本年度の「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムー派遣型(第2次)」に参加する学生を募集します。

1. 本プログラムの目的と目標

本校の教育目的の一つに、国際社会で活躍できる技術者を養成することが掲げられている。本プログラムでは、本校と学術交流協定を締結する海外の大学(以下、協定校)へ学生を派遣し、協定校における教育研究環境の下で自らの専門分野に関する研究または研修に取り組むことで、英語を用いたコミュニケーション能力の向上、ならびに海外異文化の理解とともに自国日本の理解を深めることを目標とする。さらに、本校と協定校の教員が互いに交流する機会をつくることで、本プログラムの継続的な実施を目指す。

2. 派遣先,研究·研修分野,募集人数

派 遣 先:フランス トゥール大学ブロア校またはトゥール校#

(Institut Universitaire de Technologie in Blois (IUT de Blois), or IUT de Tours)

分 野:下の5学科の指導教員とマッチングが可能なテーマ

①Networks and Communications, ②Applied Physics, ③Material Science, ④Information Technology, ⑤ Electrical Engineering and Industrial Data Processing

他の分野でも先方と調整可能です。

募集人数:5名程度

3. 派遣期間

令和元年9月以降の1か月間から3カ月間(最大90日未満)とする。先方都合を考慮して出発日程が確定し、派遣学生の全員が同じ行程で移動する。申請者は派遣期間中の予定を空けておくこと。なお、本校教員による現地までの引率ができない場合がある(この場合、派遣国の空港に協定校教員が送迎に来る予定)。

4. 実施内容

- (1) 本校指導教員と派遣先指導教員が具体的な研究・研修課題を協議し、設定する。国際交流室が仲介する場合もある。
- (2) 派遣期間中,派遣学生は派遣先指導教員の指示に従って課題を解決していく。
- (3) 本校指導教員は、派遣先指導教員と連携しながら、派遣学生の研究・研修をサポートする。国際交流室は生活面のサポートを行う。
- (4) 派遣学生は、協定校の国・地域における文化や風習を体験し、理解する。
- (5) 国際交流室は、派遣学生の研究・研修等に関する評価書への記入を派遣先指導教員に依頼する。作成された 評価書は本校指導教員に渡す。

5. 費用

国内移動費(約2万円), 航空券(約12万円), 滞在費(ホームステイを予定, EUR500/月), 海外旅行保険費用などが基本経費として必要である(食費, パスポートやその他の旅行の準備にかかる費用は含まない)。ただし,(独)日本学生支援機構より条件を満たす場合には2名まで奨学金の支給が可能である。または, 本校の国際交流支援基金事業助成への申請対象である。なお, 派遣先における授業料・施設利用等の諸経費は, 本校との学術交流協定及び学生交流実施細則により免除される。

6. 申請条件

- (1) 来年度に専攻科へ進学する本科5年生、専攻科1年生と2年生で指導教員から派遣を認められた者
- (2) 学業成績が優秀(昨年度の成績評価係数が 2.30 以上)である者
- (3) 健康で、人物等に優れている者
- (4) TOEIC400 点以上, またはこれに準ずる資格を有する者(要証明書) (これに満たない場合, 相当と認められる評価書を指導教員が作成して提出すること)
- (5) 積極的に行動でき、英語によるコミュニケーションをとろうとする者
- (6) 指導教員は協定校との連携や学生のサポートができること

7. 申請手続き

申請書(英語版) (様式1) と申請書 (様式2) に必要書類を添付して、<u>令和元年7月2日(火) 17時</u>までに提出する。様式1は先方へ送付するので、全て英語で記入すること。なお、提出が遅れた場合や申請に不備がある場合(審査できない場合)は無効とする。

8. 選考

1次選考:上記「3. 申請条件」における各基準等の要素を総合して選考する。

2次選考:トゥール大学国際交流室にて、申請書(英語版)に記載されたキーワード等から受入可能な学生を選別したうえで、最終的に派遣者を決定する。最終的な選考結果は、本人と指導教員に連絡する。

9. 派遣前の提出等

派遣申請に採択された学生は、以下の書類を指定期限までに提出し、事前研修会に出席する。書類の提出期限は別途連絡する。

- (1) パスポートのコピーを提出する。
- (2) 承諾書・同意書に本人と保護者が署名し、提出する。
- (3) 海外旅行保険へ加入し、控え書のコピーを提出する。
- (4) 国際交流室が実施する事前研修会に出席する。

なお、上の提出がない場合や事前研修会に出席しなかった場合は、派遣を取り消す。 また、渡航日までに「たびレジ(外務省海外旅行登録)」に登録しておくこと。

10. 派遣後の報告等

派遣学生は、本研修プログラムの一環として、帰国後、以下の報告等を行う。

- (1) 「活動日誌報告書」,「アンケート用紙」,他学生へのメッセージ」を提出する。書式は別途定める。
- (2) TOEIC を受験し、その成績表のコピーを提出する。
- (3) 学生による国際交流活動報告会などの学校行事で報告する。

(4) その他、文化および学術交流の推進活動への要請がある場合に積極的に参加する。

11. 本プログラムによる成績評価

派遣先の指導教員が研修における評価報告書を作成する。その報告書は本校の指導教員に引き継がれて、卒業研究・特別研究等の評価用資料の一部に加えられる。なお、専攻科生が「特別研究」の評価に代わって「インターンシップ」への単位認定を希望する場合は、指導教員に相談のうえ学生自身で手続きを進めること。

12. 問い合わせ先と提出先

本プログラムに関するすべての問い合わせ先と提出先は以下のとおりとする。

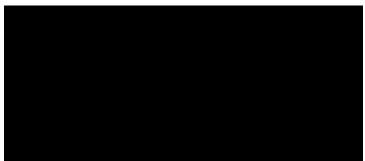
高松キャンパス 学務課 学務係 087-869-3832

詫間キャンパス 学生課 教務係 0875-83-8516

#1:2015年12月に本校と学術交流に関する協定を締結した。以下はこれまでの交流実績:

- ・2016年4月 1名の学生を本校に受け入れて、3カ月間の研修・研究
- ・2016年9月 1名の学生を同大学ブロア校に派遣して、3カ月間の研究
- ・2017年4月 4名の学生(トゥール校含む)を本校に受け入れて、3カ月間の研修・研究
- ・2018年4月 4名の学生(トゥール校とブロア校)を本校に受け入れて、3カ月間の研修・研究
- ・2018年10月 3名の学生を同大学ブロア校とトゥール校に派遣して、3カ月間の研究
- ・2018年11月 1名の学生(トゥール校)を本校に受け入れて、2カ月間の研修・研究
- ・2019年4月 5名の学生(トゥール校とブロア校)を本校に受け入れて、3カ月間の研修・研究





AFFILIATION

1st year

Department of Electrical and Computer Engineering Faculty of Advanced Engineering (Takamatsu campus) National Institute of Technology, Kagawa College

KEY SKILLS

Microsoft Office (Word*, Excel*, Powerpoint*)? Windows*, Linux*, C language*, COMSOL, Matlab Measurements (Oscilloscope*, Generator*, etc) Embedded Technology with Raspberry Pi

(*: Exellent skills)

KEYWORDS

Polymer materials...

(十分なスキルをもつなら* をつける)

た経験のあるスキル

卒業研究や実習で扱っ

研究内容のキーワード

派遣先で実施したい研究テーマ

DESIRED SUBJECT

EXPERIENCE Internship at ABC company for 3 weeks on September 2014

Language study in New Zealand for 4 weeks on August 2015

LANGUAGES

English: B1, TOEIC score 650

Japanese: Excellent Other Language:

ADDITIONAL INFO

Interests: Baseball, Judo

Allergy: none

Chronic disease: none Diet restriction: none

その他,特筆すべき事項

SUPERVISOR AT NITKC Professor, Jiro Kagawa, Dr

Email: jiro.kagawa@kagawa-nct.ac.jp



Dear Sir or Madam,	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	以下の項目をアピールして ください。 ○ 1 ページ目の研究テー
Sincerely,	マについて, 行いたいこと を具体的に書く。
Taro Kosen	○その他,見学や体験したいこと。触れてみたい文化。興味のあること。○逆に,これだけはしたくないこと。(あれば)など
My graduation research at the fifth year of the regular course	
Title:	
Abstract:····	

(お上しる)	(様式2)
--------	------	---

É	分 和元年度「香川高	「専グローバル・エンジニア研修プログラム <mark>ー派遣型</mark> (第2次)」参加申請書	
香川高	高等専門学校長 殿	令和 年 月	日
標記り	こついて,下のとお	らり申請いたします。	
		工学科・専攻 年 氏名	
		保護者氏名(自筆)	[]
	派遣先	トゥール大学ブロア校(フランス)	
	語学力	TOEIC スコアの最高点:	
	成績評価係数*		
	パスポート有無	□有(有効期限: 年 月/パスポート名:) □無	
	日本学生支援機構	ずの奨学金受給を □申請する ⇒ 様式3に記入して申請してください □申請しない	
	プログラムの申請タ して,学生をサポー	* 学務係または教務係で確認して記入します 会件を満足しているので、上の学生を派遣することを認めます。また、派遣 -トします。	先と
		指導教員 (自筆) 戶	[]

令和元年度「香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムー派遣型 (第2次)」にかかる 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金申請書

工学科・専攻 年 氏名

印

年収・所得	<u>約</u> 円 (給与所得・給与所得以外) □ i
JASSO 奨学金の受給	受給の有無 <u>有・無</u> 有の場合: 第 I 種・第 II 種 (いずれかに○) 奨学生番号: 休止等手続き状況: 手続き月(予定月):
JASSO 奨学金以外の 奨学金の併給	併給の有無 <u>有・無</u> 有の場合: 名称: 月額:

保護者氏名(自筆)

令和 元年度 マレーシアマラエ科大学(UiTM)海外英語研修実施要領(案)

- 1. 目的: · UiTM で教鞭をとるネイティブと同じ能力を持つ英語教師による英語指導を受け、英会話力を養う
 - ・UiTM 学生とともに学習及び復習し、さらに実力を実地で検証する。
 - ・UiTM の国際交流部(OIA)が用意した異文化交流プログラムでの異文化体験、史跡見学、主要施設等の見学により、アジア及び世界の文化を吸収し、見聞を広め、コミュニケーション能力を涵養する
- 2. 研修先: Universiti Technologi MARA (UiTM) 国際交流部 (OIA)
- 3. 日程: 令和元年9月9日(月) ~ 令和元年9月21日(金) (14日間)
 - 9月8日 高松空港集合・出発、関西空港着

関西空港発クアラルンプール着(マレーシア航空/日本航空共同運航便 MH53 便)

- 8月8日 クアラルンプール着 マラ工科大学移動
- 9月9日から9月21日まで

午前中は語学研修、午後はチュータと一緒に実地に英語訓練、異文化体験、見学旅行 (詳細は、添付のプログラム参照)

- 9月21日 クアラルンプール発 関空着(マレーシア航空/日本航空共同運航便 MH52 便) 関空発・高松駅港着・解散
- 4. 募集学生:10名程度(高松キャンパス:5名程度、詫間キャンパス:5名程度)

 参加費:17万円程度 (参加費(宿泊費移動費含む), 航空券代(関空・クアラルンプール))
- 5. 引率教員: 往路: (9/8 ~ 9/15) (予定)

復路: (9/15 ~ 9/21) (予定)

学生の UiTM での授業料に対する補助を行う。これに加え、GET プログラム学生派遣研究室探索の打ち合わせ、共同研究を実施する。

- 6. 経費:
 - (1) 教員:引率に係る経費は国際交流経費より支出する。

引率旅費(1名分) 200,000 円程度

内訳:旅費:約75,000 円 日当:約35,000 円(7日) 宿泊費: 約48,000 円(6泊,約8,000 円/泊))

- (2) Ara と同様の考え方で決定した補助を寄付金(学生海外派遣等)より支出する(案)。
- 7. 備考:参加学生は事前・事後研修への出席が義務付けられている。

国際交流室が開催する「学生による海外活動発表会」で発表する。

国際交流室が主催する各種国際交流プログラムの啓発活動の補助要請に答える。



Course Module

SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION WITH CULTURAL EXPERIENCE

Prepared for

NIT-KAGAWA



Prepared by



UiTM Shah Alam

Course Description

This course is aimed to help promote effective speaking in classrooms by engaging participants in communicative activities to develop oral proficiency. The course aims to develop participants' confidence in using English in both formal and informal situations. The ability to speak English effortlessly in a variety of situations requires good pronunciation, a wide range of vocabulary, grammatical accuracy and also the knowledge of what to say to whom and when. In short, proficiency in speaking includes knowledge not only of the language but also social and cultural norms, and the ability to respond appropriately in a variety of situations. This course contains a range of activities to encourage students to speak effectively and with confidence. The activities are mainly designed around shared experiences, to be done in pairs and groups so that participants learn to respond spontaneously in any communication situation. Some cultural experience learning will also be included.

Course Outcomes

At the end of the course, the participants should be able to:

- to express themselves effectively using appropriate grammar, vocabulary and pronunciation;
- to describe people, events and objects appropriately in English;
- to perform common language functions in social situations, such as making a request, asking for clarifications, giving and accepting invitations and so on; and

Course Contents

The course consists of the following related areas:

- 1. Speaking about myself
 - Making Introductions
 - Sharing Personal Information
 - Describing Feelings and Opinions
- 2. Speaking accurately
 - Pronouncing vowels/consonants/diphthongs accurately
 - Working with Silent Letters
 - Learning Word Stress
- 3. Cultural Experience -

Visiting the Cultural Centre at UiTM-Shah Alam, Malaysia

- Malay dance
- Traditional Musical Instruments

Methodology

This course adopts a student-centered approach. Diverse sources (i.e. movies, videos, role-plays) that demonstrate both positive and negative incidences will be shown and discussed. The facilitator

will also guide the participants based on their specific tasks and needs. Participants will have opportunities to ask questions and role-play some of the tasks given. Participants will also visit places that promote authentic and experiential learning which relate to language functions and hence provide real life situations.

Programme Duration

4th March – 15th March 2019 (10 days)

Facilitator

TBC

Number of Participants

10 participants per class

UITM - NIT KAGAWA: SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION PROGRAMME SCHEDULE -TENTATIVE

4th March - 15th March 2019

Week 1: UiTM Shah Alam

	9.00 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.00	2.00 - 3.30	3.30 - 5.00			
	Airport Pick-Up: Arrival of NIT KAGAWA College, Japan students at KLIA - UiTM Shah Campus Flight No. / Time: ?? (Transport arrangement by ??) Free Activity / Rest WEEK 1								
Monday (04/03/2019)	Programme Briefing & Orientation - team building activity (ice-breaker games) - briefing on activities for Buddy Programme - Gesturz - library - Chancellory etc								
Tuesday (05/03/2019)	Lecture 1 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Adjective	Break	Lecture 2 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - Flashcards During the discussion,	Lunch Break	Student Interaction Interaction: Talk about or describe yourself. Role Play, video presentation etc.				
	Adjective		mention that introductions do not include only an exchange of names — we						

	Stimulus: Making introductions		should add a little more information to make it easier to start a conversation.			
Wednesday (06/03/2019)	Lecture 3 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Sharing Personal Information	Break	Lecture 4 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - practising the language of sharing information	Lunch Break	Student Interaction Presentation: Role play *Video or audiotape or read dialogues.	Activities with buddies
Thursday (07/03/2019)	Lecture 5 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Describing feelings and opinions	Break	Lecture 6 Communicative English Instruction: Watch videos of describing feelings, opinions and beliefs. Distribute vocabulary list which contains common expressions (and a vocabulary guide) for expressing opinions. Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs with given topics.	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs of the Japanese. Present a short skit/role play on feelings, opinions and beliefs	Activities with buddies

FRIDAY (08/03/2019)	Lecture 7 Communicative English: Topic: Speaking about myself Lecture topic: Using all the part of speech taught this week. Stimulus: Making introductions Sharing Personal Information Describing feelings and	Break	Lecture 8 Communicative English: Instructions: Group work Situational base Short skit presentations using all the stimulus taught.		Student Interaction: Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activities with buddies
SATURDAY (09/03/2019)	opinions		Free activitie	S		
SUNDAY (10/03/2019)			Free activitie	s		

WEEK 2								
	8.30 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.30	2.30 – 4.30	4.30 – 5.00		
Monday (11/03/2019)	Lecture 9 Communicative English	Break	Lecture 10 Communicative English	Lunch Break	Student Interaction	Activities with		
(13/20/2015)	Topic:		Instruction:		Presentation and interaction:	buddies		
	Speaking accurately Lecture topic:		Laboratory work or use audiotape/videotape.		Pair and group work. Giving conversation samples for students to			
	English language features:		Record students as they speak. Word list		present and practise. Video taped students'			
	Pronouncing vowels/consonants/		-monophthongs (single vowel sounds) and the second column has words with		presentations.			
	diphthongs accurately		diphthongs (vowel glides).					
			Articulate questions, commands, exclamations and tags.					
Tuesday	Lecture 11	Break	Lecture 12	Lunch	Student Interaction	Activites		
(12/03/2019)	Communicative English		Communicative English	Break	Presentation and interaction:	with buddies		
	Topic:		Instruction:		Pair and group work.			
	Speaking accurately		Word list		Role play using the			
	Lecture topic: Working with silent letters		-24 consonant sounds and 20 vowel sounds, represented by just 21 consonant letters and		silent words where appropriate.			
			five vowel letters. Jumbled list		Video taped students' presentations.			

			Pair work Group work			
Wednesday (13/03/2019)	Lecture 13 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Learning word stress Using all parts of speech and all English language features that have been taught.	Break	Lecture 14 Communicative English Instruction: Word list - common disyllabic (having two syllables) or polysyllabic (more than two syllables) Jumbled list Pair work Group work	Lunch Break	Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activites with buddies
Thursday (14/03/2019)	Experiential Learning with buddies (9.00 am – 1.00 pm) Visit to PUSAT KEBUDAYAAN, HEP, UITM Shah Alam - Performing Malay dance - playing traditional musical instruments	Break	Preparation for farewell closin -students' presentation practice - students' speech	g ceremor	ny students and buddies	Activites with buddies
Friday (15/03/2019)	Farewell & Certificate Presentation Ceremony Venue: OIA Seminar Hall	Break	Free time with buddies and p	reparing to	o leave Malaysia.	

Edutourism Package UiTM Pahang

	Price Package (RM)
1	RM 700 (10 person)
2	RM 450 (20 person)
3	RM 400 (20 person)

DAY 1	
9.00 am	Pickup at Kuala Lumpur, Head to Kuala Gandah Elephant Sanctuary Tours
11.00 am	Arrived and experienced at Kuala Gandah (Kuala Gandah Elephant Sanctuary Pahang is one of Malaysia's premier elephant conservation centers. Nature and wildlife lovers now have the opportunity to observe elephants, learn how they're being cared for and rehabilitated, and directly contribute to the course of elephant conservation in Malaysia)
1.30 pm	Lunch at Temerloh (self_cost)
4.00 pm	Arrived at UiTM Jengka, Pahang
4.30 pm	Briefing
5.00 pm	Check-in at Kem Seri Gading
7.00 pm	Dinner
8.00 pm	Experienced night jungle walk with nature guide. Bring torch light!
11.00 pm	Good Night!
DAY 2	O S S T T T T T T T T T T T T T T T T T
8.00 am	Breakfast
9.00 am	Experiencing and knowledge sharing on agrotourism - Taman kelulut, Kebun Buah-Buahan, Taman Herba
1.30 pm	Lunch
2.30 pm	Experiencing and knowledge sharing on agrotourism - Rumah Cendawan Tiram, Rumah Cendawan Tiram, Penternakan Ayam Kampung Kacuk
4.30 pm	Tea Break (Experienced tea + Madu Kelulut)
5.00 pm	Cycling / Running activity
7.00 pm	Dinner
8.00 pm	Experienced night jungle walk with nature guide. Bring torch light!
10.00 pm	Good Night!
DAY 3	
8.00 am	Breakfast
8.30 am	Head to Kampung Pagi
	Boat ride and excursion to Kuala Keniam. Enjoy the cool, refreshing air, and the natural beauty of rainforest along the ride. Arrived at Kuala Keniam. Explore the nature and witness its unique flora, fauna and its magnificent rock formations which will definitely captivate you.
10.30 am	Boat ride to Orang Asli Village. Experience daily life of the natives at Orang Asli Village. Try out various hunting skills such as rapid shooting. Swimming near the river.
	Boat ride back to Kampung Pagi
2.00 pm	Lunch
4.00 pm	Check out and leave UiTM Jengka, Pahang.

Package included

- $\sqrt{}$ 2 night stay at Kem Seri Gading, UiTM Jengka Pahang
- √ River boat crossing shuttle
- √ 1 lunch at Kampung Pagi
- $\sqrt{}$ 2 breaksfast, 1 lunch and 2 dinner at Kem Seri Gading, UiTM Jengka Pahang

Package excluded

- √ Coach from KL to UiTM Jengka, Pahang and back to KL
- √ Coach from UiTM Jengka, Pahang to Kuala Tahan
- √ Coach from Kuala Tahan back to UiTM Jengka, Pahang
- √ 1 lunch at Temerloh



Course Module

SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION WITH CULTURAL TRIPS

Prepared for

NIT-KAGAWA



Prepared by



UiTM Shah Alam

Course Description

This course is aimed to help promote effective speaking in classrooms by engaging participants in communicative activities to develop oral proficiency. The course aims to develop participants' confidence in using English in both formal and informal situations. The ability to speak English effortlessly in a variety of situations requires good pronunciation, a wide range of vocabulary, grammatical accuracy and also the knowledge of what to say to whom and when. In short, proficiency in speaking includes knowledge not only of the language but also social and cultural norms, and the ability to respond appropriately in a variety of situations. This course contains a range of activities to encourage students to speak effectively and with confidence. The activities are mainly designed around shared experiences, to be done in pairs and groups so that participants learn to respond spontaneously in any communication situation.

Course Outcomes

At the end of the course, the participants should be able to:

- to express themselves effectively using appropriate grammar, vocabulary and pronunciation;
- to describe people, events and objects appropriately in English;
- to perform common language functions in social situations, such as making a request, asking for clarifications, giving and accepting invitations and so on; and

Course Contents

The course consists of the following related areas:

- 1. Speaking about myself
 - Making Introductions
 - Sharing Personal Information
 - Describing Feelings and Opinions
- 2. Speaking accurately
 - Pronouncing vowels/consonants/diphthongs accurately
 - Working with Silent Letters
 - Learning Word Stress
- 3. Cultural trips for experiential learning
 - Trip to Pahang (refer to leaflet)
 - Trip to Perak (refer to leaflet)

Methodology

This course adopts a student-centered approach. Diverse sources (i.e. movies, videos, role-plays) that demonstrate both positive and negative incidences will be shown and discussed. The facilitator will also guide the participants based on their specific tasks and needs. Participants will have opportunities to ask questions and role-play some of the tasks given. Participants will also visit places that promote authentic and experiential learning which relate to language functions and hence provide real life situations.

Programme Duration

4th March – 15th March 2019 (10 days)

Facilitator

TBC

Number of Participants

10 participants per class

UITM - NIT KAGAWA: SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION PROGRAMME SCHEDULE -TENTATIVE

4th March - 15th March 2019

Week 1: UiTM Shah Alam

	9.00 – 10.30 Airport Pick-Up: A	10.30 – 11.00 Arrival of N			2.00 – 3.30 nts at KLIA - UiTM Shah Can	3.30 – 5.00 npus				
	Flight No. / Time: ?? (Transport arrangement by ??) Free Activity / Rest									
			WEEK 1							
Monday (04/03/2019)	Programme - team building activity (- briefing on activities fo	(ice-breake		Lunch Break	Activities with bude Campus tour -Gesturz -library -Chancellory etc					
Tuesday (05/03/2019)	Lecture 1 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Adjective Stimulus: Making introductions	Break	Lecture 2 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - Flashcards During the discussion, mention that introductions do not include only an exchange of names — we should add a little more information to make it easier to start a conversation.	Lunch Break	Student Interaction Interaction: Talk about or describe yourself. Role Play, video presentation etc.	Activities with buddies				

Wednesday (06/03/2019)	Lecture 3 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Sharing Personal Information	Break	Lecture 4 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - practising the language of sharing information	Lunch Break	Student Interaction Presentation: Role play *Video or audiotape or read dialogues.	Activities with buddies
Thursday (07/03/2019)	Lecture 5 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Describing feelings and opinions	Break	Lecture 6 Communicative English Instruction: Watch videos of describing feelings, opinions and beliefs. Distribute vocabulary list which contains common expressions (and a vocabulary guide) for expressing opinions. Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs with given topics.	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs of the Japanese. Present a short skit/role play on feelings, opinions and beliefs	Activities with buddies
FRIDAY (08/03/2019)	Refer to leaflet	DUTOUR	ISM - CULTURAL TRIP TO	PAHANG	OR TO PERAK	
SATURDAY (09/03/2019)	Refer to leaflet	DUTOURI	ISM - CULTURAL TRIP TO	PAHANG	OR TO PERAK	
SUNDAY (10/03/2019)	Refer to leaflet	DUTOUR	ISM - CULTURAL TRIP TO	PAHANG	OR TO PERAK	

			WEEK 2			
	8.30 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.30	2.30 – 4.30	4.30 – 5.00
Monday (11/03/2019)	Lecture 7 Communicative English: Topic: Speaking about myself Lecture topic: Using all the part of speech taught this week. Stimulus: Making introductions Sharing Personal Information	Break	Lecture 8 Communicative English: Instructions: Group work Situational base Short skit presentations using all the stimulus taught.	Lunch Break	Student Interaction: Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the previous week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activities with buddies
Tuesday (12/03/2019)	Describing feelings and opinions Lecture 9 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: English language features: Pronouncing vowels/consonants/ diphthongs accurately	Break	Lecture 10 Communicative English Instruction: Laboratory work or use audiotape/videotape. Record students as they speak. Word list -monophthongs (single vowel sounds) and the second column has words with diphthongs (vowel glides). Articulate questions, commands, exclamations and tags.	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Pair and group work. Giving conversation samples for students to present and practise. Video taped students' presentations	Activites with buddies

Wednesday (13/03/2019)	Lecture 11 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Working with silent letters	Break	Lecture 12 Communicative English Instruction: Word list -24 consonant sounds and 20 vowel sounds, represented by just 21 consonant letters and five vowel letters. Jumbled list Pair work Group work	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Pair and group work. Role play using the silent words where appropriate. Video taped students' presentations.	Activites with buddies
Thursday (14/03/2019)	Lecture 13 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Learning word stress Using all parts of speech and all English language features that have been taught.	Break	Lecture 14 Communicative English Instruction: Word list - common disyllabic (having two syllables) or polysyllabic (more than two syllables) Jumbled list Pair work Group work	Lunch Break	Student Interaction Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activites with buddies
Friday (15/03/2019)	Farewell & Certificate Presentation Ceremony Venue: OIA Seminar Hall	Break	Free time with buddies and p	reparing to	leave Malaysia.	



Course Module

SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION

Prepared for

NIT-KAGAWA



Prepared by



UiTM Shah Alam

Course Description

This course is aimed to help promote effective speaking in classrooms by engaging participants in communicative activities to develop oral proficiency. The course aims to develop participants' confidence in using English in both formal and informal situations. The ability to speak English effortlessly in a variety of situations requires good pronunciation, a wide range of vocabulary, grammatical accuracy and also the knowledge of what to say to whom and when. In short, proficiency in speaking includes knowledge not only of the language but also social and cultural norms, and the ability to respond appropriately in a variety of situations. This course contains a range of activities to encourage students to speak effectively and with confidence. The activities are mainly designed around shared experiences, to be done in pairs and groups so that participants learn to respond spontaneously in any communication situation.

Course Outcomes

At the end of the course, the participants should be able to:

- to express themselves effectively using appropriate grammar, vocabulary and pronunciation;
- to describe people, events and objects appropriately in English;
- to perform common English language features:

Course Contents

The course consists of the following related areas:

- 1. Speaking about myself
 - Making Introductions
 - Sharing Personal Information
 - Describing Feelings and Opinions
- 2. Speaking accurately
 - Pronouncing vowels/consonants/diphthongs accurately
 - Working with Silent Letters
 - Learning Word Stress

Methodology

This course adopts a student-centered approach. Diverse sources (i.e. movies, videos, role-plays) that demonstrate both positive and negative incidences will be shown and discussed. The facilitator will also guide the participants based on their specific tasks and needs. Participants will have opportunities to ask questions and role-play some of the tasks given.

Programme Duration

 $4^{th}\;March-15^{th}\;March\;2019\;(10\;days)$

Facilitator

TBC

Number of Participants

10 participants per class

UITM - NIT KAGAWA: SPEAKING FOR BETTER COMMUNICATION PROGRAMME SCHEDULE -TENTATIVE

4th March – 15th March 2019

Week 1: UiTM Shah Alam

Week II OIII	Shan Alam						
	9.00 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.00	2.00 – 3.30	3.30 – 5.00	
	Airport Pick-Up: A	Airport Pick-Up: Arrival of NIT		IT KAGAWA College, Japan students at KLI Flight No. / Time: ?? (Transport arrangement by ??) Free Activity / Rest WEEK 1			
Monday (04/03/2019)	Programme - team building activity - briefing on activities for	(ice-breake		Lunch Break	Activities with bud Campus tour -Gesturz -library -Chancellory et		
Tuesday (05/03/2019)	Lecture 1 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Adjective Stimulus: Making introductions	Break	Lecture 2 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - Flashcards During the discussion, mention that introductions do not include only an exchange of names — we should add a little more information to make it easier to start a conversation.	Lunch Break	Student Interaction Interaction: Talk about or describe yourself. Role Play, video presentation etc.	Activities with	

Wednesday (06/03/2019)	Lecture 3 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Sharing Personal Information	Break	Lecture 4 Communicative English (student project) Instruction: -Pair work - Group work - practising the language of sharing information	Lunch Break	Student Interaction Presentation: Role play *Video or audiotape or read dialogues.	Activities with buddies
Thursday (07/03/2019)	Lecture 5 Communicative English Topic: Speaking about myself Lecture topic: Noun, Verb, Adjective & Adverb Stimulus: Describing feelings and opinions	Break	Lecture 6 Communicative English Instruction: Watch videos of describing feelings, opinions and beliefs. Distribute vocabulary list which contains common expressions (and a vocabulary guide) for expressing opinions. Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs with given topics.	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Discussion on the different types of feelings, opinions and beliefs of the Japanese. Present a short skit/role play on feelings, opinions and beliefs	Activities with buddies
FRIDAY (08/03/2019)	Lecture 7 Communicative English: Topic: Speaking about myself Lecture topic: Using all the part of speech taught this week. Stimulus: Making introductions	Break	Lecture 8 Communicative English: Instructions: Group work Situational base Short skit presentations using all the stimulus taught.	Lunch Break	Student Interaction: Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activities with buddies

	Sharing Personal Information Describing feelings and opinions
SATURDAY (09/03/2019)	Free activities
SUNDAY (10/03/2019)	Free activities

			WEEK 2			
	8.30 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.30	2.30 – 4.30	4.30 – 5.00
Monday (11/03/2019)	Lecture 9 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: English language features: Pronouncing vowels/consonants/	Break	Lecture 10 Communicative English Instruction: Laboratory work or use audiotape/videotape. Record students as they speak. Word list	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Pair and group work. Giving conversation samples for students to present and practise. Video taped students' presentations.	Activities with buddies

	diphthongs accurately		-monophthongs (single vowel sounds) and the second column has words with diphthongs (vowel glides). Articulate questions, commands, exclamations and tags.			
Tuesday (12/03/2019)	Lecture 11 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Working with silent letters	Break	Lecture 12 Communicative English Instruction: Word list -24 consonant sounds and 20 vowel sounds, represented by just 21 consonant letters and five vowel letters. Jumbled list Pair work Group work	Lunch Break	Student Interaction Presentation and interaction: Pair and group work. Role play using the silent words where appropriate. Video taped students' presentations.	Activites with buddies
Wednesday (13/03/2019)	Lecture 13 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Learning word stress Using all parts of speech and all English language features that have been taught.	Break	Lecture 14 Communicative English Instruction: Word list - common disyllabic (having two syllables) or polysyllabic (more than two syllables) Jumbled list Pair work Group work	Lunch Break	Reflections Watch video recording and reflect on the activities done throughout the week. Discuss ways to improve communication and presentation skills.	Activites with buddies

Thursday (14/03/2019)	Lecture 15 Communicative English Topic: Speaking accurately Lecture topic: Preparing a presentation using all parts of speech and all English language features that have been taught.	Break	Lecture 16 Communicative English Instruction: Solo presentation by students		Preparation for farewell closing ceremony students and buddies - students' speech -students' presentation practice	Activites with buddies
Friday (15/03/2019)	Farewell & Certificate Presentation Ceremony Venue: OIA Seminar Hall	Break	Free time with buddies and p	reparing to	o leave Malaysia.	



Course Module

TECHNICAL WRITING

Prepared for NIT-KAGAWA



Prepared by



UiTM Shah Alam

Course Description

This course develops technical writing skills necessary to communicate information gained through a process of technical or experimental work. The course highlights the factors that determine the degree of technicality of the language and concepts involved. Participants will learn how to write different technical reports, e.g., laboratory reports, research reports. This course also approaches structures, styles, and content issues that you can encounter while reporting the results of your research.

Course Outcomes

At the end of the course, the participants should be able to:

- to write effectively using appropriate grammar, vocabulary and structures in a report.
- to understand the process of technical language skills in technical writing.

Course Contents

The course consists of the following related areas:

Unit One:

Technical Writing vs. Essays Five Components of Technical Writing

Unit Two:

Five Traits of Technical Writing Clarity Conciseness Accessibility Audience Recognition Accuracy Five Trait Rubric

Unit Three:

Applications of Technical Writing
Letters
Memos
E-Mail
Reports
The Job Search

The Job Search
Instructions
PowerPoint/Pictographics Presentations
Graphics

Methodology

This course adopts a student-centered approach. Diverse sources (i.e. videos,) that demonstrate both positive and negative incidences will be shown and discussed. The facilitator will also guide the

participants based on their specific tasks and needs. Participants will have opportunities to ask questions and interact actively in class.

Programme Duration

4th March – 15th March 2019 (10 days inclusive of weekends)

3 hours a day of Technical Writing lessons

Facilitator

TBC

Number of Participants

10 participants per class

UITM - NIT KAGAWA: TECHNICAL WRITING PROGRAMME SCHEDULE -TENTATIVE

4th March - 15th March 2019

Week 1: UiTM Shah Alam

	9.00 – 10.30 Airport Pick-U	FI (Transp F	11.00 – 1.00 A College, Japan students at KLIA - light No. / Time: ?? Fort arrangement by ??) Free Activity / Rest	1.00 – 2.00 UiTM Shah Cam	pus
Monday (04/03/2019)	- team building activity (i	Programme Briefing & Oce-breaker games)	rientation	Lunch Break	
Tuesday (05/03/2019)	Lecture 1 Focus: Intro to Technical Writing	Break	Lecture 2 Focus: Technical Writing Vs Essays Exercises & samples of writings	Lunch Break	
Wednesday (06/03/2019)	Lecture 3 Focus: Five components of Tech -Clarity -Conciseness -Accessibility -Audience Recognition -Accuracy -Five trait Rubric	nical writing	Lecture 4 Focus: Exercises & samples of writings Focusing on the five components of Technical Writing	Lunch Break	
Thursday (07/03/2019)	Lecture 5 Focus: -Clarity, Conciseness, Acce Exercises & samples of write		Lecture 6 Focus: - Exercises & samples of writings Focusing on Clarity, Conciseness, Accessibility of Technical Writing	Lunch Break	

(0	FRIDAY 08/03/2019)	Lecture 7 Focus: - Audience Recognition & Accuracy Exercises & samples of writings	Break	Lecture 8 Focus: - Exercises & samples of writings - Focusing on the Five trait	Lunch Break	
	SATURDAY 09/03/2019)			Rubric Free activities		
	SUNDAY 10/03/2019)			Free activities		

		Wi	EEK 2	
	8.30 – 10.30	10.30 – 11.00	11.00 – 1.00	1.00 – 2.30
Monday (11/03/2019)	Lecture 9 Focus: Applications of Technical Writing - Samples of technical writings - Exercises & samples of writings	Break	Lecture 10 Focus: Letters, Memos, Emails Exercises & samples of writings	Lunch Break
Tuesday (12/03/2019)	Lecture 11 Focus: Reports Samples of reports & writings exercises	Break	Lecture 12 Focus: Reports Samples of reports & writings exercises	Lunch Break
Wednesday (13/03/2019)	Lecture 13 Focus: The job search Exercises & samples of writings	Break	Lecture 14 Focus: Instructions Exercises & samples of writings	Lunch Break

Thursday (14/03/2019)	Lecture 15 Focus: Powerpoint/Pictographics Presentations Graphics Exercises & samples of writings	Break	Lecture 16 Focus: Putting it all together	
Friday (15/03/2019)	Reflections Discuss ways to improve technical writing skills.	Break	Farewell & Certificate Presentation Ceremony Venue: OIA Seminar Hall	

PACKAGES : EDUCATIONAL TOUR 2018
TARGET MARKET : Education Segment
VALIDITY : DECEMBER 2018

PERAK EDUCATIONAL TOUR 2018

	DURATION		Price (RM)								
PACKAGES		PACKAGE INCLUDE		10pax		20pax		25pax			
PERAK AGROTOURISM RESORT											
: 3D2N AGRO HISTORY (PATRO + Batu Gajah)	3D2N	Villa Stay, 02x Breakfast, 1x Packed Lunch, 01x Packed Dinner, 01x Kellie's Castle, 01x Tanjung Tualang Tin Dredge, 01x Gaharu Tea Valley, 01x Farm Tour	RM	365.00	RM	372.00	RM	368.00			
: 3D2N AGRO ADVENTURE (PATRO + Gopeng)		Villa Stay, 02 Breakfast, 01x Lunch,02x Dinner, 01x Farm Tour, 01x Paintball, White Water Rafting with Lunch, 01x Gua Tempurong with Tea Break, 01x Certificate	RM	540.00	RM	559.00	RM	555.00			
TAIPING & KUALA KANGSAR											
: 3D2N CULTURE & NATURE (Taiping + Kuala Kangsar)		Hotel Accommodation, 02x Breakfast, 01x Lunch, 02x Dinner, 01x Kuala Kangsar Tour, 01x Matang Mangrove Tour, 01x Charcoal Factory, 01x Taiping Esplanade Tour, 01x Oran Utan Island Explorace with lunch, 01x Certificate	RM	436.00	RM	422.00	RM	398.00			
IPOH & CAMERON HIGHLAND											
: 3D2N AGRO GEO (Ipoh + Cameron Highland)	3D2N	Hotel Accomodation, 03x Lunch, 02x Dinner, 01x Geology Meseum, 01x Pamelo Tour, 01x Cameron Highland Educational Tour, 01x Mossy Forest Walk (Guided Tour)	RM	576.00	RM	572.00	RM	527.00			
ROYAL BELUM, Temenggor											
: 3D2N Royal Belum Expedition		Houseboat Accomodation, 02x Breakfast, 02x Lunch, 02x Tea Break,01x Dinner, 01x BBQ Dinner, Entrance Permit, Certified Nature Guide & Boatman	RM	1000.00	RM	550.00	RM	550.00			

Exclude/Optionals

- 1) Tour Guide Fees RM250.00 per day
- 2) Tour Guide Tippings RM5.00 per person, per day
- 3) Travel Insurance RM5.00 per person
- 4) Optional: Transportation (Upon Request)
- 5) Personal Expenses
- 6) Item not mentioned above
- 7) Any additional items



マラエ科大学(UiTM)での語学研修



1. 場所: マレーシア マラエ科大学 (Universiti Teknologi MARA)

2. 日程:

出発 2019年 9月 8日 (日) 関西空港発 帰国 2019年 9月22日(土) 関西空港着

現地での研修期間:9月9日(月)~21日(金)(2週間)

- 3. 滞在方法: 大学寮 "Kristal Residential College" 寮から大学研修場所までは専用バスで送迎します。
- 4. 募集人数: 約10名
- 5. 対象:1年生から3年生 他高専の学生も参加する場合があります。
- 6. プログラム内容:
 - (1) 午前:英語研修 (しゃべることに主眼をおいた研修)
 - (2) 午後:マラエ科大学学生(学生チュータ、"バディ")との English Activities、異文化交流と体験、 マレーシア史跡巡り、歴史探訪など
- 7. 費 用: 合計約18万円



R1M6D7 国際交流室会議

国際交流室のサイボウズでの持ち回り審議の運用(案)について

以下の内容は、サイボウズメッセージの内容を元に、一部修正し、(D)を加筆しています。

現在,本校で利用されているサイボウズの「ワークフロー」(決済システム)には,*運用上*の不備があると思います。具体的には、

- (A) サイボウズのメッセージのように議論をする機能がなく、1回だけコメントとして意見表明すること、ならびに、承認する機能しかない。
- (B) (たとえば) 実施要項に修正が必要な場合でも、ファイルの修正ができないため、修正 後の最終ファイルを保存することができない。
- (C) ワークフローのメンバーにより審議中の内容を却下することができ、これにより審議が中止される。また、これに伴い、メンバーが記入したコメントも見ることができなくなる。
- (D) ワークフローのタイトルが全て「国際交流室会議 (持ち回り国際交流室会議 (日付))) となっており、後で検索することが難しい。

上記(A)から(D)の問題に対応するため、下記運用を提案します。

● (A)について

サイボウズのメッセージに、「サイボウズワークフロー審議」というタイトルのスレッド を立ち上げました。

今後は、サイボウズ上のワークフロー審議に対する議論は、この場で行う。

注意:ワークフロー審議ごとにスレッドを立ち上げることはしませんので、どのワークフロー審議に対する意見なのか、メッセージの冒頭に記載した上で書き込みをして下さい。

(B)について

議論が終結した後の最終ファイルをサイボウズのファイル管理の「ワークフロー審議後 の最終ファイル」フォルダに置く。このときに、ファイル内の「(案)」という文字を削 除しておく。

フォルダ名に関する別案「国際交流室 ⇒ 平成 31 年度 ⇒ 20190528-ワークフロー」 のように、従来の会議資料と同じようにする。

(C) について

ワークフロー審議を却下できるのは、国際交流室長または副室長だけにする。

(A)での議論を通して、国際交流室としての結論を出す。

国際交流室長は、この議論を踏まえ、最終的な決済の可否を判断する。

(D) について

ワークフローのタイトルにキーワードとなる単語を入れる。

- 1. 香川高専は Richland の学生を受け入れる必要がない
- 2. 香川高専の学生は Richland で語学を学ぶことができる
 - (ア) Richland は語学の教育プログラムを提供している
 - (イ)単位数に応じて学費が異なる(友好校だと郡内扱い:1単位\$59)(団体は集中講義)
 - ① 人数によっても異なる
 - ② 目標によっても異なる
 - ③ Richland に概要を伝えれば見積もってくれる
 - (ウ)学生の目標に合わせて柔軟にプログラムを作ってくれる
 - ① 言語の勉強を重視
 - ② 言語と文化を重視
 - (エ) Teaching demonstration も配布可能
 - (オ)教科書の仕様の有無を選択できる
- 3. Richland 側は留学生を受け入れる負担はほとんどない
 - (ア)教える教員の給与が増える
 - (イ)学内の案内は職員の仕事
 - (ウ) 積極的に留学生を受け入れるのが大学の方針
 - (エ)特に来て欲しい時期は夏(2019年なら5/17~8/25)
- 4. ホテルの費用と移動
 - (ア)2人部屋が7000円程度(1人3500円)
 - (イ)4人部屋もある
 - (ウ) 普通の市バスで通えるホテルもある
- 5. 2017年から学生は大学内に銃を持ち込むことが許可された(Texas 州法)
 - (ア)対応する訓練が毎週あり、無料で参加できる
- 6. 韓国の団体の事例(顔さんが前回韓国の団体を接待した部長に詳細を聞いてくれた)
 - (ア)3年連続で Richland へ来た
 - (イ)前回は30人
 - (ウ)滞在期間3週間半
 - (エ)学費、いくつかのツアーの費用の合計(\$850)
 - (オ) 空港からホテルまで Richland がバスを用意
 - ① 途中で韓国のスーパーマーケットに立ち寄った
 - ② 香川高専の団体のときも日本のスーパーマーケットに立ち寄ることができる
 - (カ)ホテルと学校間の市バス
 - ① 最初のとき Richland 職員と先生がホテルに行き、一緒に乗った
 - (キ)部長は韓国の団体のために作ったシラバスや日程の資料を香川高専に提供できる(添付ファイル)
 - ① プロジェクト内容、シラバス、場所、参加者、提案した日程、予算、旅行日程等
 - (ク) pre-test を行い、レベルによって学生をいくつかのクラスに分けた
 - (ケ) プログラム完了時に post-test も行い、目標に達したか確認した
 - (コ) State Fair のとき、介添え役として Richland 職員と先生が 10 名ついた
- 7. 顔さんからの質問
 - (ア) 留学費用は学生 100%負担か香川高専 100%負担か折半か?

Institution	Cost	
Dallas County Community College District (DCCCD)	\$177	
University of Texas at Arlington (UTA)	\$1,183	
University of Texas at Dallas (UTD)	\$2,586	
residents 在住	per credit hour 単位	
In county 郡内	\$59	
Out-of-county 郡外	\$111	
out-of-state/out-of-country州外 / 国外	\$174	

図 1:学費



Dallas County Community College District

Memorandum of Understanding between the Dallas County Community College District and FILL IN ENTITY NAME HERE

This Memorandum of Understanding between Dallas County Community College District (DCCCD), USA, and FILL IN ENTITY NAME HERE (ENTITY INITIALS), FILL IN COUNTRY, reflects general consensus resulting from discussions between representatives of these institutions.

DCCCD and ENTITY INITIALS have an opportunity to lead in global partnering through the development and implementation of educational partnerships, programs, and collaborative projects that advance the international dimensions of both parties. This Memorandum of Understanding assumes the following:

- The parties to this agreement have a shared vision, commitment and responsibility to the success of this partnership and any resulting collaborative efforts.
- This collaborative initiative will solve common problems that benefit mutual needs and interests of the parties to this agreement and their constituents.
- ENTITY INITIALS and DCCCD desire to support their internal and external constituents in their capacity to effectively function in a global economy.

We, the undersigned, in the spirit of international understanding and good will, agree to examine possibilities which may include but are not limited to:

- 1. Enhancing cooperation between the two parties in joint projects of mutual interest.
 - 1.1 The represented parties take an interest in opportunities to work together on international projects.
 - 1.2 The represented parties take an interest in the possibility of joint educational programs.

- 1.2.1. ENTITY INITIALS and DCCCD are willing to consider a collaborative review of curriculum, competencies, possible internship opportunities and other related pedagogical issues related to exploring the potential for credit transfer and/or development of degree pathways.
- 1.2.2. ENTITY INITIALS and DCCCD acknowledge that recognition and transfer of credits between institutions is subject to the review and approval of relevant educational officials, university system policies and government agency approvals where required.
- 1.2.3. ENTITY INITIALS and DCCCD will make reasonable efforts to facilitate students coming from one institution to another as outlined through any established joint educational programs between ENTITY INITIALS member institutions and DCCCD.
- 1.2.4 ENTITY INITIALS and DCCCD are willing to work collaboratively to facilitate full-time study at DCCCD for students from_____.
- 2. Professional development and growth opportunities for faculty and educational administrators in areas that may include but are not limited to:
 - educational leadership development
 - needs analysis, competency determination, and program design
 - curriculum development and alignment
 - pedagogy of applied learning
 - developing beneficial partnerships and alliances with business and industry (enterprises)
 - workforce development
 - cultural diversity and sensitivity
 - sharing of "best practices"
- 3. Identifying other educational endeavors that may be mutually beneficial and strengthen the relationship.
- 4. In pursuit of the above mentioned initiatives and goals, ENTITY INITIALS and DCCCD agree to jointly pursue funding opportunities through the development of proposals, grant requests or other avenues as they become available.

Based on principles of equity and reciprocity, this Memorandum of Understanding will serve as a general framework for collaboration between the parties to work together on the above initiatives. This Memorandum of Understanding is an expression of good will and is not intended by any party to constitute a legally binding agreement. The Parties acknowledge and agree that any collaborative project that the Parties may wish to enter

into will require negotiation and execution of mutually satisfactory, binding agreements containing, inter alia, covenants, representations, warranties and indemnities customary for transactions of the nature contemplated.

As specific initiatives are undertaken pursuant to this Memorandum of Understanding, specific Letters of

Agreement shall be developed, approved and signed by all parties before action is taken depending on the

nature of the initiative.

This Memorandum of Understanding will be governed by and construed in accordance with the law of the State

of Texas. Exclusive venue of any dispute, claim or controversy arising out of or relating to this Memorandum

of Understanding or the breach, termination, enforcement, interpretation or validity thereof shall lie in the State

or Federal courts in Dallas, Dallas County, Texas.

This agreement becomes effective when signed by representatives of the parties. This agreement will remain in

effect for three years unless either party gives written notice of intent to discontinue. Any additional contractual

agreements entered into by both parties or by a constituent of either party will remain in effect as dictated by the

terms of the individual contract.

This agreement will be reviewed after three years and renewed for additional years by mutual consent of the

parties.

Signed this INSERT DATE by:

Dallas County Community

ENTITY NAME

College District

MOU #0000

3



INITIATOR NAME:

LOCATION:

ROUTING SHEET: MOU

DALLAS COUNTY COMMUNITY COLLEGE DISTRICT OFFICE OF GLOBAL ECONOMIC DEVELOPMENT

TITLE:

DEPARTMENT:

SUPERVISOR:	N	MOU OTHER PARTY:	
NAMES AND SIGNATURES			DATE
INITIATOR NAME AND SIGNATURE:			
1 ST LEVEL MANAGER:			
2 ND LEVEL MANAGER:			
PRESIDENT:			
OFFICE, GLOBAL ECONOMIC DEVELOPMEN	NT:		
LEGAL:			
CHANCELLOR'S OFFICE:			

Return this Routing Sheet with the fully executed MOU bearing all signatures and attachments to be maintained in The Office of Global Economic Development, 1402 S. Corinth St., Dallas, Texas 75215



AGREEMENT

Agreement #: Date:

MOU #: 00001 Date: May 10, 2017 (attachment A)

- AGREEMENT: This Agreement (hereafter referred to as the "Agreement") is made and entered into as of the date hereof by and between The Dallas County Community District, a Texas political subdivision of higher education (hereafter referred to as the "District") on behalf of Richland College (hereafter referred to as the "College") and University of Gyeongnam Geochang, a University, with its principal place of business located in the Republic of Korea (hereafter referred to as "UGG"). This Agreement is to be utilized as a binding agreement to govern this specific project under the existing MOU (Insert MOU #) between the District and UGG. The Agreement is void in absence of an existing and current MOU between the two entities.
- 2. PROJECT: The overarching purpose of this Agreement is to deliver linguistic and cultural training (hereafter referred to as the "Project").
 - Description of Project: Provide linguistic and cultural training.
 - Syllabi (see attachments B, C, D and E)
 - Mutually Agreed Upon Project Dates: June 29, 2017 thru July 26, 2017
 - Location: Richland College
 - Audience/Proposed Participants: 28 students from UGG (See attachment F)
 - Proposed Itinerary (see attachment G)
 - Project Budget (See attachment H)
 - Travel Itinerary (See attachment !)
- THE DISTRICT'S OBLIGATIONS: The District role is to enter into suitable and appropriate relationships which advance and foster the District's policies and procedures related to global engagement and all associated contractual agreements and commitments. Included in this responsibility is oversight of all agreements and commitments at the District and College levels.
- 4. THE COLLEGE'S OBLIGATIONS:
 - Faculty and administrative staff to support project
 - Facilities and Equipment
 - Consumable Supplies
 - Curriculum Development/Instructional Deliverables, including books
 - Logistics Support from DFW Airport on Friday, June 29th, 2018
 - Provide invitation letter for mutually agreed upon participants and accompanying
 - Billing and Collection of Fees



5. UGG OBLIGATIONS:

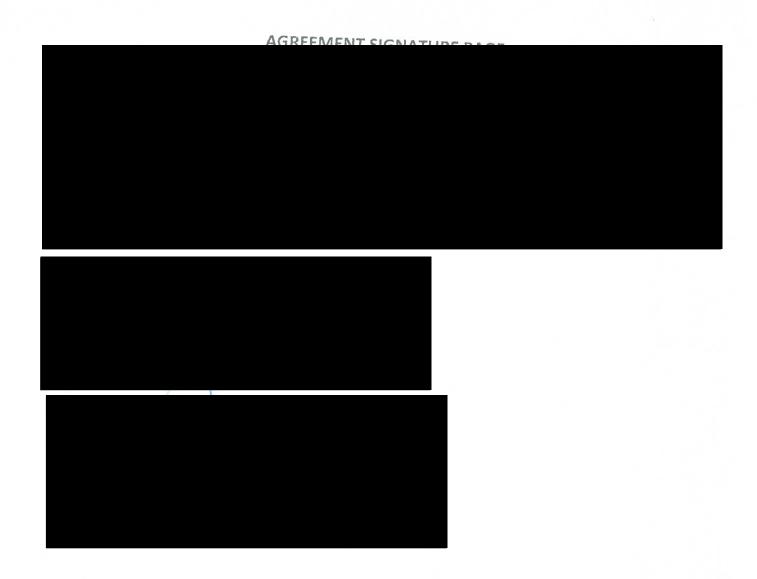
- Selection of participants according to pre-determined, mutually agreed upon criteria.
- Transportation for participants to and from Dallas/Fort Worth Metroplex (unless otherwise specified in this agreement.)
- All fees paid in full prior to commencement of program and/or services via wire transfer.
- Arrangement of and payment of housing accommodations chosen by UGG.
- All students and chaperone must purchase and carry proof of health insurance that will cover them for medical issues, medical emergencies, medical evaluation and repatriation while in the U.S.
- UGG chaperone will oversee the group's arrival and departure from the Richland College campus and will stay with the group for the duration of stay in the U.S.
- UGG must contact the designated Richland College representative to report student
- TERM: This Agreement shall commence on the date first written above, and shall continue until the Project is complete and all obligations of the parties hereunder have been satisfied, or until this Agreement is terminated in accordance with the terms and conditions
- 7. PAYMENTS: In exchange for services, the Project UGG shall pay to the District the amount of \$30,800.00 USD (the "Project Cost"). Full project cost payment must be received prior to commencement of project services via wire transfer or acceptable credit card. Failure to pay as set forth herein will result in cancelation of project deliverables unless acceptable terms can be agreed upon and approved in writing by the District, the College and UGG.
- 8. TERMINATION: Either party may terminate this Agreement by providing the other party with 30 days' prior written notice: provided, however, that if UGG terminates this Agreement in accordance with this Section 8, then all accrued but unpaid Fees attributable to the Services provided by District and/or College prior to the date of termination shall become immediately due and payable. Provided further, that District, in its sole discretion, may terminate this Agreement, without notice, in the event UGG breaches any of its obligations hereunder.
- SUBSTITUTION OF MATERIALS AND INSTRUCTORS: Unless otherwise agreed to 9. by the parties in writing, at the District and/or College may substitute instructors and/or materials of equal expertise and value in the District and/or College's sole discretion.
- 10. AUDIOVISUAL PRESENTATION AND TELECONFERENCING: The District and/or College is not responsible for any failures of, or interruptions associated with, equipment or telecommunications links utilized in the provision of Services under this Agreement.
- 11. PUBLICITY: Neither party will use the name or logos of the other party in any publicity, marketing materials, advertising, or news release without the prior written approval of an authorized representative of the other party.

- INDEPENDENT CONTRACTOR STATUS: Nothing in this Agreement shall be construed to 12. create a formal partnership or joint venture between District and/or College and UGG, nor shall either party's employees, servants, agents or representatives be considered the employees, servants, agents or representatives of the other. Neither party shall have any express or implied right or authority to assume or create any obligation on behalf of, or in the name of, the other party; or to bind the other party to any contract, agreement or undertaking with any third party.
- COPYRIGHT AND INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS: The District and/or the College own 13. all intellectual property rights, including but not limited to copyrights, in all materials produced or developed by the District and/or the College for use in the performance of this Agreement (the "Program Materials"). District and the College grant to UGG a limited, nontransferable, nonexclusive, royalty-free license to use the Program Materials solely for the purpose of this Agreement; provided, however, that UGG may not use the Program Materials for any other purposes, including without limitation, training third parties who are not employed by UGG, and employees who are Project participants.
- 14. INDEMNIFICATION: To the extent permitted by applicable law, UGG shall indemnify and hold the District and the College harmless from any liability, claims, causes of action, damages, or judgments arising out of UGG's (i)
 - failure to comply with applicable laws, regulations, rules, and ordinances; and
 - negligent or intentional acts or omissions, including the negligent or intentional acts or (ii) omissions of UGG's executives, officers, employees, invitees, or agents in the performance of this Agreement.
- 15. PARTICIPANT CONDUCT: UGG has primary responsibility for the Participant's welfare, conduct, and discipline, and shall provide a sufficient number of accompanying staff. Each Participant is subject to all applicable federal, state and/or local laws and regulations. Any breach thereof will be dealt with in accordance with the established policies and procedures of the UGG. While on District and/or College property, utilizing District and/or resources, or participating in Program activities, Participants and accompanying staff will be subject to the policies and regulations of the District and/or College. To the extent that a breaches any such District and/or College Participants and accompanying staff policies or regulations, such breaches will be dealt with according to the established policies and procedures of the District and/or College, in
- 16. DISCLAIMER OF WARRANTIES: THE PROGRAM AND PROGRAM MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY WARRANTIES. DISTRICT AND THE COLLEGE SPECIFICALLY DISCLAIM ANY AND ALL ADDITIONAL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON- INFRINGEMENT. WITHOUT LIMITING THE FOREGOING, DISTRICT AND THE COLLEGE DO NOT WARRANT ANY RESULTS THAT MAY BE OBTAINED BY USING THE PROGRAM OR PROGRAM MATERIALS, NOR DO DISTRICT AND THE COLLEGE WARRANT THE PROGRAM OR PROGRAM MATERIALS TO BE COMPLETE OR ERROR FREE.



- 17. **ASSIGNMENT:** No party may assign this Agreement without the prior written consent of the other party.
- 18. **SEVERABILITY:** If any provision of this Agreement is found unenforceable or void by a court of competent jurisdiction, the remaining provisions shall be enforced in accordance with their terms.]
- 19. **ENTIRE AGREEMENT:** This Agreement contains the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof, and supersedes or cancels all previous negotiations, agreement, commitments and writings between the parties on the subject matter of this Agreement. Should processing of this Agreement require issuance of a purchase order or other contractual document, the terms and conditions of this Agreement shall be controlling.
- 20. AMENDMENT: This Agreement may not be amended, modified, or supplemented except by a written instrument signed by a duly authorized representative of each of the parties hereto.
- 21. **FORCE MAJEURE:** No party shall be liable to the other for failing to perform any of its obligations hereunder when such failure is due to caus.es beyond either party's control, including without limitation, a breakdown of communication systems, utilities, or transportation systems; all labor disputes; civil disturbance; reasonably unforeseeable weather conditions; war; invasions; military or usurped power; sabotage; governmental regulations or controls; fires or other casualty: or acts of God
- 22. GOVERNING LAW AND JURISDICTION: This Agreement shall be governed and construed in accordance with the law of the State of Texas, without regard to its conflicts of law provisions. The parties hereto specifically agree that the exclusive place of jurisdiction and venue of any dispute arising hereunder shall be in Dallas County, Texas.





Return fully executed Agreement with all signatures, attachments and Routing Sheet to be maintained in The Office of Global Economic Development, 1402 S. Corinth St., Dallas, TX 75215



Dallas County Community College District

Memorandum of Understanding between the Dallas County Community College District and University of Gyeongnam Geochang

This Memorandum of Understanding between Dallas County Community College District (DCCCD), USA, and University of Gyeongnam Geochang (UGG), South Korea, reflects general consensus resulting from discussions between representatives of these institutions.

DCCCD and UGG have an opportunity to lead in global partnering through the development and implementation of educational partnerships, programs, and collaborative projects that advance the international dimensions of both parties. This Memorandum of Understanding assumes the following:

- The parties to this agreement have a shared vision, commitment and responsibility to the success of this
 partnership and any resulting collaborative efforts.
- This collaborative initiative will solve common problems that benefit mutual needs and interests of the
 parties to this agreement and their constituents.
- UGG and DCCCD desire to support their internal and external constituents in their capacity to
 effectively function in a global economy.

We, the undersigned, in the spirit of international understanding and good will, agree to examine possibilities which may include but are not limited to:

- 1. Enhancing cooperation between the two parties in joint projects of mutual interest.
 - 1.1 The represented parties take an interest in opportunities to work together on international projects.

- 1.2 The represented parties take an interest in the possibility of joint educational programs.
 - 1.2.1. UGG and DCCCD are willing to consider a collaborative review of curriculum, competencies, possible internship opportunities and other related pedagogical issues related to exploring the potential for credit transfer and/or development of degree pathways. Examples of such pathways would include 3+1, 3+2, and 2+2 programs.
 - 1.2.2. UGG and DCCCD acknowledge that recognition and transfer of credits between institutions is subject to the review and approval of relevant educational officials, university system policies and government agency approvals where required.
 - 1.2.3. UGG and DCCCD will make reasonable efforts to facilitate students coming from one institution to another as outlined through any established joint educational programs between UGG and DCCCD.
 - 1.2.4 UGG and DCCCD are willing to work collaboratively to facilitate full-time study at DCCCD for South Korean students.
- 2. Professional development and growth opportunities for faculty and educational administrators in areas that may include but are not limited to:
 - · educational leadership development
 - · needs analysis, competency determination, and program design
 - · curriculum development and alignment
 - pedagogy of applied learning
 - developing beneficial partnerships and alliances with business and industry (enterprises)
 - workforce development
 - · cultural diversity and sensitivity
 - sharing of "best practices"
- 3. Identifying other educational endeavors that may be mutually beneficial and strengthen the relationship.
- In pursuit of the above mentioned initiatives and goals, UGG and DCCCD agree to jointly pursue funding opportunities through the development of proposals, grant requests or other avenues as they become available.

Based on principles of equity and reciprocity, this Memorandum of Understanding will serve as a general framework for collaboration between the parties to work together on the above initiatives. This Memorandum of Understanding is an expression of good will and is not intended by any party to constitute a legally binding agreement. The Parties acknowledge and agree that any collaborative project that the Parties may wish to enter into will require negotiation and execution of mutually satisfactory, binding agreements containing, *inter alia*, covenants, representations, warranties and indemnities customary for transactions of the nature contemplated.

As specific initiatives are undertaken pursuant to this Memorandum of Understanding, specific Letters of Agreement shall be developed, approved and signed by all parties before action is taken depending on the nature of the initiative.

This Memorandum of Understanding will be governed by and construed in accordance with the law of the State of Texas. Exclusive venue of any dispute, claim or controversy arising out of or relating to this Memorandum of Understanding or the breach, termination, enforcement, interpretation or validity thereof shall lie in the State or Federal courts in Dallas, Dallas County, Texas.

This agreement becomes effective when signed by representatives of the parties. This agreement will remain in effect for three years unless either party gives written notice of intent to discontinue. Any additional contractual agreements entered into by both parties or by a constituent of either party will remain in effect as dictated by the terms of the individual contract.

This agreement will be reviewed after three years and renewed for additional years by mutual consent of the parties.





Integrated Skills: Beginning

Rubric and Section Number

Instructor:

Instructor Name

Class Meeting Days &

TR 8:30-9:45 & 10:00-

Hours

11:00

Office:

Office Location (Optional)

Phone:

Phone Number (Optional)

E-Mail:

Office Hours:

Email Address (Required)

Upon Request

No Class Meeting On:

July 4

Class Location:

Classroom

Course Contact Hours:

13.5 hours

I. Course Description

This course is an integrated skills course, for beginning students, with greater focus on developing social and preacademic listening and speaking skills. Taking a thematic and holistic approach, this course introduces a theme for each class day, and students will engage in small-group activities where listening/speaking, reading, writing, and critical thinking skills are integrated within the theme. Class activities and materials are designed to promote students' conversation skills in rea-life communicative situations and develop speaking fluency to express ideas and opinions about diverse topics.

Н. **Course Objectives**

The students will be able to:

- comprehend the reading selections and/or audiovisuals on diverse topics
- relate course contents to personal experiences
- share thoughts, opinions, and experiences connected to course contents in a small group discussion
- use appropriate vocabulary and sentence structure to effectively express their own everyday life experiences and feelings
- pronounce English words and phrases so others can understand them with minimal concentrated effort
- work effectively with classmates to solve problems, create presentations, and discuss course contents

III. **Prerequisites**

N/A

IV. **Required Texts and Materials**

The instructor will provide texts for this course. Course materials are diverse including reading selections, authentic audiovisuals and cultural materials.

V. Attendance Requirements

Students who maintain 90% attendance and at least a 70% average will be awarded a final completion code of CP. Students who do not meet the attendance requirement and/or do not maintain at least a 70% average will receive a Non-Completion code (NC).

VI. Certificate Requirements

Certificates of Completion are now only printed per request in the Continuing Education office, T160 (Thunderduck Hall). Final completion grades can be found on your advising report and/or on your official transcript both of which can be printed in the Continuing Education office.

VII. Grading

To earn a final completion code of CP, students must maintain 90% attendance AND at least a 70% course average. The course grading criteria are:

Learning activities	building vocabulary, discussing issues, giving opinions, role-playing, creating presentations, pronunciation, and other activities which provide practice with listening and speaking fluency development	60%
Class participation	attending class and participating in class activities	40%
		100%

VIII. Policies:

Academic Dishonesty:

Scholastic dishonesty is a violation of the Code of Student Conduct. Scholastic dishonesty includes, but is not limited to, cheating on a test, plagiarism, and collusion. As a college student, you are considered a responsible adult. Your enrollment indicates acceptance of the DCCCD Code of Student Conduct http://www.richlandcollege.edu/conduct.

Notice to Students with Financial Aid:

If you are receiving any form of financial aid, you should check with the Financial Aid Office prior to withdrawing from classes. Withdrawals may affect your eligibility to receive further aid and could cause you to be in a position of repayment for the current semester. Students who fail to attend or participate after the drop date are also subject to this policy.

Students with Disabilities:

If you are a student with a disability and/or special needs who requires accommodations, please contact the college Disability Services Office at 972-238-6180 (Voice/TTY), visit Thunderduck Hall, suite T120, or go http://www.richlandcollege.edu/dso.

Religious Holidays:

Absences for observance of a religious holy day are excused. A student whose absence is excused to observe a religious holy day is allowed to contract with the instructor to take a make-up examination or complete an assignment within a reasonable time after the absence.

IX. Schedule (Optional)

SEPTION I	Tue	Thur
Week 1	7/3 Ice-breaking Activity and Syllabus Overview Theme 1: Family, Friends, and Relationships	7/5 Theme 2: Travel and Cultural Diversity Theme 3: Happiness
Week 2	7/10 Theme 4: Hobbies Theme 5: Sports	7/12 Theme 6: Music and Music Video Theme 7: Movies and Television Shows
Week 3	7/17 Theme 8: Money, Shopping, and Gift-giving Theme 9: Goals, Plans, and Dreams	7/19 Theme 10: Food, Cooking, and Eating out Theme 11: Diet around the World and Healthy Life





Integrated Skills: Intermediate

Rubric and Section Number

Instructor:

Instructor Name

Upon Request

Class Meeting Days &

No Class Meeting On:

Course Contact Hours:

TR 8:30-9:45 & 10:00-

Hours

11:00

Office:

Office Location (Optional)

Phone:

Phone Number (Optional)

E-Mail:

Office Hours:

Email Address (Required)

July 4

Class Location:

Classroom

13.5 hours

Course Description

This course is an integrated skills course, for intermediate students, with greater focus on developing low intermediate social and pre-academic listening and speaking skills. Taking a thematic and holistic approach, this course introduces a theme for each class day, and students will engage in small-group activities where listening/speaking, reading, writing, and critical thinking skills are integrated within the theme. Class activities and materials are designed to promote students' conversation skills in rea-life communicative situations and develop speaking fluency to express ideas and opinions about diverse contemporary issues.

11. **Course Objectives**

The students will be able to:

- comprehend main ideas and details in reading selections and/or audiovisuals on diverse topics
- relate course contents to personal experiences
- share thoughts, opinions, and experiences connected to course contents in a small group discussion
- respond to questions on academic topics with opinions supported by facts and examples
- use appropriate vocabulary and sentence structure to effectively express their own everyday life experiences and feelings
- pronounce English words and phrases so others can understand them with minimal concentrated effort
- work effectively with classmates to solve problems, create presentations, and discuss course contents

III. **Prerequisites**

N/A

Required Texts and Materials IV.

The instructor will provide texts for this course. Course materials are diverse including reading selections, authentic audiovisuals and cultural materials.

V. Attendance Requirements

Students who maintain 90% attendance and at least a 70% average will be awarded a final completion code of CP. Students who do not meet the attendance requirement and/or do not maintain at least a 70% average will receive a Non-Completion code (NC).

VI. Certificate Requirements

Certificates of Completion are now only printed per request in the Continuing Education office, T160 (Thunderduck Hall). Final completion grades can be found on your advising report and/or on your official transcript both of which can be printed in the Continuing Education office.

VII. Grading

To earn a final completion code of CP, students must maintain 90% attendance AND at least a 70% course average. The course grading criteria are:

Learning activities	building vocabulary, discussing issues, giving opinions, role-playing, creating presentations, pronunciation, and other activities which provide practice with listening and speaking fluency development	60%
Class participation	attending classes and participating in class activities	40%
		100%

VIII. Policies:

Academic Dishonesty:

Scholastic dishonesty is a violation of the Code of Student Conduct. Scholastic dishonesty includes, but is not limited to, cheating on a test, plagiarism, and collusion. As a college student, you are considered a responsible adult. Your enrollment indicates acceptance of the DCCCD Code of Student Conduct http://www.richlandcollege.edu/conduct.

Notice to Students with Financial Aid:

If you are receiving any form of financial aid, you should check with the Financial Aid Office prior to withdrawing from classes. Withdrawals may affect your eligibility to receive further aid and could cause you to be in a position of repayment for the current semester. Students who fail to attend or participate after the drop date are also subject to this policy.

Students with Disabilities:

If you are a student with a disability and/or special needs who requires accommodations, please contact the college Disability Services Office at 972-238-6180 (Voice/TTY), visit Thunderduck Hall, suite T120, or go http://www.richlandcollege.edu/dso.

Religious Holidays:

Absences for observance of a religious holy day are excused. A student whose absence is excused to observe a religious holy day is allowed to contract with the instructor to take a make-up examination or complete an assignment within a reasonable time after the absence.

IX. Schedule (Optional)

	Tue	Thur
Week 1	7/3 Ice-breaking Activity and Syllabus Overview Theme 1: Family, Friends, and Relationships	7/5 Theme 2: Travel and Cultural Diversity Theme 3: Goals, Dreams, and Happiness
Week 2	7/10 Theme 4: Hobbies Theme 5: Sports	7/12 Theme 6: Music and Music Video Theme 7: Movies and Television Shows
Week 3	7/17 Theme 8: Money, Shopping, and Gift-giving Theme 9: Internet and Technology	7/19 Theme 10: Food, Cooking, and Eating out Theme 11: Diet around the World and Healthy Life





Cultural Awareness: Beginning

Rubric and Section Number

Instructor:

Instructor Name

Class Meeting Days &

MW 8:30-9:45 &

Hours

10:00-11:00

F7/6 9:45-11:00 &

11:15-12:15

Office:

Office Location (Optional)

Phone:

Phone Number (Optional)

E-Mail:

Email Address (Required)

Office Hours:

Upon Request

No Class Meeting On:

July 4

Class Location:

Classroom

Course Contact Hours:

13.5 hours

I. Course Description

This course is an integrated skills course for, beginning students, with greater focus on developing intercultural competence. The course offers knowledge about Big C Culture such as American food, celebration, music, dances, fashion, holidays, art, and architecture, etc. In addition to this surface culture, it also provides students with opportunities to reflect upon underlying American values and beliefs so called small c culture. Topics include 1) communication styles and rules such as body language and conversation patterns in different social situations, 2) the notion of manners, modesty, and beauty, 3) concepts of time and fairness, 4) attitude toward age and expectations in academics, and 4) approaches to friendship, courtship, marriage and raising children. In addition to building cultural knowledge, outside the classroom, students are also encouraged to engage in the local community, document and reflect on their everyday intercultural experiences. Students' daily cultural experiences will be used as a spring board for class discussion.

II. Course Objectives

The students will:

- have a better understanding of American life styles and reflect upon underlying values and beliefs
- develop the skills of interpreting and analyzing cultural texts such as art, advertisements, film, music, website documents, brochure, and television
- understand the transnational character of "American" culture, reflecting regional differences and several subcultures
- put aside stereotypes about other cultures and have curiosity and openness to them
- develop the sense of agency in their intercultural learning as they capture interculturally "rich moments" in their everyday lives and document them with their own inquiry, interpretations, and reflection
- view their own culture from different and critical perspectives

III. Prerequisites

N/A

IV. Required Texts and Materials

The instructor will provide texts for this course. Course texts are authentic cultural materials drawn from everyday lives of Americans such as brochures, advertisements, film, music, documents, radio, TV shows, and websites.

V. Attendance Requirements

Students who maintain 90% attendance and at least a 70% average will be awarded a final completion code of CP. Students who do not meet the attendance requirement and/or do not maintain at least a 70% average will receive a Non-Completion code (NC).

VI. Certificate Requirements

Certificates of Completion are now only printed per request in the Continuing Education office, T160 (Thunderduck Hall). Final completion grades can be found on your advising report and/or on your official transcript both of which can be printed in the Continuing Education office.

VII. Grading

To earn a final completion code of CP, students must maintain 90% attendance AND at least a 70% course average. The course grading criteria are:

*	Student-generated Intercultural Photo and Commentary Project	40 %
**	Intercultural Interview Reports	
	Class Participation/Discussion	20 %
	Class 1 at ticipation/ Discussion	40 %
		100%

*Student-generated Intercultural Photo and Commentary Project:

Images about a foreign culture (American culture in our case) are rich and accessible sources of cultural information, and are excellent catalysts for classroom discussion. As students get involved in the community, students will take photos of the moments, objects, people, scenes, and behaviors that they found interesting. Students will present the photos and the commentary that includes why it was culturally meaningful and interesting to them. This will empower students as an active investigator into their own everyday life experiences in the US. Detailed instructions for the assignments will be given in class.

** Intercultural Interview Reports:

Students will formulate five questions about other cultures (American, Chinese, Iraqi, French, Mexican, Ethiopian, Japanese, etc.) and interview someone or multiple people from the culture on Richland College campus. Students will share their interview findings and their reflections in class.

VIII. Policies:

Academic Dishonesty:

Scholastic dishonesty is a violation of the Code of Student Conduct. Scholastic dishonesty includes, but is not limited to, cheating on a test, plagiarism, and collusion. As a college student, you are considered a responsible adult. Your enrollment indicates acceptance of the DCCCD Code of Student Conduct http://www.richlandcollege.edu/conduct.

Notice to Students with Financial Aid:

If you are receiving any form of financial aid, you should check with the Financial Aid Office prior to withdrawing from classes. Withdrawals may affect your eligibility to receive further aid and could cause you to be in a position

of repayment for the current semester. Students who fail to attend or participate after the drop date are also subject to this policy.

Students with Disabilities:

If you are a student with a disability and/or special needs who requires accommodations, please contact the college Disability Services Office at 972-238-6180 (Voice/TTY), visit Thunderduck Hall, suite T120, or go http://www.richlandcollege.edu/dso.

Religious Holidays:

Absences for observance of a religious holy day are excused. A student whose absence is excused to observe a religious holy day is allowed to contract with the instructor to take a make-up examination or complete an assignment within a reasonable time after the absence.

IX. Schedule (Optional)

	Mon	Wed	Fri /Cultural Excursion
Week 1		* Wed 7/4 CE Fair Park for July 4 th celebration	7/6 Greeting Course syllabus Theme 1: American and Korean Holidays Theme 2: American Grocery Stores and Shopping -Introducing WholeFoods Market
Week 2	7/9 Theme 3: Stereotypes and SubculturesSubcultures - Regional differences -Texas vs. US Theme 4: Body Language -Facial expressions -Gestures -Eye contact -Space/touching	7/11 Theme 5: American Education Systems and Culture -Campus life - University system -Culture of academics -What makes a good student or teacher? -Introducing SMU Theme 6: Courtesy & Manners Visiting an American family -Etiquette: table manner, appropriate gifts, conversation patterns in different social situations	*Fri 7/6 CE WholeFoods Market 7/13 No Class Fri 7/13 Campus visit to Southern Methodist University Sat 7/14 American home hosted dinner
Week 3	7/16 Writing a thank You card to a host family Theme 7: Courtship and Marriage -Going on a date -Public display of affection -3 qualities of my future spouse -Premarital cohabitation	7/18 Theme 8: Standard of Beauty -Plastic surgery -Body perception -Media influence Art and Dallas museums	7/20 No Class Fri 7/20 Museum district

Attachment D

	-Raising children Intercultural Photo Presentation	Intercultural Photo Presentation	
Week 4	7/23 Interview Reports Due	7/25 No Class	
	Wrap Up	Closing Ceremony	Ya .

^{*} Note: The syllabus and attached schedule are subject to change and/or revision by the instructor.

^{*} Note: Topics or activities in red are designed to support student's learning experiences at the cultural excursions.



Cultural Awareness: Intermediate

Rubric and Section Number

Instructor:

Instructor Name

Class Meeting Days &

MW 8:30-9:45 &

Hours

10:00-11:00

F7/6 9:45-11:00 &

11:15-12:15

Office:

Office Location (Optional)

Phone:

Phone Number (Optional)

E-Mail:

Email Address (Required)

Office Hours:

Upon Request

No Class Meeting On:

July 4

Class Location:

Classroom

Course Contact Hours:

13.5 hours

I. Course Description

This course is an integrated skills course for, intermediate students, with greater focus on developing intercultural competence. The course offers knowledge about Big C Culture such as American food, celebration, music, dances, fashion, holidays, art, and architecture, etc. In addition to this surface culture, it also provides students with opportunities to reflect upon underlying American values and beliefs so called small c culture. Topics include 1) communication styles and rules such as body language and conversation patterns in different social situations, 2) the notion of manners, modesty, and beauty, 3) concepts of time and fairness, 4) attitude toward age and expectations in academics, and 4) approaches to friendship, courtship, marriage and raising children. In addition to building cultural knowledge, outside the classroom, students are also encouraged to engage in the local community, document and reflect on their everyday intercultural experiences. Students' daily cultural experiences will be used as a spring board for class discussion.

II. Course Objectives

The students will:

- have a better understanding of American life styles and reflect upon underlying values and beliefs
- develop the skills of interpreting and analyzing cultural texts such as art, advertisements, film, music, website documents, brochure, and television
- understand the transnational character of "American" culture, reflecting regional differences and several subcultures
- put aside stereotypes about other cultures and have curiosity and openness to them
- develop the sense of agency in their intercultural learning as they capture interculturally "rich moments" in their everyday lives and document them with their own inquiry, interpretations, and reflection
- view their own culture from different and critical perspectives

III. Prerequisites

N/A

IV. Required Texts and Materials

The instructor will provide texts for this course. Course texts are authentic cultural materials drawn from everyday lives of Americans such as brochures, advertisements, film, music, documents, radio, TV shows, and websites.

V. Attendance Requirements

Students who maintain 90% attendance and at least a 70% average will be awarded a final completion code of CP. Students who do not meet the attendance requirement and/or do not maintain at least a 70% average will receive a Non-Completion code (NC).

VI. Certificate Requirements

Certificates of Completion are now only printed per request in the Continuing Education office, T160 (Thunderduck Hall). Final completion grades can be found on your advising report and/or on your official transcript both of which can be printed in the Continuing Education office.

VII. Grading

To earn a final completion code of CP, students must maintain 90% attendance AND at least a 70% course average. The course grading criteria are:

*	Student-generated Intercultural Photo and Commentary Project	40 %
**	Intercultural Interview Reports	20 %
	Class Participation/Discussion	
		40 %
		100%

*Student-generated Intercultural Photo and Commentary Project:

Images about a foreign culture (American culture in our case) are rich and accessible sources of cultural information, and are excellent catalysts for classroom discussion. As students get involved in the community, students will take photos of the moments, objects, people, scenes, and behaviors that they found interesting. Students will present the photos and the commentary that includes why it was culturally meaningful and interesting to them. This will empower students as an active investigator into their own everyday life experiences in the US. Detailed instructions for the assignments will be given in class.

** Intercultural Interview Reports:

Students will formulate five questions about other cultures (American, Chinese, Iraqi, French, Mexican, Ethiopian, Japanese, etc.) and interview someone or multiple people from the culture on Richland College campus. Students will share their interview findings and their reflections in class.

VIII. Policies:

Academic Dishonesty:

Scholastic dishonesty is a violation of the Code of Student Conduct. Scholastic dishonesty includes, but is not limited to, cheating on a test, plagiarism, and collusion. As a college student, you are considered a responsible adult. Your enrollment indicates acceptance of the DCCCD Code of Student Conduct http://www.richlandcollege.edu/conduct.

Notice to Students with Financial Aid:

If you are receiving any form of financial aid, you should check with the Financial Aid Office prior to withdrawing from classes. Withdrawals may affect your eligibility to receive further aid and could cause you to be in a position

of repayment for the current semester. Students who fail to attend or participate after the drop date are also subject to this policy.

Students with Disabilities:

If you are a student with a disability and/or special needs who requires accommodations, please contact the college Disability Services Office at 972-238-6180 (Voice/TTY), visit Thunderduck Hall, suite T120, or go http://www.richlandcollege.edu/dso.

Religious Holidays:

Absences for observance of a religious holy day are excused. A student whose absence is excused to observe a religious holy day is allowed to contract with the instructor to take a make-up examination or complete an assignment within a reasonable time after the absence.

IX. Schedule (Optional)

	Mon	Wed	Fri /Cultural Excursion
Week 1		* Wed 7/4 CE Fair Park for July 4 th celebration	7/6 Greeting Course syllabus Theme 1: American and Korear Holidays Theme 2: American Grocery Stores and Shopping -Introducing WholeFoods Market *Fri 7/6 CE WholeFoods Market
Week 2	7/9 Theme 3: Stereotypes and SubculturesSubcultures - Regional differences -Texas vs. US Theme 4: Body Language -Facial expressions -Gestures -Eye contact -Space/touching	7/11 Theme 5: American Education Systems and Culture -Campus life - University system -Culture of academics -What makes a good student or teacher? -Introducing SMU Theme 6: Courtesy & Manners Visiting an American family -Etiquette: table manner, appropriate gifts, conversation patterns in different social situations	7/13 No Class Fri 7/13 Campus visit to Southern Methodist University Sat 7/14 American home hosted dinner
Week	7/16 Writing a thank You card to a host family Theme 7: Courtship and Marriage -Going on a date -Public display of affection -3 qualities of my future spouse -Premarital cohabitation	7/18 Theme 8: Standard of Beauty -Plastic surgery -Body perception -Media influence Art and Dallas museums	7/20 No Class Fri 7/20 Museum district

Attachment E

	-Raising children Intercultural Photo Presentation	Intercultural Photo Presentation	
Week 4	7/23 Interview Reports Due Wrap Up	7/25 No Class Closing Ceremony	

^{*} Note: The syllabus and attached schedule are subject to change and/or revision by the instructor.

^{*} Note: Topics or activities in red are designed to support student's learning experiences at the cultural excursions.

SU2018 University of Gyeongnam Geochang (UGG) Student List

#	Name	Name	Department	Year
				2
				2
				4
				1
				1
				2
				3
				1
				1
				3
				2
				1
				3
				1
				3
				1
				1
				1
				1
				1
				3
				3
				1
				2
				1
				2
				2
				1

Integrated Skills 15 Master Skill Set MSS Calculate Security Control Security Canada Security Canada Security Canada Security Control Security	13. 13. 10. 24. 22. 13.	5 Richland College Summo 5 from University of	er ESOL program for Students Gyeongnam Geochang			Attachment G	
28 Students						Friday, 6/29	
2 Feculty (1 per specified time per Amie - Monday, July 2 - Amie and		Material, dividers 1.5 assortments					
Whole Foods- Friday, July 6, 2018	2:15 - 5:15 PM		Gabe - Fair Park - DART			Student airport arrival at 4:30	
Korean Delegation Sche 8:30 - 9:45 AM	(8:30-10:30) PRETEST	Tuesday (7/3)	Wednesday (7/4)	Thursday (7/5)		Friday (7/6)	
9:45 - 10:00 AM	(10:30-11:30) CAMPUS TOUR	Integrated Skills		Integrated Skills	9:45 - 11:00 AM	Cultural Class	
10:00 - 11:00 AM				BREAK	11:00 - 11:15 AM	BREAK	
	(11:30-12:30) LUNCH (12:30-1:00) OPENING	Integrated Skills		Integrated Skills	11:15 - 12:15 PM	Cultural Class	
11:00 - 11:45 AM	CEREMONY	LUNCH		LUNCH	12:15- 1:00 PM	Lunch	
l1:45 - 12:45 PM	(1:00 - 2:00) ORIENTATION				1:00 - 2:00 PM	MSS	
L2:45 - 1:00 PM	(2:15-3:15) Base Group Meeting	Language Exposure		Language Exposure			
1:00 2:00PM			CE July 4th Festival		2:15 - 5:15 PM	CE Whole Foods	
2:15-3:15 PM		Base Group Meeting -	5:00 -11:30 Fair Park	Base Group Meeting -	7		
			- Curranc				
Corean Delegation Sche	Monday (7/9)	Tuesday (7/10)	Wednesday (7/11)	Thursday (7/12)		Friday (7/13)	Saturday (7/14)
3:30 - 9:45 AM	Cultural Class	integrated Skills	Cultural Class	integrated Skills	8:30 - 4:30 PM	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
:45 - 10:00 AM	BREAK	BREAK	BREAK	BREAK			
0:00 - 11:00 AM	Cultural Class	Integrated Skills	Cultural Class	Integrated Skills			
1:00 - 11:45 AM	LUNCH	LUNCH	LUNCH	LUNCH			
1:45 - 12:45 PM						CE (SMU Campus Tour)	
2:45 - 1:00 PM	MSS	Language Exposure	MSS	Language Exposure			(5:00 - 9:00 PM)
:00 2:00 PM					 		Language Exposure:
:15-3:15 PM	Base Group Meeting -	Base Group Meeting	Base Group Meeting -	Base Group Meeting -			American Home Hosted Dinner
orean Delegation Sched	Monday (7/16)	Tuesday (7/17)	Wednesday (7/18)	Thursday (7/19)		Seidou (7/20)	
:30 - 9:45 AM	Cultural Class	Integrated Skills	Cultural Class	Integrated Skills		Friday (7/20)	
:45 - 10:00 AM	BREAK	BREAK	BREAK	BREAK			
0:00 - 11:00 AM	Cultural Class	Integrated Skills	Cultural Class				
1:00 - 11:45 AM	LUNCH	LUNCH	LUNCH	Integrated Skills			
1:45 - 12:45 PM		LONGI	Editor	LUNCH			
2:45 - 1:00 PM	MSS	Innerse Francis	200		5:00 - 11:30 PM		
00 2:00 PM		Language Exposure	MSS	Language Exposure		CE (Museum District)	
15-3:15 PM	Base Group Meeting -	Base Group Meeting -	Base Group Meeting -	Base Group Meeting -			
orean Delegation Sched	Monday (7/23)	Tuesday (7/24)	Wednesday (7/25)				
30 - 9:45 AM	Cultural Class						
45 - 10:00 AM	BREAK	POST TESTING					
:00 - 11:00 AM	Cultural Class	Open Period					
:00 - 11:45 AM	LUNCH	LUNCH	11:00 - 12:30 PM SH118 Closing Ceremony				
:45 - 12:45 PM			The state of the s				
:45 - 1:00 PM	Language Exposure	Language Exposure					

1:00- - 2:00 PM 2:15-3:15 PM

16 Day Total =96 hours

Base Group Meeting -

Base Group Meeting -

Richland College Summer ESOL Institute Proposal for University of Gyeongnam Geochang

Curriculum and Instruction

Classroom Instruction: Including Cultural Awareness & Intensive Language Lab Excursions (4)

0
-
ᇸ
~~
Ξ
=
2
_
7
S
=
\bar{a}
Ĭ
_
_
ta
\overline{a}

24	96 Hrs
	24

Breakdown of Program Cost per Student

Based on a minimum of 28 students
Cost of Instruction with Pre and Post Testing
Textbooks and materials for 4 classes
Transportation from Airport to Hotel
Complimentary Dart Rail Pass - \$160/student, total savings of \$4,480
4 Excursions with 1 group leader per trip
Opening/Closing Ceremony Refreshments
Total Per Student

740.00	85.00	35.00	í	210.00	30.00	1,100.00
\$	\$	ş	\$	\$	\$	\$

Total Program Cost \$30,800

(Based upon Student Headcount of 28)

Includes: Orientaion, placement test, certificate of completion, all textbooks, excursion leaders for 4 trips, assessments, and tuition for 96 hours of educational content in addition to a

Excludes: Food and beverage, hotel, transportation beyond DART pass and specified complimentary regional Dart Rail Pass for each student

airport travel and fees to events.

Arrival Travel Itinerary for UGG

Attachment I

Arrival date and time: Fri 6/29 16:35 JL7012 Terminal D. Please have the bus to arrive at RLC parking lot A by 16:00 to pick up two chaperones - Minjung Park (512-909-7226) and Gabe Edgar (469-583-6040). We will stop by the H-Mart (2625 Old Denton Rd #200, Carrollton, TX 75007) for an hour for dinner and shopping before dropping off students at the hotel (Super 8 by Wyndham Richardson Dallas, 220 W Spring Valley Rd, Richardson, TX 75081). Afterwards, the two chaperones will need a bus ride back to RLC.



BUSINESS & CULTURE IN JAPAN

efcst.com/bjpa

Day 1: Fly to Japan

Meet your group and travel on an overnight flight to Japan

Day 2: Tokyo

Arrive in Tokyo: Welcome to Tokyo, the largest metropolitan area in the world. Depending on your arrival time, you may have free time to settle in and explore on your own. Enjoy dinner with your group this evening.

Day 3: Tokyo

Sightseeing tour of Tokyo: The sights, sounds and smells of the largest city in Japan come at you from all directions, but your local guide will put it all in perspective. Begin with a visit to the Imperial Palace, residence of the Imperial Family, with its gigantic stone walls, a spacious plaza and a large garden open to the public. Enjoy free time in Harajaku, the trendy district popular among younger locals, and continue on to fashion-forward Shibuya and Shinjuku, home to the busiest train station in the world. Later, visit the Meiji Shinto Shrine and its elaborate wooded Inner Garden.

Asakusa: This afternoon, unwind in entertainment-heavy Asakusa. The 7th-century Asakusa Kannon Temple, dedicated to the Goddess of Mercy, is a five-story pagoda surrounded by shops, restaurants, theaters and cinemas.

Tempura dinner: Tempura, one of the better-known Japanese culinary delights, consists of fresh seafood and vegetables dipped in batter and cooked in vegetable and sesame oil. Enjoy this regional delicacy at an included tempura dinner.

Day 4: Tokyo

Tokyo Stock Exchange: Visit the world's second-largest stock exchange for an insider's look into the stock market as it affects the international economy.

Lecture at a local university: This afternoon, attend a business-themed lecture at a Tokyo university.

Day 5: Tokyo | Nagoya

Business visit: Tokyo boasts the largest metropolitan economy in the world and is considered one of the world's three finance "command centers," along with New York City and London. 50 of the Fortune Global 500 companies and the world's second largest exchange are based here. Get an up-close look at a leading Tokyo business when you visit a local company today.

Bullet train to Nagoya: On the world-famous bullet train, you'll reach speeds of 180 miles per hour as you whisk across the Japanese countryside. Come to a stop at Nagoya, the largest port for international trade in Japan and the home of some of the world's top companies and car manufacturing plants. This evening, enjoy dinner with your group.

Day 6: Nagoya

Sightseeing tour of Nagoya: This morning, get a comprehensive look into modern and historic Nagoya as you explore the city with a local guide. Start at Nagoya's newest landmark, the JR Central Towers. This impressive building complex houses everything from beauty salons to department stores to restaurant space, and the view from the top floor is second to none. Next, experience the ancient wonders of Nagoya with visits to some of its most important shrines. Cap off your tour with a visit to the breathtaking Nagoya Castle, decorated with turrets and golden dolphins and, in the spring, draped in fragrant cherry blossom trees.

Business visit: Home to such giants as Toyota and Mitsubishi, Nagoya is a major player in the global automotive industry. See what drives the world's largest auto manufacturer with a visit to the Toyota plant. Reflect on the day over dinner with your group.

Day 7: Kyoto

Travel to Kyoto: Continue to Kyoto, once the imperial capital of Japan and now considered to be the cultural center of the country. With over 1600 Buddhist temples, hundreds of shrines and other historic monuments, Kyoto is an UNESCO World Heritage destination.

Guided sightseeing of Kyoto: Kyoto's past becomes your present as you explore the city with a local guide. Begin at Nijo Castle, a structure built almost entirely out of Japanese cypress. Next you will visit the Kiyomizu Temple, which dates back to A.D. 798 and provides spectacular views of the city and surrounding valley. Beneath its main hall you'll find the Otawa waterfall, where you can collect and drink the waters for their supposed therapeutic properties. Your tour concludes at the stunning Kinkaku-ji Temple—also known as the Golden Pavilion. This evening, enjoy dinner with your group.

Day 8: Kyoto

Free time in Kyoto: Enjoy a free day to discover Kyoto on your own.

● Nara: Alternatively, opt to join a half-day excursion to Nara, one of Japan's ancient capitals. Visit the Todai-ji Temple and see the Daibutsu, the world's largest bronze Buddha. Then walk through the wooded Nara Park, also known as "Deer Park" thanks to its many four-legged inhabitants. Just outside the park, you will visit Kasuga Shrine, one of the country's most famous Shinto shrines.

Day 9: Osaka

Travel to Osaka: Depart Kyoto for Osaka, the industrial and commercial center of western Japan.

Sightseeing tour of Osaka: Explore the entertainment area around Dotonbori Bridge to see its famous giant mechanical crab, and visit both the traditional and modern business districts, which are located near the historic Osaka Castle.

Umeda Sky Building: An endless parade of skyscrapers defines the landscape in Osaka, but none is more distinctive than the Umeda Sky Building. Cross the famed atrium by skywalk on your visit.

Business visit: Traditionally considered to be the country's commercial center, Osaka is home to several major companies, including Panasonic, Sharp and Sanyo. Gain insight into the local business environment on a visit to a leading business.

Okonomiyaki dinner: Enjoy these Japanese-style savory pancakes, which can be filled with meat, vegetables or cheese.

Day 10: Depart for Home

Transfer to the airport, where you'll check in for your return flight home.



About Richland College

For more than 40 years, Richland College has focused on teaching, learning and community building. In recognition of these efforts, the White House and the Dept. of Commerce named Richland a recipient of the Malcolm Baldrige National Quality Award, the only community college to have received this award.

Richland helps students build their future through courses that can be applied to the first two years of a baccalaureate degree, one- or two-year certificates in a number of career fields, and training in the latest technology for students who want to advance in their current careers.

20,000 CREDIT STUDENTS

130

5,000

79 NGUAGES SPOKEN

A 19 4

Administration

Fast Facts

Awards

Strategic Plan / ThunderDocuments

ustainability

lews & Media

Human Resources | Office of Planning, Research, Effectiveness, and Development (OPRED) | Minority Serving Institution (MSI) Convening



Richland Collegiate High School (RCHS)

Richland Collegiate High School is one of the first junior-senior dual credit charter high schools administered by a community college.

Visit RCH





Richland College Garland Campus

The Richland College Garland Campus is an award-winning community campus focused on workforce training and development.

Visit Garland Campus







Instructional Divisions > Richland > WLCC

World Languages, Cultures & Communications





School of World Languages, Cultures & Communications * Richland College | Lavaca Hall, L-208 | 972-238-6943 | 972-238-6166 (fax) Office Hours: Monday-Friday, 8:00 a.m.-5:00 p.m.

American English and Culture Institute (AECI)

Center for Renewal and Wholeness in Higher Education

<u>English</u>

English for Speakers of Other Languages (ESOL)

Communications

Multicultural Center

Peace and Human Rights Studies

Speech Communication

World Languages

2019年6月6日 電子システム工学科

東洋未来大学校との MOU の更新について

1. 背景説明

東洋未来大学校(以下 DMU)は、私立の大学校で、以前は"東洋工業専門大学"という校名の技術系の学校であった。建設、機械、電気、通信、情報などほぼ全ての工学系分野の学科をもつ韓国の"高専"のような存在の学校である。数年前、校名を東洋未来大学校(DMU)と変更し、"学士"の教育ができる大学と同等の教育機関として再出発している。従って、校名も(日本語表記では)"大学"から"大学校"となっている。

詫間電波高専が専攻科を開校した時、教育の高度化に貢献できる対外活動として、"国際交流"、"地域貢献"などを提案し検討した。しかし、提案した全てに取り組むことは、高専が持つ"資源"の面で難しいと判断し、その中から教育に直結できる"国際交流"を選択した。専攻科スタッフが中心となり、北米を手始めに提携先を探索したが、当時は適当な協定先を見つけることができなかった。そこで、当時の■ 校長は、アジアに目を向けられ、一番近い韓国をまず選択され、校長のアメリカ留学時の友人で、当時の韓国の化学会の会長をされていた方に相談し、その方の推薦と紹介で東洋未来大学と交渉を開始した。2005 年 8 月 4 日に、本校から■ 校長を団長とし、当時の 専攻科長らを初めとする教職員からなる訪問団が DMU を訪問し、MOU を締結し、隔年で、学生の派遣と受け入れを実施してきた。2011 年 7 月 12 日に、香川高専として更新手続きをした。MOU は、2016 年に満了したが、DMU の経済的都合により、更新が見合わせられ、現在に至っている。

DMU からは、私費留学生 2 名を受け入れ、無事、2017 年春に学士の資格を学位授与機構から受けた。彼らは日本企業に就職し現在も元気に働いている。このように、MOU が無くともこれまで通り、交流は続いている。毎年、MOU の更新をするための打診をしてきた。

2. 今後の方針

学長が交替した昨年の春に DMU を訪問し、再度この件について相談した。新学長は生え抜きの人物であり、国際交流への理解が期待できる。理事会の理解も必要なので、時期をみて話をするということで、交渉再開の時期を待っていた。最近、再開の話ができる状況になったようである、との連絡を受けた。 DMU の国際交流の担当者も交替したので、再開の手続きを開始する。これまでの MOU を添付する。当初は、自動更新であったので自動更新を期待したが、香川高専での MOU と同様、期間は5年として欲しい旨の連絡があった。MOU の文面は、前回の香川高専の MOU と同じと考えられる。

専攻科を希望している学生がいる。この学生は、現在兵役に就いており、来年7月で除隊になる。 希望する分野は、AI等のIT関連分野である。

3. 連絡先

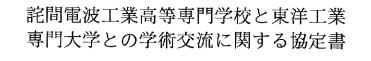
DMII の連絡生は、国際交流センター長で教学部署長を兼務されている以下の方である。

GENERAL MEMORANDUM FOR ACADEMIC COOPERATION AND EXCHANGE BETWEEN DONGYANG MIRAE UNIVERSITY AND

KAGAWA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

The President of Dongyang Mirae University and the President of Kagawa National College of Technology hereby conclude an agreement for academic exchange and cooperation between the two parties.

- 1. The two parties will promote in particular the following activities:
 - [1] Exchange of students
 - [2] Exchange of faculty members
 - [3] Exchange of scientific materials, publications and information
 - [4] Joint research and meeting for research
- 2. These activities are to be carried out after mutual consultation between the two parties or the divisions concerned thereof.
- 3. All financial arrangements to pursue any of the above activities are to be negotiated for each specific case.
- 4. The two parties agree that, in the event of research collaboration leading to patent rights, copyrights and other intellectual property rights, a further agreement must be negotiated in each case in accordance with the policies of the two parties on intellectual property. The research agreement should be in place, signed by both parties, prior to engaging in the research collaboration.
- 5. All amendments to this memorandum should be in writing signed by both parties.
- 6. This general memorandum shall be effective upon signature by two parties and shall remain in force for a period of five years. Thereafter it shall be automatically renewed from year to year.
- 7. Termination of this general memorandum is to be effected upon deliberation by both parties. However, after the initial period of five years either party may terminate the memorandum at the end of a given year by giving six months notion in writing of such intent.
- 8. The general memorandum is written in English.



日本国詫間電波工業高等専門学校と大韓民国東洋工業専門大学は、学術交流を促進するため、以下のとおり協定を締結する。

- 1. 両校は次の諸活動を行い、その達成について努力する。
 - (1) 教職員及び学生の交流
 - (2) 教育及び研究に関する情報及び成果の交流
 - (3) その他両校が協議し合意した事項
- 2. 前項の諸活動については必要な事項は、双方の間で協議のうえ実施する。
- 3. 本協定は両校の代表者による署名の日から3年間有効とする。本協定は どちらかの申し出がない場合、3年ごとに自動的に更新するものとする。 また、双方のいずれか一方から期間満了の6か月前までに文書にて廃止を 申し出た場合には、当該有効期間の満了をもって本協定は効力を失うもの とする。
- 4. 本協定は、双方に対して経済的な支出を約束するものではない。
- 5. 本協定は、日本語及び韓国語で作成し、両文書を等しく正文とし、同等 の効力を有するものとする。

2019 年度「香川高専グローバルエンジニア研修プログラムー短期受入(第1次)」の実施要項

1. 目的と目標

本校の教育目的の一つに、「国際的に活躍できる技術者を養成する」がある。本プログラム(短期受入)では、協定校から学生を本校へ短期間受入れて、本校の研究・教育環境を協定校学生と共有することで、本校学生の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の向上、並びに海外異文化の理解と自国日本の理解を深めることを目標とする。また、本校教員による国際交流活動への貢献や研究活動の更なる推進を目指す。

2. 受入学生・指導教員・受入期間

(受入学生)





#1 トゥール大学(UFRT) 技術短期大学部(IUT) ブロア校 #2 トゥール大学(UFRT) 技術短期大学部(IUT) トゥール校

(受入期間)

2019年4月12日(金) ~ 2019年6月28日(金)

3. スケジュールと実施内容

- (1) 移動スケジュール
 - ・4/12(金) 18:50(Takamatsu), ANA537 高松空港到着後,各キャンパスの寮など宿泊先へ移動。
 - ・6/28(金) 19:00 高松空港出発()
- (2) オリエンテーションなど
 - ・到着後に、国際交流室が各キャンパスにおいて学校紹介・学校案内・生活支援等のオリエンテーション を行う。
- (3) 研修 研究
 - ・指導教員は受入学生と相談して具体的な研修内容を決定する。
 - ・指導教員は定期的に受入学生と打合せを行い、進捗状況を確認しながら遂行する。
 - ・本プログラムの目的から, 受入学生を日本人学生と交流できる環境におく。
 - ・その他、体調面や悩み等があれば指導教員と国際交流室員が連携しながら支援する。
 - ・受入学生は6月中旬ころまでにインターンシップ報告書をIUTへ提出する。
 - ・受入学生は6月下旬ころに、インターンシップ報告会を行う。IUT 教員が審査のため(直接またはインターネット経由で)聴講するので、国際交流室が報告会の日程を調整する。報告会には指導教員も立ち会う。
 - ・指導教員は受入学生の研修内容に関する評価を行い、国際交流室が取りまとめの上 IUT へ提出する。
 - ・受入学生の研修内容に関係する消耗品の購入費を国際交流室が負担する。ただし、受入学生1名あたりの上限額を設ける。
- (4) 日本文化の体験と学生交流
 - ・受入学生から希望があれば、放課後等を利用して本校の課外活動等に参加する。
 - ・長期留学生用の留学生見学旅行に参加し、日本の文化を体験する。
- (5) サポート体制
 - ・受入学生に対して、生活面並びに研修・研究に関するサポートを行うチューターをおく。
 - ・安全対策として, 受入学生と常に連絡の取れる体制とする。

4. 経費

- ・チューター謝金(最大15時間/月/受入学生)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (860 円/時間)×(15 時間/月/受入学生)×(3 月)×(5 名) = 最大 193,500 円 (専攻科生の場合)
- ・受入学生の研修に必要な消耗品等の費用(3万円/受入学生を上限)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (10,000 円/月/受入学生)×(3 月)×(5 名) = 最大 150,000 円

5. その他

- 6-1. 短期受入留学生を本校の「特別聴講学生」として扱う。
- 6-2. 協定校との学生交流細則に関する合意覚書(MOA)に基づいて、以下のとおりとする。
 - (1) 宿泊施設

「学生寮におけるビジターの宿泊についての申合せ」を適用して学生寮を斡旋する。または、本校が学 外の宿泊施設を斡旋する。

(2) 授業料等

入学金, 検定料授業料, 図書館費用, コンピュータ利用料, その他事務的費用を請求しない。

(3) 個人負担

渡航費、ビザ取得にかかる費用、滞在費、教材費および保管に関する費用(個人及び傷害)は受入学生 当人の負担とする。

(4) 証明書

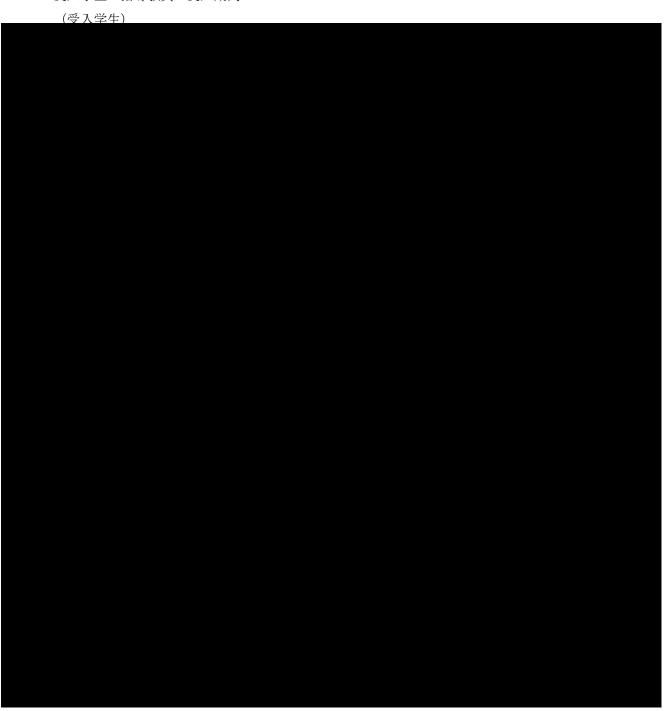
本プログラムを修了した際に修了書を発行する。協定校が作成した評価書などへの入力依頼があれば、 入力して送付する。

2019年度「香川高専グローバルエンジニア研修プログラムー短期受入(第2次)」の実施要項

1. 目的と目標

本校の教育目的の一つに、「国際的に活躍できる技術者を養成する」がある。本プログラム(短期受入)では、協定校から学生を本校へ短期間受入れて、本校の研究・教育環境を協定校学生と共有することで、本校学生の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の向上、並びに海外異文化の理解と自国日本の理解を深めることを目標とする。また、本校教員による国際交流活動への貢献や研究活動の更なる推進を目指す。

2. 受入学生·指導教員·受入期間





(受入期間)

No.1~No.5:2019年5月7日(火)~2019年7月5日(金)

No.6, No.7:2019年5月7日(火)~2019年8月5日(月)

3. スケジュールと実施内容

(1) 移動スケジュール

往路(全員): 5/7(火) 00:55 (BKK) => 08:40 (KIX), XJ612 (Air Asia); 11:55 (関空) => 15:27(高松駅); 各キャンパスの宿泊先へ移動。

復路(No.1~No.5): 7/5(金) 高松駅 => 関空, 23:55 (KIX) => 03:50 +1 (BKK), XJ611 (Air Asia)

復路(No.6, No.7): 8/5(月) 高松駅 => 関空, 00:55 (KIX) => 04:40 (BKK), PG4170 (Bangkok Airways)

- (2) オリエンテーションなど
 - ・到着後に、国際交流室が各キャンパスにおいて学校紹介・学校案内・生活支援等のオリエンテーション を行う。
- (3) 研修・研究
 - ・指導教員は受入学生と相談して具体的な研修内容を決定する。
 - ・指導教員は定期的に受入学生と打合せを行い、進捗状況を確認しながら遂行する。
 - ・本プログラムの目的から、受入学生を日本人学生と交流できる環境におく。
 - ・その他、体調面や悩み等があれば指導教員と国際交流室員が連携しながら支援する。
 - ・必要なら、研修の最後にインターンシップ報告会を開催する。
 - ・指導教員は受入学生の研修内容に関する評価を行い、国際交流室が取りまとめて協定校へ提出する。
 - ・受入学生の研修内容に関係する消耗品の購入費を国際交流室が負担する。ただし、受入学生1名あたりの上限額を設ける。
- (4) 日本文化の体験と学生交流
 - ・受入学生から希望があれば、放課後等を利用して本校の課外活動等に参加する。
 - ・長期留学生用の留学生見学旅行に参加し、日本の文化を体験する。
- (5) サポート体制
 - ・受入学生に対して、生活面並びに研修・研究に関するサポートを行うチューターをおく。
 - ・安全対策として、受入学生と常に連絡の取れる体制とする。

4. 経費

- ・チューター謝金(最大15時間/月/受入学生)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (860 円/時間)×(15 時間/月/受入学生)×(2 or 3 月)×(7 名) = 最大 206,400 円 (専攻科生の場合)
- ・受入学生の研修に必要な消耗品等の費用(最大1万円/月/受入学生)を国際交流室経費から支出する。
 - ⇒ (10,000 円/月/受入学生)×(2 or 3 月)×(7 名) = 最大 160,000 円

5. その他

- 5-1. 短期受入留学生を本校の「特別聴講学生」として扱う。
- 5-2. 協定校との学生交流細則に関する合意覚書(MOA)に基づいて,以下のとおりとする。
 - (1) 宿泊施設

「学生寮におけるビジターの宿泊についての申合せ」を適用して学生寮を斡旋する。または,本校が学 外の宿泊施設を斡旋する。

(2) 授業料等

入学金,検定料授業料,図書館費用,コンピュータ利用料,その他事務的費用を請求しない。

(3) 個人負担

渡航費、ビザ取得にかかる費用、滞在費、教材費および保管に関する費用(個人及び傷害)は受入学生 当人の負担とする。

(4) 証明書

本プログラムを修了した際に修了書を発行する。協定校が作成した評価書などへの入力依頼があれば, 入力して送付する。

アクティビティ研修 in タイの近況報告

- ・ 参加者が表1の通り決定
- ・ フライトは表2のように決定済み,
- ・ 現地でのスケジュールは表2のように調整中, (8/18 はまだ空白)
- ・ 7/4 (木) 前後に、出発前説明会を実施予定(具体的な準備物・研修内容など)

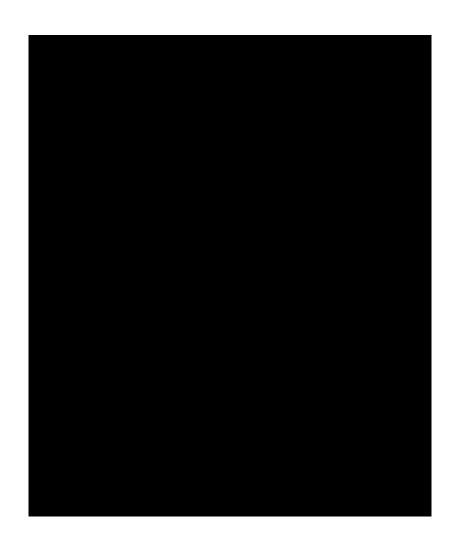


表 2 現地でのスケジュール

Arrival (TG623 & XJ612) Thai Massage [Thai Medicine College] Thai ArchitectureTour of Bangkok [Faculty of Architecture] Photography Class in Ayuthaya[Faculty of Mass Communication] Thai Fine Arts Thai Musical Instrument English Lesson Japanese Lesson Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit Famous Waterfall Design Thinking Camp in Nakonnayok Departure XJ612 Departure TG622			
Thai Language English Language Photography Class in Ayuthaya[Faculty of Mass Communication] Thai Fine Arts Thai Musical Instrument Thai Language Thai	9		Thai Boxing Show
11	10	_	Thai Language
Thai Language	11	· ·	English Language
14 English Lesson Japanese Lesson 15 Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit local farm 16 Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit Famous Waterfall 17 Design Thinking Camp in Nakonnayok Departure XJ612	12		Thai Language
15 Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit local farm 16 Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit Famous Waterfall 17 Design Thinking Camp in Nakonnayok Departure XJ612	13	Thai Fine Arts	Thai Musical Instrument
16 Design Thinking Camp in Nakonnayok Visit Famous Waterfall 17 Design Thinking Camp in Nakonnayok Departure XJ612	14	English Lesson	Japanese Lesson
17 Design Thinking Camp in Nakonnayok Departure XJ612	15	Design Thinking Camp in Nakonnayok	Visit local farm
	16	Design Thinking Camp in Nakonnayok	Visit Famous Waterfall
Departure TG622	17	Design Thinking Camp in Nakonnayok	Departure XJ612
	18		Departure TG622

大連短期留学プログラムー2019 年夏季 大連東軟信息学院主催

■ 目的:中国語の勉強・中国の「今」の理解と体験

■ 特色:大連に実際に滞在するということを最大限に活かした、体験重視型プログラムです。限られた滞在時間を効率よく活かし、語学研修以外に、餃子作り、太極拳、中国茶体験などの異文化体験、また中国若者文化、中国市場の発展などに関する講義、中国人学生また中国人社員との交流会、現地企業見学なども盛り込んでいます。長い歴史の中国文化だけではなく、中国の"今"も分かっていただけるのが本プログラムの特徴です。

■ 期間①: 2019年9月2日(月曜日)~2019年9月15日(日曜日)14日間期間②: 2019年9月9日(月曜日)~2019年9月22日(日曜日)14日間

■ 宿泊先:大連東軟信息学院 留学生宿舎 エアコン付き2人部屋

▶ 大学敷地内にある、24 時間警備

▶ 設備完備(各部屋にトイレ・シャワー付き、WiFi、飲料水装備など; 共用キチンに電子気調理器、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機などあり)

■ スケジュール

	曜日	午前	午後		
1日目	月	入国、入寮、	大学生活区案内		
2 日目	火	キャンパス案内 現地オリエンテーション プログラム代金のお支払い (9:00-11:30)	13:00-17:00 市内観光 (星海広場、浜通り、大連東港、 ロシア人街など) 17:00-19:00 歓迎会		
3 日目	水	中国語 (8:00-9:40) 講義:中国のマナーとタブー (10:00-11:30)	大連現代博物館見学 (13:30-15:30)		
4 日目	木	中国語 (8:00-11:50)	企業見学(HUAWEI、NEUSOFT、大連ベン チャーセンター、) (13:30-17:00)		
5日目	金	異文化体	験(旅順見学)		
6日目	土	É	自由活動		
7日目	日	É	自由行動		
8日目	月	中国語 (8:00-9:40) 講義:中国の若者文化 (10:00-11:30)	中国人社員との交流会 (13:30-15:30)		
9 日目	火	中国語 (8:00-11:50)	中国人学生との交流会 (13:30-15:30)		

10 日目	水	中国語 (8:00-9:40) 講義:中国市場の発展現状 (10:00-11:30)	異文化体験(太極拳&漢服試着) (13:30-15:30)						
11 日目	木	中国語 (8:00-9:40) 異文化体験(京劇脸谱作り) (10:00-11:30)	異文化体験(中国茶) (13:30-15:00)						
12 日目	金	中国語 (8:00-9:40) 異文化体験(中国結) (10:00-11:30)	異文化体験&送別会(餃子作り) (12:00-14:00) 修了式 (14:30-15:30)						
13 日目	土	自由活動							
14 日目	目	帰国							

- プログラム代金:3500元
- > プログラム代金に含まれているもの:授業料、登録料、宿泊代、グループ活動時の交通費(空港送迎、 市内観光、博物館見学、旅順見学、企業見学)、各交流会、各異文化体験、雑費(歓迎会、旅順見学 時の昼食代、管理費など)
- > プログラム代金に含まれていないもの:往復航空券代、海外旅行傷害保険代、飲食代、自由活動の交通費。
- ▶ 学生食堂 約7元~15元/1食、6:30-22:00営業
- プログラム代金は現地で両替し、人民元でお支払いをお願いします。

注:1人部屋をご希望の場合、エアコン無しの1人部屋をご提供いたし、追加260元をお支払いいただきます。

- ビザは、本プログラム期間内であれば必要ございません。
- お申込締切:2019年6月30日
- お申込先:大連東軟信息学院国際教育学院 日本事業部 (日本語可)
- お申込方法:電話、FAX、電子メール、
- そのた
- ➤ 大連東軟信息学院は中国最大の IT 企業である Neusoft グループが創立したイノベーション教育を重視する私立大学です。ブランド影響力が私立 TOP10 に入っています。
- ▶ 市内から車で約30分、交通便利な場所にあります。教育施設のほか、学院の後方に広大な生活区を設けており、快適なキャンパスライフが送れるようにコンビニや食堂、スポーツなどの生活施設及びサービスが完備されています。
- ▶ キャンパス案内、企業見学、交流会などは日本語で行いますので、中国語ができない方も大歓迎です。
- ▶ 大学日本事業部のスタッフのほか、中国人学生のチューター(日本語可能)も配置します。皆さんに安心できるサービスとサポートを提供します。



大連東港



海岸通り



ソフトウェアパーク



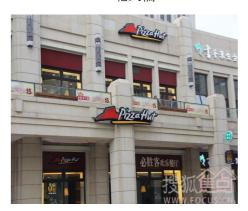
大学周辺



中山広場



北大橋



大学周辺



大学キャンパス



図書館



食堂



宿舎外観



宿舎部屋



学生生活区



カフェー



留学生宿舎交流室



洗面所

令和元年度 ニュージーランド Ara 海外英語演習実施要領

- 1. 目的: ・ネイティブ・スピーカによる英語指導を受け、英会話力を養う
 - ・Ara との国際交流
 - ・ホームステイを通し、オセアニア圏および欧米文化を吸収する
- 2. 研修先: Ara Institute of Canterbury 付属語学学校 (Ara)
- 3. 日程: 令和元年8月17日(土) ~ 令和元年9月14日(土) (29日間)

8月17日 高松空港集合・出発、羽田空港着 羽田発オークランド経由クライストチャーチ (機内泊)

8月18日 クライストチャーチ着、各ホームステイ先へ移動

8月19日から9月13日まで語学研修

9月13日 クライストチャーチ発シドニー経由 羽田空港 (機内泊)

9月14日 羽田空港着 羽田発高松空港着・解散

4. 参加学生: 高松キャンパス



以上1名

詫間キャンパス



合計7名

6. 経費: 教員の引率に係る経費は国際交流経費より支出する。

引率旅費(1名分) 250.000 円程度

旅費:約190000 円 日当:約20000 円 宿泊費: 40000円(3泊)

学生の Ara での授業料に対する補助を目的として、補助金額(約17万円)を寄付金(学生海外派遣等)より支出する。

7. 備考: 参加学生は Ara における成績と、事後報告会における発表の成績に基づいて評価され、本科生は「海外英語演習」、専攻科創造工学専攻の学生は「海外語学研修」の単位として認められる。ただし、2年生は認められない。参加学生は事前・事後研修への出席が義務付けられている。

申請日 2019 年 4月 16日

香川高等専門学校 Facebook公式利用登録(変更·抹消)申請書

香川高等専門学校長 殿

Facebook公式アカウント登録について申請します。

運用に関しては「香川高等専門学校Facebook公式アカウント運用ポリシー」及び 「国立高等専門学校機構ソーシャルメディア利用ガイドライン」を遵守します。

1. 申請種別

ᆄ	規	丞	纪
耓	「万兄	Ŧ	亚来

	沯	紐	害	報	ത	亦	車
_	$\overline{}$	业米	IĦ	ŦIX.	\boldsymbol{v}	2	X.

□ 管理責任者の変更 □ 運用担当者の変更 □ その他(

)

□ 登録情報の抹消

2. 管理責任者(申請者)

氏名		
所属	電気情報工学科	
連絡先	Tel 087-869-3911	メールアト゛レス

^{※「}連絡先」については、緊急時に必ず連絡が取れるものを記載してください

3. Facebook詳細情報

利	用	組		織	名	国際交流室						
利		用	E		的	本校の国際交流に関する情報発信						
ア	カ	ウ	ン	۲	名	International Affairs Office, Kagawa KOSEN						
U		R			L	https://www.facebook.com/International-Affairs- Office-Kagawa-KOSEN-2409554422439528						
代	表メ	ール	ア	ドレ	ス							
利	用	開	始	期	間	2019年 5月 1日~ 年 月 日						
ተリ	т	 	ᄱ	刔	ΙĦJ	■ 利用終了期間未定						
本	校口	ゴマ-	ーク	の使	用	■ 希望する						
(1)	運	用担	当	者 氏	名							
		"		所	属	機械工学科						
		"		連絡	先	TEL 3 8 8 0 メールアド・レス						
(2)	運	用担	当	者 氏	名							
		"		所	属	電気情報工学科						
		//		連絡	先	TEL 3 9 1 1 X-11715 LX						

- ※運用担当者が2名以上いる場合は、管理責任者が名簿等で管理してください。
- 調査が必要な場合に名簿の提出を求める場合があります。
- ※登録情報の変更の場合は、変更箇所のみ記載してください。

令和元年度 留学生見学旅行 実施要項

1. 見学目的

高知県高知市の高知城や桂浜を訪れ、日本の歴史に残る名所・旧跡等を見学することにより日本の文化に広く触れ、日本事情をより深く理解する経験を積む。また、両キャンパスの留学生とチューター間の親睦を深めることを目的とする。

2. 目的地

高知県高知市 高知城・桂浜 外

3. 日時

令和元年6月15日(土)

4. 参加対象者

留学生14名(高松:6名 詫間:8名)特別聴講学生14名(高松:8名 詫間:6名)

チューター・一般学生 15名程度

引率教員 (高松)

(詫間)

合計 最大45名

5. 旅程

- 8:10 高松キャンパス 発
- 9:00 詫間キャンパス 発
- 11:10 桂浜 着 桂浜荘にて昼食後、自由散策
- 13:00 桂浜 発
- 13:40 高知城 着天守見学後、自由散策
- 15:50 高知城 発
- 18:00 詫間キャンパス 着
- 18:50 高松キャンパス 着

6. 費用

最大 146,680 円 (参加人数により変動)

(内訳) 大型バス借り上げ代: 約131,830円

高知城拝観料 : 330 円/人 imes 最大 45 名 = 14,850 円

※昼食代は個人負担

- ※高知城拝観料は引率教員による立替払いとする。
- ※近郊地域内旅行のため、引率教員の日当支給はなし。

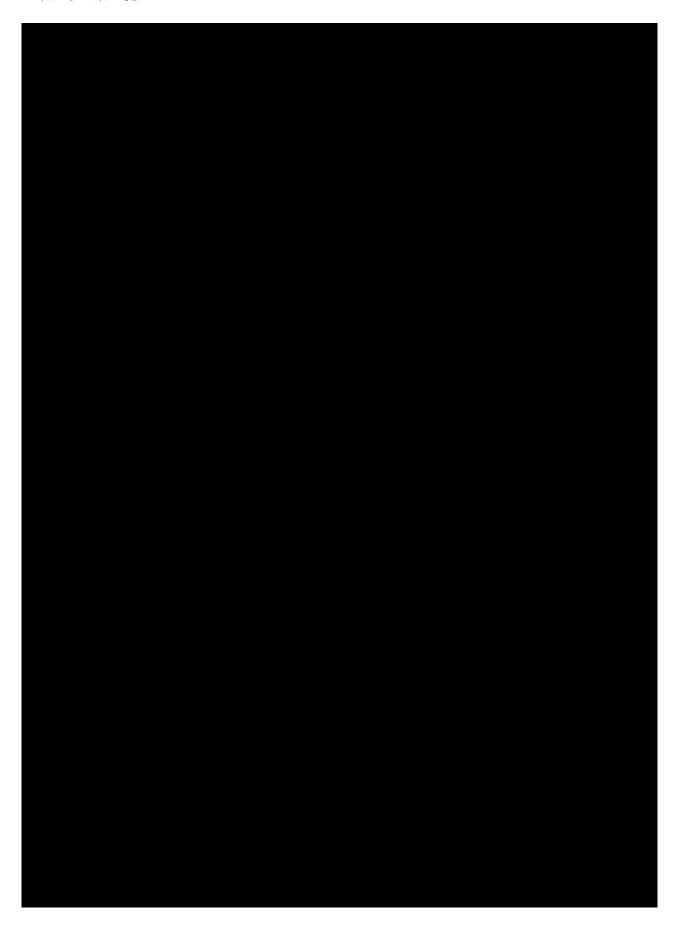
7. 支出科目

財源 [授業料収入] 予算科目 [(教育研究) 留学生経費]

プロジェクト [対象外] 執行組織 [学務課]

8. その他

- ・高知城天守への見学は、利用届の提出が必要。(別紙のとおり)
- ・前日より高速道路通行止めや、その他災害等で計画の遂行が危うい場合は、前日 21 時に各キャンパスの引率教員同士が協議の上、中止する。また、当日も天候状況やその他不測の事態で同様の事態になった場合、引率教員の判断で中止する。



様式1

事業計画書

基礎力養成・高度育成

学校番号	39									
学校名	香川高等専門学校									
事業名	外国人教員を活用した実践的な高度グローバル人材の育成プロジェクト									
事業実施年度(2019~)		5	年間	経費申請額			12,090	千円		
事業概要 (300字程度)	本事業では、本科高学年から専攻科への一貫した取組によって、専攻科を修了する学生を(大卒工学系の学生よりも)英語による実践的なコミュニケーション能力と工学の専門的な知識と実行力を備えた、世界で活躍できるグローバルエンジニアとして育成することを目的とする。これまで取組んできた、低学年から高学年・専攻科までの段階に合わせた海外留学プログラムへの参加者数を、クオーター科目の積極導入などにより拡大を図る。さらに、短期受入留学生と協働作業するグローバル実習(新設)や、外国人教員を活用した実験実習系科目や技術者英語において、主体性を伸長させて、英語による実践的なコミュニケーション能力を醸成する。また、協定校との単位互換制度の導入や新たな課題解決型プログラムの開発などを行う。									
本事業の対象学年	年次 対象の有無	本科1年 ×	本科2年 ×	本科3年 ×	本科4年	本科5年	専攻科1年	専攻科2年		
これまでの取組の概要 (500字程度)	としたグローた。GETプローロさらに、協SEN4.0ィ年の中間層取りを聞の国が受け、関が学生の動の対した。常知の事がである指導がある。	バルエンジニ グラム様々ない たと様アテ教文を 学生がらと レベ 員 がといる 経 人れれ、学生 たれ、学生	ア研修(GET) が 外協定校との 際シンポジウ 事業(国際化の したアクティ 学ぶ)と②低 への意識を高 段階的に引き いては、電子 の国際意識や	プログラム(5 ² 間で相互に学生 ムを共同開採し がディのでは、 がディの学生を発 はでするでは、 はでする はでは、 はでは、 はないでする はないでする はないでする はないでする はないでする はないでする はないでする。 はないできる。 とないできる。 はないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないできる。 とないでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	宇間で36名派注意を派遣する本にできた(過去れて,上述の本体学生を協定を開発を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を表している。	遣・42名受入 校独自の研究 5年間で15件 国際交派遣して 2中で、先をでして なっとを施して よったまり、主に よったまり、ことに まったまり、ことに まったまり、),高学年と取り)を継続して実 記インターンシ)。また,201 シントの他に① で現地の学生と のの国際交流活 近学年から高学 で、成果指標を で、成果指標を で、低学年の実習	E施してき ップである。 8年度には 医学ュニすを コに関すな 年・専に関す 年・今には 十分目で 茶科目で 茶科目で		
課題の抽出 (200字程度)	しかし, この 生に啓発活動 語によるコミ	取り組みでは を実施してい ュニケーショ	予定している。 るものの,学 ン能力の必要	派遣枠が十分で 生の海外派遣を 性を意識できる	ではなく,枠を 中心とした事 う環境や外国人	大幅に拡大す 事業になってお 、と積極的に協	をする数年後に る必要がある。 らり、学内の現 の動する機会が 情築が必要であ	。また,全学 状として,英 不足してお		
課題解決のための 具体的取組 (500字程度)	・学修単位の積極的導入、可能なものからクォーター科目への移行、海外協定校との単位互換制度の導入などにより、休学することなく3カ月程度の海外留学(GET+、企業インターンシップなどを含む)が可能な環境を整備する。① ・複数の協定校から受け入れている短期留学生と本校学生が協働で作業できるグローバル実習科目を専攻科に新設して、コミュニケーション能力の他に主体性と積極性を伸長させる。なお、協定校と単位互換協定を締結して、受入留学生も単位取得して自大学で単位化できるようにする。① ・外国人教員の活用を学校全体に拡大し、工学共通の技術者英語や実験実習系科目を担当して実践的なコミュニケーション教育を行う。さらに、学生と外国人教員が特別研究の内容をface-to-faceで議論して、専門的な知識を用いたコミュニケーション能力を向上させる。② ・協定校から教員を招聘し、実験実習系科目において実践的なコミュニケーション能力を養う。③ ・外国人教員と協定校教員が海外インターンシップや協定校で実施する課題解決型プログラムの開発と実施を担当し、派遣学生教を拡大する。④									
・外国人教員と協定校教員が海外インターシンップや協定校で実施する課題解決型プログラムの開発と美担当し、派遣学生数を拡大する。④ これまでに、本校の1学科で採用している外国人教員が実験実習系科目を担当し、学生は外国人教員と交換しながら作業することによって、英語による実践的なコミュニケーション能力が向上している。このを新たに外国人教員を採用することで全学的に高学年から専攻科へも波及させる必要がある。また、同時に海外の協定校と連携しながら本校のグローバル化を促進していくことも不可欠である。しがって、協定校から教員を招聘することで、英語によるコミュニケーション教育の他に、協定校と連携し外留学プログラムの強化と拡大を外国人教員と共同で行う。 外国人教員の雇用										

	成果指標項目	第3期平均	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度						
	指標1:英語力	380	380	390	410	430	465						
	(高度育成:指標1-1)	360	300	390	410	430	400						
	本科5年次のTOEIC-IPテストの平均点(基準の説明:理工農系学生の卒業時レベル(465点)と同等の英語力を												
	修得させる。)												
	指標1-2:英語力 (高度育成のみ記入)	460	460	470	490	510	550						
		<u> </u> -ストの平均占	(其進の説明	 :企業が技術語	 	<u> </u> ~ベル(520占)?	を招える英語						
	専攻科 2 年次のTOEIC-IPテストの平均点(基準の説明:企業が技術部門に求めるレベル(520点)を超える英語力を修得させる。)												
	指標2:	,		/		/	/						
	海外経験・海外活動	10.0 / 17.2	15 / 20	20 / 23	25 / 25	35 / 28	50 / 30						
成果指標	本科4年~5年次および専	攻科1年~2年	年次にそれぞれ	1海外留学生フ	プログラムに参	加した「学生	数」(基準の						
	説明:第3期平均を基準とし	して,毎年度こ	れを上回る実	績を達成させ,	最終年度に2	2倍程度の目標	値を設定し						
	<i>t-</i> .)												
	指標3:教育効果	-	-	-	20	30	40						
	アセスメントツールである	PROG(知識を	 活用して問題的	- 解決する力(リ	 テラシー)を測	定するもの)を	本科4年と						
	専攻科2年次で実施して,	本科4年次に対	対して専攻科2	2年次のコンヒ	゚テンシーが上	:昇している「!	学生数」。本						
	校で導入で検討中。(基準				るコンピテン	'シーの結果や'	伸びが良いと						
	の結果が見られることから	<u>. ト昇したか</u> 。	どうかで判断で 	<u> </u>									
	申請校独自指標	-	-	-	10	20	30						
	グローバル実習科目への受	講学生数(基準	上 隼の説明:受力	▲ 人れる留学生を	生度ごとに増	加させて, そ	れに伴い受講						
	学生も増加させる。)												
	氏名	所属・職名		役割									
		校長		事業全体の総括									
	■	副校長・高松		事業全体の総括補佐									
		副校長・詫間		事業全体の総									
		専攻科長, 専		専攻科カリキ									
		専攻長(詫間),国際交流室 教務主事(高松)		事 受料 カリキュノム の 編成 本科生対象の プラン 編成									
		教務主事(同仏)		本科生対象のプラン編成本科生対象のプラン編成									
		国際交流室長		事業実施取り									
		国際交流副室長		事業実施取りまとめ補佐									
実施体制		英語科(高松)主任		英語力測定									
		英語科(詫間)主任		英語力測定									
	W. I		/ . =										
	学校が一体となって取組むための実施体制 (150字程度) 校長・両副校長による統括の下、教務委員会・専攻科委員会・国際交流室が中心となり関係部署と連携しなが												
	校長・両副校長による統括 ら、事業全体の企画を行う												
	る。海外協定校等も含めて				,								
	る。												
	トビタテ!留学JAPAN:学	内で周知し,	希望者がいれ	ば申請書等の書	書き方指導や面	面接指導を行っ	てきた。						
トレカテーの労IADAN	2015年度から毎年のように			ースと大学生コ	コース合わせて	て5名が採択され	1ている。今						
トビタテ!留学JAPAN・ さくらサイエンスプラン	後も両コースで採択される			左接担として	ks/1 = 1 - 1	z1=002 = ""	- LS-1-HUC						
採択への取組	JASSO海外留学支援制度:短期派遣では2014年より毎年採択されており、これまでに26名の学生が本制度を利用した。今後の中華では支援条項数を増め上してより、海教の留学計画プログライズの採択を見換す												
(300字程度)	利用した。今後の申請では支援希望数を増やし、さらに複数の留学計画プログラムでの採択を目指す。 さくらサイエンスプラン: これまでに申請計画が何度かあったが、協定校との日程都合がつかず申請をしてい												
	ない。今年度中にも採択を						, HD C C C C C						
				1			71, 7						
事務担当窓口	氏名	所属 公教理公教区		=	番号	メールフ	アドレス						
		総務課総務係	**************************************	087-869-381	1								

事業経費計画書



学校番号	39										
学校名	香川高等専門学校	香川高等専門学校									
事業名	外国人教員を活用した	実践的]な高度グローバル人	く材の	の育成	プロジェクト					
事務担当窓口	氏名		所属・職名			電話番号		メールアドレス			
争伤担当心口								soumu@t.kagawa-nct.ac.jp			

各経費の明細

経費区分		金額(様式1事業計画		
在复区刀	単価	数量	単位	積算額	【具体的取組】との関連
【人件費・謝金】			小計	8,620	· · · A
①外国人教員人件費			小計	6,250	
・給与・賞与・各種手当(法定福利費を除く)准教	3,700	1	人	3,700	取組①、②、③、④
・給与・賞与・各種手当(法定福利費を除く)助教	2,550	1	人	2,550	取組①、②、③、④
②謝金			小計	2,370	
・非常勤招聘外国人教員(マレーシア)	135	1	人	135	取組①、②、③、④
・非常勤招聘外国人教員(タイ)	135	1	人	135	取組①、②、③、④
・非常勤招聘外国人教員	100	1	人	100	取組②
・非常勤事務補佐員	1,000	2	人	2,000	
【旅費】			小計	3,060	· · · B
①教職員旅費			小計	3,060	
・海外教育機関との単位互換協定締結	300	4	人・回	1,200	取組①
【積算内訳】	2人×2回×	@300千F	9		
・海外インターンシップ・グローバル実習科目開発	300	4	人・回	1,200	取組④
【積算内訳】	2人×2回×	@300千F	9		
・非常勤招聘外国人教員(マレーシア)	300	1	人・回	300	取組①、②、③、④
【積算内訳】	1人×1回×	@300千F	9		
・非常勤招聘外国人教員(タイ)	300	1	人・回	300	取組①、②、③、④
【積算内訳】	1人×1回×	:@300 1 F	9		
・非常勤職員交通費	5	12	人・月	60	
【積算内訳】	2人×6月×	:@5千円			
【その他役務・消耗品費等】			小計	410	\cdots C
・教材開発用ソフトウェア	150	2	式	300	取組②、④
・教材開発用参考図書	50	1	式	50	取組②、③、④
· 教材開発用電子部品等	50	1	式	50	取組②、③、④
・コピー用紙	10	1	式	10	取組②、③、④
				0	
				0	
				0	
平成31年度				12,090	A+B+C

[※]平成31年度の事業に必要な経費について記載してください。

[※]申請する経費は、事業計画を遂行し目的を達成するために真に必要な経費のみ計上してください。

